



AV一体型ナビゲーション 取扱説明書

品番

CN-HZ8A5 / CN-HZ7A5W

このたびは、純正用品 AV一体型ナビゲーションをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご使用の前に、この取扱説明書をお読みいただき、いつもお手元において、正しい取扱方法により、長くご愛用くださるようにお願い申し上げます。



※代表としてCN-HZ8A5を記載しています。

事故防止のため運転中は絶対に操作しないでください。

本機の故障、誤動作または不具合によりメモリーに記録できなかったデータ、消失したデータ、メモリー内の保存データについては補償できません。

本書の読みかた

- 製品の品番は、パナソニック品番(末尾を一部省略)で表記しています。
- 本書では、CN-HZ8A5を例に説明しています。
品番ごとに仕様が異なる場合は、下記のアイコンで区分しています。
CN-HZ8A5 **CN-HZ7A5W**
- 本書では、操作スイッチを下記のように描き分けています。
例) **案内スタート** **決定** : タッチキー(画面上のスイッチ)
AUDIO **MENU** **MAP** : ハードキー(本体のボタンスイッチ、ステアリングオーディオスイッチ)
- 本書では特にことわりの無い限り、iPod / iPhone を「iPod」と表記しています。
- 本書では特にことわりの無い限り、Android™ スマートフォン / iPhone を「スマートフォン」と表記しています。
- 本書では特にことわりの無い限り、SDメモリーカードを「SDカード」と表記しています。ただし、-microSDカードと記載している場合は、microSDXCカード/microSDHCカード/microSDカードを指します。
-miniSDカードと記載している場合は、miniSDカードを指します。
(本機で使用できるSDカード→P.186)
- 本書では別売のオプション品を、下記のように区分しています。
 - ・別売: 純正のオプション品
 - ・市販: 市販(純正品以外)のオプション品

お知らせ

- 製品の仕様、画面表示、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 画面やイラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- URLは、予告なく変更になることがあります。

HD画質・快適操作

表現力が向上し鮮明で見やすく・わかりやすくなった地図と、操作レスポンスの高速化で、使いやすくなりました。地図やメニュー画面のスクロールはスムーズになり、ルート探索のスピードは早くなって、快適にご利用いただけます。

車両連携

■ ヘッドアップディスプレイ対応

本機のルート案内の情報が、ヘッドアップディスプレイに表示されます。



※ヘッドアップディスプレイが装備されている場合
表示は車種により異なります。

■ 緊急通報サービス対応

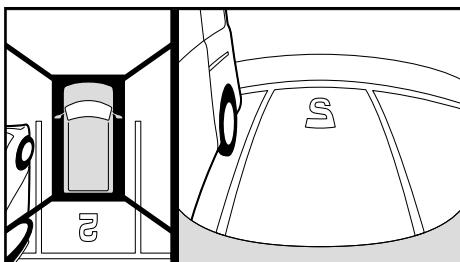
緊急通報が作動すると、本機から出力されるすべての音声が一時消音されます。

※緊急通報サービス対応車種の場合

全方位モニター対応

全方位モニターの映像を、本機のディスプレイに表示できます。

※全方位モニターが装備されている場合



高速道路 逆走注意アラーム・逆走検知警告

SA/PAに駐車して車のエンジンを止めたあと再度エンジンをかけ発進させると、逆走しないよう事前に注意を促します。

また、万一高速道路を逆走していると検知したときは、逆走のおそれがある旨を表示と音声で警告します。



ハイレゾ音源対応

SDカードやUSBメモリーに保存したハイレゾ音源(FLAC形式、WAV形式)を車内でも高音質で再生し、お楽しみいただけます。

※ハイレゾ品質で音楽を聴くにはプレーヤーからスピーカーまで全てハイレゾ対応製品でカーオーディオシステムを構成することをお勧めします。

もくじ

安全上のご注意	6
はじめに	
ご使用前に知っておいていただきたいこと	12
各部のなまえとはたらき	15
タッチパネルの操作について	16
メニューの使いかた	18
トップメニューを編集する	21
基本操作・準備(確認・調整)	22
取り付け・配線の確認	27
初期設定をする	29
スマートフォンを本機と接続する	30
Wi-Fi® 機器を本機と接続する	32
セキュリティに関する設定をする	34
ナビゲーション	
地図の紹介	38
地図画面の表示内容について	42
地図の操作	48
探索・案内・地図・VICSをアレンジする(ナビチューン)	54
行き先までのルートを作るには	56
行き先を探す	58
検索した施設を目的地・経由地に設定する	62
全ルート図から確認・設定する	63
ルートを編集する	64
ルート探索について	66
ルート案内について	68
地点を登録する(登録地)	72
VICS情報を見る	75
オーディオ	
オーディオの基本操作	84
テレビを見る	86
ラジオを聞く	94
交通情報を聞く	95
ディスクを再生する	96
DVD-Video・DVD-VRを再生する	97
CDを再生する	100
SDカードに音楽CDを録音する	103
本機で録音した音楽データを再生する(MEMORY MUSIC)	105
SDカード・USBメモリーを再生する	110
BLUETOOTH® Audioを再生する	114
iPodを再生する	116
音質・音場を調整する(オーディオチューン)	120
映像を調整する	127
現在地画面にオーディオの映像を表示する	128

ハンズフリー・スマホ連携

129

ハンズフリーで通話する	130
NaviConを利用する	134
スマートフォンをリモコンとして使う (CarAV remote S)	135

その他

136

車両メンテナンスの通知を設定する	138
本機の情報を確認する	139
無料地図更新について(ダウンロード更新)	140
本機のデータを更新する	141
ETC車載器/ETC2.0車載器と接続して使う	144
カメラと組み合わせる	146
ナビ連動ドライブレコーダーと組み合わせる	147
後席用のモニターで本機の映像を見る	156
車両連携	157
利用に応じた設定に変える	158
故障かな!?と思ったら	163
文字入力のしかた	180
ディスクについて	182
DVD言語コード一覧表	185
SDカード・USBメモリーについて	186
データ作成時の留意点	187
無線通信について	192
テレビ・ラジオの受信について	194
ナビゲーションシステムとは	195
VICSについて	198
地図ソフトについて	200
地図上に表示される主なマーク	201
さくいん	202
仕様	208
商標・ライセンスなど	210
ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて	212
保証とアフターサービス	213
ステアリングオーディオスイッチの操作について	214

安全上のご注意

(必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

取り付けや配線をするとき



本機はDC 12 V ⊖アース車専用です



DC 24 V車には使用できません。火災や故障の原因となります。

説明書に従って、取り付けや配線をする

作業は手順どおりに正しく行ってください。火災や故障の原因となります。

作業前に、車体のパイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認する

車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないようにし、加工部にサビ止め・浸水防止処置をしてください。火災や感電の原因となります。

作業前に、必ずバッテリーの⊖端子を外す

外さずに作業をすると、ショートによる感電やけがの原因となります。

使用しないコードの先端などは、テープなどで絶縁する

被覆が無い部分が金属部に接触すると、ショートによる火災や感電、故障の原因となります。

アースコードを車両側のアース部分に確実にねじ止めする

アースコードが確実にねじ止めされていないと、火災や感電、故障の原因となります。

サイドブレーキコードを正しく配線する

安全機能が働かず、交通事故の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回す

ステアリング・セレクトレバー・ブレーキペダルなどに巻きつくと、交通事故の原因となります。

取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する

誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

取り付けや配線をするととき

⚠ 警告



作業後は、車の電装品*の作動確認をする

正常に作動しないと、火災や感電、交通事故の原因となります。

* ブレーキ、ライト、ホーン、ハザード、ウィンカーなど



視界や運転を妨げる場所*、同乗者に危険をおよぼす場所には、取り付けない

交通事故やけがの原因となります。

* ステアリング・セレクトレバー・ブレーキペダル付近など

車両メーカーが指定する禁止エリアに、取り付けや配線をしない

カメラ装置などの作動を妨げるおそれがあり、交通事故の原因となります。

車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

エアバッグの作動を妨げる場所には、取り付けや配線をしない

エアバッグが正常に作動しなくなったり、作動時に機器や部品が飛ばされ、死亡事故につながる原因となります。車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

取り付けやアース配線に、車の保安部品*を使わない

制御不能や発火、交通事故の原因となります。

* ステアリング、ブレーキ系統、タンクなどのボルトやナット

ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

コードを破損しない

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。

● 傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものを載せる、熱器具へ近づける、車の金属部や高温部に接触させるなどしないでください。

● 車体やねじ、可動部(シートレールなど)へ挟み込まないように配線してください。

● ドライバーなどの先で押し込まないでください。



分解や改造をしない

分解禁止

● 交通事故や火災、感電、故障の原因となります。

● コードの被覆を切って他の機器の電源をとるのは、絶対におやめください。

● アースコードの改造や、他の機器とのアース接続は絶対におやめください。

安全上の注意（必ずお守りください）

取り付けや配線をするとき

⚠ 注意



必ず、付属品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

しっかり確実に取り付ける

走行中の脱落や破損などで、交通事故やけがの原因となります。

取り付ける場所の水気や汚れ（ほこりや油など）は、取り除いてください。

取り付けの状態（接着やねじのゆるみなど）を、ときどき点検してください。

板金やエッジ、樹脂バリおよび可動部に干渉しないように配線する

断線やショートによる火災や感電、故障の原因となります。



本機の通風孔をふさがない

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

ご使用になるとき

⚠ 警告



ルート案内中でも、常に、実際の交通規制に従う

交通事故の原因となります。

ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門技術者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。

ヒューズ交換や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

スピーカーは、本機の仕様に適合したもの*を使用する

火災や発煙、発火、故障の原因となります。

* 最大入力が50 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 Ω～8 Ω

外部機器*は、運転やエアバッゲの作動などに支障がないように使用する

ご使用の機器および接続するケーブルが、運転やエアバッゲの作動を妨げたり、同乗者に危険をおぼさないよう、適切に取り扱ってください。（配線の処理や機器の固定など）交通事故の原因になることがあります。

* 本機に接続する iPod などの音楽プレーヤー、USB メモリー、スマートフォン、モバイル Wi-Fi ルーターなど

医療用電気機器などへの影響を確認する

本機は、無線機能を搭載しています。心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。

ご使用になるとき

⚠ 警告



ナビ連動ドライブレコーダー(別売品)は、本体の温度を確認してからmicroSDカードを抜き差しする

高温環境での放置(直射日光が長時間あたっていた場合)や連続使用した場合などは、高温になりやけどをするおそれがあります。その場合、温度が低下するまで使用を控えるようにしてください。



運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視しない

必ず安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。

大きな音量で使用しない

車外の音が聞こえないことによる交通事故の原因となります。

換気の悪いところでエンジンをかけたままにしない

エンジンをかけたまま、換気の悪い場所(周囲が囲まれた車庫や屋内など)で長時間使用しないでください。排気ガスにより、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

故障や異常な状態のまま使用しない

画像が映らない、音が出ない、異常(異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がするなど)が起きた場合は、ただちに使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。事故や火災、感電の原因となります。お客様による修理は、絶対におやめください。

SDカードは、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って、飲み込むおそれがあります。

万一飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

機器内部に、水や異物を入れない

特に、傘による雨水や、飲み物などがかからないようご注意ください。

水や、湿気・ほこり・油煙、金属物や燃えやすいものなどが機器内部に入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因となります。



雷が鳴りだしたら、アンテナコードや本機に触らない

落雷による感電のおそれがあります。

接触禁止

ご使用になるとき

⚠ 注意



本機を車載用以外には、使用しない

発煙や発火、感電、けがの原因となります。

可動部やディスク挿入口に手や指を入れない

けがをするおそれがあります。

特に、ディスプレイの開閉の際にご注意ください。

落下させる、たたくなど、強い衝撃を与えない

故障や火災の原因となります。

可動部に負荷を与えない

破損して、けがをするおそれがあります。

開いたディスプレイの上に物を置かない

液晶ディスプレイ部の破損や飲み物がこぼれることにより、発煙や発火、感電、故障の原因となります。

はじめに

ご使用前に知っておいていただきたいこと	12
ご使用上の注意事項など	12
免責事項について	14
著作権について	14
各部のなまえとはたらき	15
タッチパネルの操作について	16
メニューの使いかた	18
トップメニューを表示する	18
各種情報を見る・設定をする	19
全機能一覧から機能を選ぶ	20
トップメニューを編集する	21
トップメニューに表示させるショートカットを選ぶ	21
ショートカットの配置を変更する(トップメニューをカスタマイズ)	21
基本操作・準備(確認・調整)	22
電源を入れる	22
自車位置を確認する	23
GPS情報を確認する	23
音量を調整する	24
車両を後退させるときにオーディオの音量を下げる	25
オーディオの音声を一時的に消音する(ミュート)	25
画面を一時的に消す	25
ディスプレイの角度を調整する(TILT)	26
自車位置を変更する	26
取り付け・配線の確認	27
車両信号情報を確認する	27
拡張ユニット情報を確認する	28
初期設定をする	29
自宅を登録する	29
スマートフォンを本機と接続する	30
スマートフォンを本機にBLUETOOTH機器登録する	30
BLUETOOTH接続する機器で使用する機能を変更する	31
BLUETOOTH機器登録を消去する	31
携帯電話未接続案内の設定をする	31
本機のBLUETOOTH機能のOFF/ONを切り替える	31
Wi-Fi®機器を本機と接続する	32
Wi-Fi機器を本機にWi-Fiネットワーク登録する	32
Wi-Fi接続する機器を変更する	33
Wi-Fiネットワーク登録を消去する	33
本機のWi-Fi機能のOFF/ONを切り替える	33
セキュリティに関する設定をする	34
セキュリティコードを設定する	34
起動時にセキュリティコード認証画面が表示されたら	35
セキュリティコードの設定を解除する	35
盗難多発地点案内の設定をする	35

ご使用前に知っておいていただきたいこと

ご使用上の注意事項など

走行中の操作制限・視聴制限について

- 安全のため、走行中は一部の操作ができないようになっています。また、走行中は映像（TV、DVDなどの動画）を見ることができないようになっています。操作および映像を視聴するときは、安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてください。

車のエンジン停止中／アイドリング中のご使用について

- エンジンを止めたまま使用し続けると、車のバッテリーが消耗します。必ずエンジンをかけてご使用ください。なお、アイドリングが禁止されている地域もありますので、地域の条例等に従ってください。
- エンジンをかけたまま、換気の悪い場所（周囲が囲まれた車庫など）で長時間使用しないでください。排気ガスにより、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

本機に接続する外部機器*について

- 接続する機器の説明書もよくお読みください。
- ご使用の機器および接続するケーブルが、運転やエアバッグの作動を妨げたり、同乗者に危険をおぼさないよう、適切に取り扱ってください。（配線の処理や機器の固定など）
- 温度が高くなる場所（直射日光や暖房機器の温風があたり続けるところなど）に放置しないでください。

* iPodなどの音楽プレーヤー、USBメモリー、スマートフォン、モバイルWi-Fiルーターなど

液晶パネルについて

- 先端が尖ったものや硬いもの（ペン、ピン、爪の先など）は使わず、必ず指で触れて操作してください。また、たたいたり、強く押さないでください。傷や破損、誤動作の原因となります。特に、画面の端は構造上弱くなっているため故障につながるおそれがあります。
- 車から離れるとき（本機を使用しないとき）は、本機に直射日光が当たらないように、車のサンシェードなどをご使用ください。
- 低温になると、映像が出ない、映像が出るのが遅い、動きに違和感がある、画質が劣化したりすることがあります。
- 冷暖房を入れた直後など、水蒸気で画面がくもったり、露（水滴）で、正常に動作しないことがあります。約1時間放置してからご使用ください。
- 高温になると、画面の明るさを自動調整したり、本機の起動を停止する場合があります。
- 液晶パネルの画素は、99.99 %の精度で管理されていますが、0.01 %以下で画素欠けするものがあります。そのため、黒い点が現れたり、赤・緑・青の点が常時点灯する場合がありますが、故障ではありません。
- 液晶保護シートを使用すると、視認性や操作性が損なわれる場合があります。（暗くなる、タッチパネルの反応が悪くなるなど）

本体・液晶パネルのお手入れ

- お手入れは、必ず車のエンジンを止めた状態(ACC OFF)で行ってください。
- 本体の汚れは、きれいな柔らかい布で、軽く乾拭きしてください。

液晶パネルのお手入れの際には、次のことをお守りください。

- 表面の汚れなどは、乾いたきれいな柔らかい布で、軽く拭いてください。
- 次のものを使用しないでください。
 - ・汚れや砂、硬いゴミがついた布
 - ・濡れた布(ウェットティッシュ含む)
 - ・硬い布
 - ・液晶パネル以外を拭いた布
 - ・ティッシュペーパー
 - ・研磨剤
 - ・洗剤(ガラス用クリーナー含む)
 - ・シンナー、ベンジン、アルコール、ガソリンなどの有機溶剤、酸性やアルカリ性の溶剤
- 液晶パネルを強くこすらないでください。爪を立てたり、布の角や折り目でこすらないでください。

本機と車のバッテリーとの接続が断たれたとき^{*}は

- オーディオに関する一部の設定などがお買い上げ時の状態に戻ります。(P.162)
- セキュリティコードを設定している場合、次回起動時にセキュリティコードの入力が必要になります。(P.35)
- 本機を別の車に載せかえた場合や、タイヤを交換またはローテーションした場合は、「センサー学習値初期化」を行ってください。(P.27)

* 車から本機を取り外したり、バッテリー交換やヒューズ交換を行った場合など

万一、故障や異常が起こったら

- 車を安全な場所に停車させて電源を切り、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は、絶対におやめください。
- 故障や異常の状況は、できるだけ具体的にご連絡ください。

本機を廃棄 / 譲渡するときは

- 本機に記録された情報(登録地、走行軌跡などの履歴、自宅や電話番号等の個人情報など)を必ず消去し、出荷時の状態に戻してください。(P.162)
- 廃棄する際は、各自治体の指示に従ってください。

その他

- 本機は日本国内専用です。海外では使用できません。また、法令により許された場合を除き、本機を日本国外に持ち出してはいけません。

ご使用前に知っておいていただきたいこと

免責事項について

- 本機は、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではありません、また、本機のソフト(収録されている地図データや安全支援機能など)が完全・正確であることを、保証するものではありません。
- 本機は各種規格に基いた製品仕様になっておりますが、接続する機器やソフト/アプリなどによっては、期待どおりに動作しない場合があります。
- 各種アプリが提供するサービスは、予告なく変更・終了される場合があります。
- 本機に接続する機器については、すべての動作を保証するものではありません。
- 車の運転は、必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、それらを優先してください。交通事故や交通違反の罰則などに対して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 火災や地震または気象による自然災害、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、異常な条件下での使用により故障および損害が生じた場合、補償はできません。
- 本機の使用や使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)に関して、当社は一切の責任を負いかねます。
- 本機の使用中にメディアや接続している機器のデータが変化・消失した場合の補償はできません。
- 本機を業務用のバスやトラック、タクシー、商用車などに使用した場合の保証はできません。
- 本機に記録された個人情報(登録地、走行軌跡などの履歴、電話番号など)は、お客様の責任において管理(消去など)してください。当社は一切の責任を負いかねます。
- 次の場合、補償はできません。
大切な情報(登録地など)は、万一に備えてメモなどをとっておくことをおすすめします。
 - ・誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたことにより本機が正常に動作しなくなった場合
 - ・誤使用や、静電気などの電気的なノイズを受けたとき、または故障・修理のときなどに、本機に記録されていた情報が変化・消失した場合
 - ・本機の地図データ更新で、道路や地形に変化のあった地域に関連するルートや地点のデータが消失した場合
 - ・本機のソフトウェアをバージョンアップする際に、記録されていた情報が変化・消失した場合

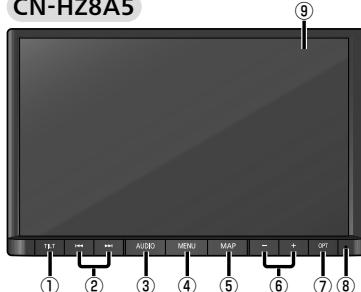
著作権について

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- お客様が録音・録画したものは、個人として楽しむ場合を除き、著作権法上権利者に無断で使用できません。また、営利目的または公衆に視聴されることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

各部のなまえとはたらき

■ディスプレイ閉

CN-HZ8A5



■ディスプレイ開

●CN-HZ8A5を例に説明しています。



CN-HZ7A5W



①	チルト TILT	● OPEN/EJECT画面を表示/消去する ● ディスプレイを閉じる
②	◀▶◀▶ DVD CD USB SD iPod MEMORY MUSIC BLUETOOTH Audio FM AM TV	● 曲・チャプター・ファイルの頭出し ● 早送り・早戻し(押し続ける) ● 選局する ● シーク選局(約0.5秒以上押す) ● 選局する
③	オーディオ AUDIO	● オーディオ画面に切り替える ● オーディオメニューを表示する ● オーディオ OFF/ON を切り替える(約2秒以上押す)
④	メニュー MENU	● トップメニューを表示する
⑤	マップ MAP	● 自車位置(現在地)を表示する ● 画面調整(画質調整)画面を表示する(約2秒以上押す)
⑥	音量ボタン(− +)	● オーディオ/ハンズフリーの音量調整
⑦	オプション OPT セレクトビューバックアイカメラ、 または全方位モニター接続時 セレクトビューバックアイカメラ、 および全方位モニター非接続時	● セレクトビューバックアイカメラ、または全方位モニターの映像を表示する オプションスイッチの設定に応じて、下記のいずれかの操作ができます。(P. 161) ● オーディオの音声を一時的に消音する ● オーディオを切り替える ● 前回発信した番号に電話をかける ● 自宅までのルートを探索する
⑧	内蔵マイク	● ハンズフリー通話時に使用する
⑨	画面(表示部)、タッチパネル	● タッチ操作時に使用する
⑩	SDカード挿入口	● 市販のSDカードを挿入する
⑪	ディスク挿入口	● DVD、CDを挿入する

タッチパネルの操作について

本機のタッチパネルは、必ず指で触れて操作してください。

先端が尖ったものや硬いもの（ペン、ピン、爪の先など）で操作したり、たたく、強く押すなどして液晶パネルに負担がかかると、傷や破損、および誤動作の原因となります。

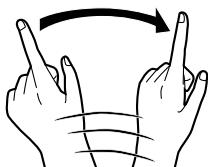
本機のタッチパネルの操作のしかたは、下記のとおりです。



■ タッチ

指で画面に軽く触れる。

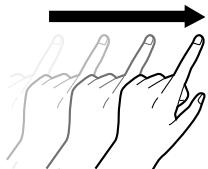
- 本書で「○○を選ぶ」と記載している場合は、タッチで項目を選んでください。
- 本書で「○秒以上タッチする」「タッチし続ける」と記載している場合は、長くタッチしてください。



■ フリック

指で画面をはらう。

- メニュー画面をフリックした方向に切り替える。
- リストの項目をフリックした方向に移動させる。
- 地図画面をフリックした方向にスクロールする。



■ ドラッグ

指で画面をタッチしたまま、なぞる。

- メニュー画面をドラッグした方向に切り替える。
- リストの項目をドラッグした方向に移動させる。
- 地図画面をドラッグした方向にスクロールする。
- スライダーをドラッグして、イコライザーなどを調整する。



■ 2点タッチ（同時に2か所をタッチ）

同時に2か所をタッチする。

- 地図の縮尺を「広域」に切り替える。

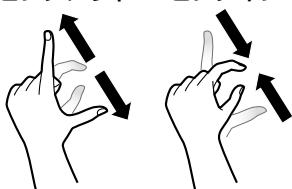


■ ダブルタップ(連続して2回タッチ)

同じ場所を連続して2回タッチする。

- 地図の縮尺を「詳細」に切り替える。
- DVD-Videoのトップメニューまたはタイトルメニューを表示中に動画操作画面を表示する。

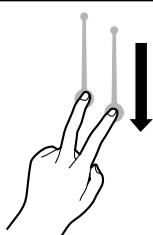
ピンチアウト ピンチイン



■ ピンチ

2本の指で、間隔を広げる/狭めるようになぞる。

- ピンチアウト(広げる)
 - 地図の縮尺を「詳細」に切り替える。
 - ・指の間をぴったりつけずに、指1本分くらい間隔をあけてください。
- ピンチイン(狭める)
 - 地図の縮尺を「広域」に切り替える。



■ 2点ドラッグ(上下のみ)

2点タッチしたまま、上下にドラッグする。

- 地図の傾きを調整する。



■ 回転ドラッグ

2本の指で円弧を描くようにドラッグする。

- 地図モード画面で、地図を回転させる。

メニューの使いかた

トップメニューを表示する

MENU を押す

- トップメニューを表示します。

はじめに

メニューの使いかた

■ トップメニュー



● All Apps(全機能一覧) 20

- Audio ON/OFF 85
- ハンズフリー 132
- 情報・設定 19
- ルート 63

■ ショートカット

全機能一覧(P.20)から、よく使う項目をショートカットとして登録できます。(P.21)

- 画面が複数ある場合は、[/] を選ぶか、ショートカット周辺を左右にフリックまたはドラッグすると、左右の画面に切り替わります。(タッチパネルの操作について→P. 16)
- お買い上げ時は、下記の機能がショートカットに登録されています。



- | | | |
|---------------------------------------|---|--------------------|
| ● USB * ¹ 111 | ● BLUETOOTH Audio... 114 | ● 住所..... 59 |
| ● AM..... 94 | ● TV 86 | ● ジャンル 60 |
| ● MEMORY MUSIC * ² ... 105 | ● FM..... 94 | ● マップコード..... 60 |
| ● iPod..... 118 | ● DISC * ³ (DVD/CD) 97~102 | ● ドライブレコーダー... 150 |
| ● 交通情報..... 95 | ● 名称..... 58 | ● 登録地 60 |
| ● SD * ¹ 111 | ● 電話番号 59 | ● 周辺施設 61 |
| | ● 履歴..... 59 | |
| | ● 自宅..... 60 | |

* 1 パソコンなどで保存したデータ(音楽/動画)の再生

* 2 本機でSDカードに録音した音楽データの再生

* 3 挿入されたディスクによって、表示が変わります。

各種情報を見る・設定をする

トップメニュー(P.18)から、

情報・設定 を選ぶ

- 情報・設定メニューを表示します。

■ 情報・設定メニュー^{*1}



■ ナビ情報・設定メニュー^{*1}



- チューン 54~55
- ナビ設定 158~160
- 渋滞情報 79
- ETC情報 145
- GPS情報 23

■ スマートフォン接続設定メニュー^{*1}



- BLUETOOTH 設定 30
- Wi-Fi 設定 32

■ オーディオ情報・設定メニュー^{*1}



- オーディオチューン 120
- オーディオ出力 85
- リバース時のオーディオ音量ダウン 25

■ システム情報・設定メニュー^{*1}



- 操作音 161
- 時計表示 161
- 案内音声設定 161
- 音量設定 24
- 画質調整 127
- 画面OFF 25
- トップメニューカスタマイズ 21
- セキュリティ設定 34
- メンテナンス通知設定 138
- ドライブレコーダー設定 152
- オプションスイッチ設定 161
- ダイレクトボタン設定 161
- 休憩案内 161
- バージョン情報 139
- 車両信号情報 27
- 拡張ユニット情報 28
- ソフトウェア・地図 更新 142
- Gracenote データベース更新 143
- 初期化 162
- 端末情報 139
- 取付店ダイアグ
使用しません(取付店が設定します)

* 1 ← を選ぶと、トップメニューに戻ります。

メニューの使いかた

全機能一覧から機能を選ぶ

- 1 トップメニュー(P.18)から、
≡ All Apps を選ぶ
● All Apps(全機能一覧)を表示します。

- 2 All Apps(全機能一覧)から、
項目(機能)を選ぶ

- 選んだ項目の画面に切り替わります。

※ 以降、All Apps を「全機能一覧」と表記して説明します。

■ All Apps(全機能一覧)



全機能一覧から選択できる項目

■ Smartphone Connection

- ハンズフリー 132

■ 目的地

- 周辺施設 61
- 自宅 60
- ジャンル 60
- 住所 59
- 電話番号 59
- 登録地 60
- マップコード 60
- 名称 58
- 履歴 59

■ Audio(オーディオ)

- AM 94
- BLUETOOTH Audio 114
- DISC¹ (DVD/CD) 97~102
- FM 94
- iPod 118
- MEMORY MUSIC 105
- SD 111
- TV 86
- USB 111
- 交通情報 95

■ システム連携

- ドライブレコーダー 150

■ 情報・設定

- オーディオ情報・設定 19
- システム情報・設定 19
- スマートフォン接続設定 19
- ナビ情報・設定 19

* 1 挿入されたディスクによって、表示が変わります。

トップメニューを編集する

全機能一覧(P.20)の項目から、お好みの項目をショートカットとしてトップメニューに表示できます。(1画面あたり最大8項目、7画面まで)

トップメニューに表示させるショートカットを選ぶ

全機能一覧(P.20)から、
トップメニューに表示させたい項目の
「メニューに表示」チェックボックスを
ONにする

- タッチするごとにON/OFFが切り替わります。
- チェックした項目が、トップメニューにショートカットとして表示されます。



ショートカットの配置を変更する（トップメニューをカスタマイズ）

1 システム情報・設定メニュー(P.19)から、トップメニューをカスタマイズを選ぶ

- トップメニューをカスタマイズ画面が表示されます。
- トップメニュー(P.18)でショートカットを約1秒以上タッチしても、表示できます。

2 配置を変更したい項目をドラッグして、移動させる

■ 画面内を移動させる

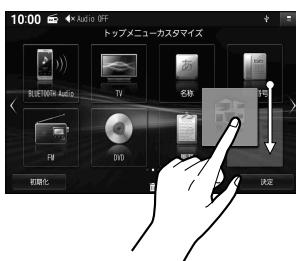
ドラッグした位置に移動します。

■ 他の画面に移動させる

画面の左端/右端までドラッグすると、左となり/右となりの画面に移動します。

■ 削除する

までドラッグすると、
ショートカットから削除されます。



- ドラッグした位置に他の項目がある場合は、自動的にドラッグした項目を避けて再配置されます。
- すでに8項目すべて配置されている画面には、他の画面から項目を移動できません。
不要な項目を他の画面に移動させるか削除してから移動してください。

3 決定を選ぶ

- トップメニューをカスタマイズを完了します。

お買い上げ時の設定に戻すには

トップメニューをカスタマイズ画面から、**初期化**▶**はい**を選ぶ

基本操作・準備(確認・調整)

電源を入れる

1 車のエンジンをかける(ACCをONにする)

- 本機の電源が入り、ボタン照明が点灯します。
- セキュリティコード認証画面が表示されたら→P.35
- 使用環境により起動時のオープニング画面表示が遅れる(黒い画面が表示される)ことがありますが、故障ではありません。
- 全方位モニターが装備されている場合は、3Dビュー画面*が表示されます。

* 全方位モニターのオープニング表示
・ON/OFFの切り替えができます。詳しくは、車両のオーナーズマニュアルをご覧ください。

2 警告画面の注意事項を確認して、OKを選ぶ

- 現在地画面(自車位置)が表示されます。
- オーディオ画面が表示されたときは、MAPを押すとナビゲーション画面(現在地)に切り替わります。
- 約10秒間何も操作しないと、警告画面は消去されます。
- ETC車載器/ETC2.0車載器を接続すると、ETCカードの状態などをお知らせします。
- スマートフォンを本機に接続しているときは、スマートフォンとの接続確認のメッセージが表示される場合があります。
- 車両のメンテナンス通知を設定している場合は、メンテナンスが必要な時期になると通知されます。(P.138)

電源を切るには

車のエンジンを止める(ACCをOFFにする)

- 本機の電源が切れます。
- ETC車載器/ETC2.0車載器を接続している場合は、カード抜き忘れ案内が行われます。(P.160)

自車位置を確認する

初めて起動したときなどに、自車位置と異なる地図が表示される場合がありますが、GPS衛星からの信号を受信し、しばらくすると自車位置付近の地図（現在地画面）が表示されます。

1 GPS信号を受信していることを確認する

- 受信すると、現在時刻が表示されます。未受信の場合は、――:――と表示されます。
- 走行すると受信や現在地測位に時間がかかるため、受信できるまで走行せずにお待ちください。

2 見晴らしの良い道路をしばらく（60分以上）走行して、GPS信号を受信させる

- 地図画面上の自車マークの位置と実際の自車位置との誤差が補正されます。
- 現在地の測位が完了すると、方位マークの色が赤から白に変わります。



お知らせ

- しばらく経過しても自車位置が表示されないときは、GPS情報（下記）から受信状態を確認してください。

GPS情報を確認する

1 ナビ情報・設定メニュー（P.19）から、GPS情報を選ぶ

2 GPS情報を確認する

- GPS/QZSS^{*1}：各測位システムの受信状態を表示
 - ・緑：測位に使用中
 - ・青：受信中
- 緯度：現在位置の緯度を表示
- 経度：現在位置の経度を表示
- 年月日：現在の日付を表示
- 現在時刻：現在時刻を表示

* 1 本機は、準天頂衛星システム「みちびき」に対応しています。（P.195）



基本操作・準備(確認・調整)

音量を調整する

本体ボタンで

調整したい音声が出力された状態で、**－** **＋**を押して調整する

- 出力中の音声の音量が調整されます。
ナビゲーションの音声案内(ナビ案内音)とオーディオまたはハンズフリーの音声が同時に
出力されているときは、ナビ案内音が調整されます。
- 調整中はヘッダーに音量が表示されます。
- オーディオの音量は、ソースごと(個別)に記憶されます。

システム情報・設定メニューから

1 システム情報・設定メニュー(P.19)から、**音量設定**を選ぶ

2 **－** **＋**で、各項目の音量を調整する

- 調整範囲[太字: お買い上げ時の設定]
 - ・ナビ案内音: 0 ~ **5** ~ 11
 - ・ハンズフリー着信音: 0 ~ **20** ~ 40
 - ・ハンズフリー受話音: 0 ~ **20** ~ 40
 - ・ハンズフリー送話音: 1 ~ **4** ~ 7
- スライダーをドラッグしても、音量を
調整できます。

音量設定画面



お知らせ

- ハンズフリー送話音の音量は、「0」には設定できません。
- ハンズフリー着信音、ハンズフリー受話音を「3」以下に設定していても、電話が着信するか
ハンズフリー通話を行うと「4」に変更されます。

お買い上げ時の設定に戻すには

音量設定画面(上記)から、**初期値**▶**はい**を選ぶ

ナビ案内音量について

- ナビ案内音の音量が「0」のときは、本体ボタンで音量を調整できません。
- 「案内音量の車速連動」が「ON」に設定されていると、走行する速度に応じてナビ案内音の
音量が自動的に調整されます。
- ナビゲーションの音声案内に関する設定(案内音声設定)については→P.161

車両を後退させるとときにオーディオの音量を下げる

周囲の音や車両からの警告音、注意喚起音などが聞こえやすくなります。

[お買い上げ時の設定: ON]

オーディオ情報・設定メニュー(P.19)から、
リバース時のオーディオ音量ダウンONを選ぶ

●セレクトレバーをR(リバース)に入れると、オーディオの音量が下がります。

お知らせ

●ナビ案内音とハンズフリーの音声の音量は下がりません。

●[OFF]を選ぶと、セレクトレバーをR(リバース)に入れてもオーディオの音量は下がりません。

オーディオの音声を一時的に消音する（ミュート）

ステアリングオーディオスイッチで

ステアリングオーディオスイッチに該当のボタンがある場合のみ、操作ができます。

ステアリングオーディオスイッチのまたは*¹を押す

●再度押すと、解除されます。

* 1 ハンズフリー着信中／通話中に押すと、電話に出る／電話を切る操作となります。(P.130、131)

本体ボタンで

オプションスイッチの設定が「消音」で、セレクトビューバックアイカメラおよび全方位モニターがどちらも接続されていない場合のみ、操作ができます。(P.161)

OPTを押す

●再度押すと、解除されます。

お知らせ

●ミュート中は、ヘッダーにと表示されます。

●ナビ案内音とハンズフリーの音声などはミュートされません。

●オーディオをOFFにするには→P.85

画面を一時的に消す

システム情報・設定メニュー(P.19)から、[画面OFF]を選ぶ

画面を再表示するには

AUDIO MENU MAP TILT のいずれかを押す、または画面をタッチする

基本操作・準備（確認・調整）

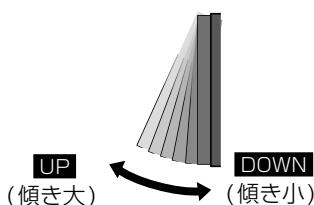
ディスプレイの角度を調整する（TILT）

1 TILT を押す

2 角度を調整する（5段階）



- UP：傾きが大きくなる
- DOWN：傾きが小さくなる



3 TILT を押す

お願い

- 周辺に物を置くなど、動きを妨げないでください。
- 手で動かすなど、無理な力を加えないでください。
- 可動部周辺に異物が挟まらないようにしてください。

お知らせ

- 車のエンジンを止めると、全閉状態になります。
- 次回エンジンをかけたとき、今回調整した角度まで開きます。
- より見やすくするには、画面の明るさを調整してください。（P.127）
- 車両の振動や衝撃などによって、調整した角度から傾きが変わってしまう（閉まる）場合があります。

自車位置を変更する

※通常はこの操作は必要ありません。

1 ナビ情報・設定メニュー（P.19）から、ナビ設定 ▶ 表示設定を選ぶ

2 自車位置修正を選ぶ

3 位置を調整し、決定を選ぶ

- 縮尺を詳細側にしておくと、より正確に自車位置を修正できます。



4 ① ② で自車マークを進行方向に合わせ、決定を選ぶ

- セットした位置に自車位置が変更されます。



お知らせ

- 実際の自車位置とは異なる場所に自車位置を移動させても、GPS衛星からの信号を受信すると、実際の自車位置の地図に切り替わります。

取り付け・配線の確認

車両信号情報を確認する

1 システム情報・設定メニュー(P. 19)から、車両信号情報を選ぶ

2 車両信号情報を確認する



項目	確認内容
パーキングブレーキ信号	パーキングブレーキをかけると「ON」に、解除すると「OFF」に変わりますか？
リバース信号	セレクトレバーをリバース(R)に入れると「ON」、解除すると「OFF」に変わりますか？
イルミネーション信号 ^{＊1}	車のスマートランプ(車幅等)を点灯させると「ON」、消灯させると「OFF」に変わりますか？
車速パルス	走行後、数字が変わりますか？
+B電圧	バッテリーの電圧が表示されます。12 V(11 V～16 V)になっていますか？
センサー学習レベル	走行後、数字や表示が変わりますか？ ● 距離:「0」(レベル低)～「4」(レベル高) ● 回転:「未補正」▶「補正中」▶「補正完」 ● 3D:「補正中」▶「補正完」
センサー学習値初期化	センサー学習値初期化▶はい▶はい: センサー学習レベルを初期化する

* 1 車種やグレードによっては、表示が車両のスイッチに連動しない場合があります。

お知らせ

- 次のようなコースでは、補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出ることがあります。
 - ・渋滞・停車を頻繁に繰り返す
 - ・右左折が極端に少ない
 - ・右左折が多い
 - ・GPS信号を受信しにくい
- 次の場合にも「センサー学習値初期化」をしてください。
 - ・別の車に本機を載せかえた
 - ・タイヤを交換した
 - ・タイヤをローテーションした
- 「車速信号が検出できません」と表示された場合は、車速信号コードの接続を確認してください。
- 車種によっては、速度を上げると自車マークが動かなくなることがあります。補正処理を行っている間は故障ではありません。
- 正常な状態にならない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

取り付け・配線の確認

拡張ユニット情報を確認する

1 システム情報・設定メニュー(P.19)から、**拡張ユニット情報**を選ぶ

2 拡張ユニット情報を確認する



項目	確認内容
iPod* ¹	iPod を接続すると、「接続済み」表示に変わりますか？
USB* ¹	USBメモリーを接続すると、「接続済み」表示に変わりますか？
ETC車載器	ETC車載器を接続している場合、「接続済み」表示になっていますか？
ETC2.0車載器	ETC2.0車載器を接続している場合、「接続済み」表示になっていますか？
ドライブレコーダー	ナビ連動ドライブレコーダーを接続している場合、「接続済み」表示になっていますか？

* 1 同時に接続できません。なお、iPod を接続時は、iPod とUSBが「接続済み」表示になります。

〔お知らせ〕

- 正しい表示に変わらない場合は、**更新**を選ぶと表示中の情報が更新されます。

初期設定をする

自宅を登録する

1 自宅が登録されていない状態で、

トップメニュー(P.18)または全機能一覧(P.20)から、**自宅**▶**はい**を選ぶ

- 自宅登録メニューが表示されます。

2 自宅の場所を検索する

- 検索方法は「行き先を探す」と同じです。(P.58~61)

●現在地付近：現在地付近の地図を表示^{*1}

●出発地付近：出発地付近の地図を表示^{*2}

●目的地付近：目的地付近の地図を表示^{*2}

●地図：最後に表示していた地図を表示

*1 ルート未設定時のみ

*2 ルート案内中のみ



3 設定▶保存を選ぶ

- カーソルの地点が、自宅として登録されます。

●引き続き、自宅へのルートが探索されます。

●自宅を登録すると、地図上に自宅のアイコン(自宅)が表示されます。

お知らせ

- 自宅の編集・消去は、登録地リストから行ってください。(P.73)

スマートフォンを本機と接続する

スマートフォンを本機に BLUETOOTH 機器登録する

スマートフォンを本機に BLUETOOTH 機器登録すると、下記の機能を利用できます。

- BLUETOOTH Audio 再生 → P. 114
- ハンズフリー通話 → P. 130

● スマートフォン連携機能

- NaviCon → P. 134
- CarAV remote S → P. 135

※ 対応スマートフォンは、Web サイトでご確認ください。 <https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

※ スマートフォン側の操作はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 一度接続すると、次回からは自動的に接続されます。登録済みの別の機器を接続する場合は、「BLUETOOTH 接続する機器で使用する機能を変更する」を行ってください。(P. 31)
- スマートフォンは、最大5台まで BLUETOOTH 機器登録できますが、接続できるのは電話/スマートフォンアプリ、オーディオで各1台です。

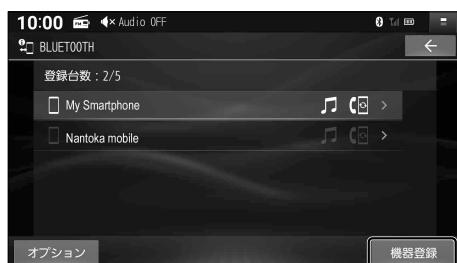
1 スマートフォン接続設定メニュー(P. 19)から、BLUETOOTH 設定を選ぶ

- 本機の BLUETOOTH 機能が「OFF」になっている場合は、「ON」にしてください。(P. 31)

2 機器登録を選ぶ

- 本機が BLUETOOTH 接続待機状態になります。
- すでに5台登録されているときは登録できません。
メッセージが表示された場合は、「はい」を選んで登録済みの機器を消去してください。(P. 31)

■ BLUETOOTH 設定画面



3 スマートフォンを操作して機器登録する

- ① BLUETOOTH を ON に設定する
- ② 周辺の BLUETOOTH 機器を検索する
- ③ 検索結果から本機のデバイス名 (CAR MULTIMEDIA) を選び、機器登録する

4 使用する機能を選び、決定を選ぶ

- スマートフォンが BLUETOOTH 機器登録され、選んだ機能で本機と接続されます。
※ BLUETOOTH 接続中の機器がある場合は、そちらの接続が解除されます。(登録は削除されません。)
- 再度選ぶと、接続が解除されます。
- ハンズフリー接続をした場合は、スマートフォンの電話帳と発着信履歴の情報が、本機に転送されます。^{*}
携帯電話データの自動同期 → P. 133



BLUETOOTH Audio 接続
(BLUETOOTH Audio 再生を使用する)

* 1 機器や電波の状況によっては、ハンズフリー接続後の電話帳と発着信履歴の転送に時間がかかる場合があります。

ハンズフリー接続
(ハンズフリー通話、スマートフォン連携機能を使用する)

BLUETOOTH 接続する機器で使用する機能を変更する

1 BLUETOOTH 設定画面 (P.30) から、変更したい機器を選ぶ

2 使用する機能を選び、決定を選ぶ

- 設定した内容で本機と BLUETOOTH 接続されます。
※ 接続中の機器がある場合は、そちらの接続が解除されます。(登録は削除されません。)
- 再度選ぶと、接続が解除されます。
- ハンズフリー接続する機器を変更した場合、前の機器の電話帳と発着信履歴は消去され、新しく接続したスマートフォンの電話帳と発着信履歴の情報が、本機に転送(上書き)されます。^{*1}
(携帯電話データの自動同期→P.133)

* 1 機器や電波の状況によっては時間がかかる場合があります。

■ 機能選択画面



BLUETOOTH Audio 接続
(BLUETOOTH Audio 再生を使用する)

ハンズフリー接続
(ハンズフリー通話、スマートフォン連携機能を使用する)

BLUETOOTH 機器登録を消去する

削除したい機器の機能選択画面(上記)から、消去▶はいを選ぶ

- 選んだ機器の登録が消去されます。

携帯電話未接続案内の設定をする

1 BLUETOOTH 設定画面 (P.30) から、オプションを選ぶ

2 携帯電話未接続案内の ON/OFF を選ぶ

- 「ON」に設定すると、機能選択画面(上記)で「電話/スマートフォンアプリ」に設定されたスマートフォンが本機の起動時に BLUETOOTH 接続されていないとき、携帯電話未接続案内が行われます。

■ オプション画面



本機の BLUETOOTH 機能の OFF/ON を切り替える

オプション画面(上記)から、BLUETOOTH の OFF を選ぶ

- BLUETOOTH 機能が OFF になります。
- ON を選ぶと、BLUETOOTH 機能が ON になります。

Wi-Fi[®]機器を本機と接続する

Wi-Fi 機器を本機に Wi-Fi ネットワーク登録する

Wi-Fi 機器（スマートフォン、モバイル Wi-Fi ルーターなど）を本機に Wi-Fi ネットワーク登録すると、下記の機能を利用できます。

- タイトル情報の更新（音楽 CD、MEMORY MUSIC）→ P. 101、108

※ スマートフォンでテザリングを利用するには事前のお申し込みが必要となり、利用料金は有料の場合があります。（キャリアや契約状況によって異なります）

※ Wi-Fi 機器側の操作は各機器の取扱説明書をご覧ください。

1 (スマートフォンの場合のみ) Wi-Fi テザリング (AP モード) の設定をする

- ① スマートフォンを操作して、Wi-Fi テザリング (AP モード) を ON にする
- ② Wi-Fi テザリング設定から、ネットワーク名 (SSID) とパスワードを確認する

2 スマートフォン接続設定メニュー (P. 19) から、Wi-Fi 設定を選ぶ

- 周辺の Wi-Fi 機器を検索し、検索結果がリストで表示されます。

3 リストから、接続する機器を選ぶ

- スマートフォンの場合は、手順 1 で確認したネットワーク名 (SSID) を選択してください。

4 パスワードを選ぶ

5 パスワードを入力し、 を選ぶ

- スマートフォンの場合は、手順 1 で確認したパスワードを入力してください。
- 文字入力のしかた→ P. 180

■ Wi-Fi 設定画面



10:00

My Smartphone

パスワード

モード変更

10:00

My Smartphone

パスワード

モード変更

10:00

パスワード



10:00

My Smartphone

パスワード

モード変更



6 接続を選ぶ

- 選んだ機器が Wi-Fi ネットワーク登録され、Wi-Fi 接続されます。

※ Wi-Fi 接続中の機器がある場合は、そちらの接続が解除されます。（登録は消去されません。）

- ：パスワードの文字を表示

お知らせ

- 使用する機器が対応しているセキュリティ方式によっては、本機と Wi-Fi 接続できない場合があります。（本機が対応するセキュリティ方式→ P. 193）

Wi-Fi 接続する機器を変更する

Wi-Fi設定画面 (P.32) から、接続したい機器を選ぶ

- 選んだ機器が本機とWi-Fi接続されます。

※ Wi-Fi接続中の機器がある場合は、そちらの接続が解除されます。(登録は削除されません。)

Wi-Fi ネットワーク登録を消去する

1 Wi-Fi設定画面 (P.32) から、[オプション]を選ぶ

2 登録ネットワーク一覧 を選ぶ

- 新規ネットワーク登録：
Wi-Fi機器を本機にWi-Fiネットワーク登録できます。

■ Wi-Fiオプション画面



3 消去したい登録ネットワークを選ぶ

■ 登録ネットワーク一覧



4 消去 を選ぶ

- 選んだ機器のWi-Fiネットワーク登録が消去されます。

■ パスワード入力画面



本機のWi-Fi機能のOFF/ONを切り替える

1 Wi-Fi設定画面 (P.32) から、[モード変更]を選ぶ

2 OFF を選ぶ

- Wi-Fi機能がOFFになり、接続が解除されます。
- ネットワークを選ぶと、Wi-Fi機能がONになります。

セキュリティに関する設定をする

万一盗難にあった場合でも、セキュリティコードを設定していれば、盗難後の使用や個人情報の漏洩を防ぐことができます。

セキュリティコードを忘れた場合、本機を使用できなくなりますので、
お買い上げの販売店にご相談ください。
セキュリティコード解除に生じる費用は、お客様のご負担になります。

セキュリティコードを設定する

設定したセキュリティコードは、忘れないようにメモしておいてください。

1 システム情報・設定メニュー(P. 19)から、**セキュリティ設定**を選ぶ

2 セキュリティ設定ONを選ぶ

■ セキュリティ設定画面



3 (初めて設定する場合のみ)

下記の操作を行い、初期パスワードを解除する

- ① **OK**を選ぶ
- ② 初期パスワード「9876」を入力し、**決定**を選ぶ
- ③ **はい**を選ぶ

4 **OK**を選ぶ

5 任意のセキュリティコードを入力し、 **決定**を選ぶ

- : 1文字削除
- 文字種: 数字・A～Fの大文字
- 文字数: 4文字～12文字
- ※第三者から推測されやすい文字列
(例: 生年月日、0000のような同じ
文字の繰り返し、わかりやすい並びの
文字など)を避けて設定してください。



6 **はい**を選ぶ

- セキュリティコードが設定されます。

起動時にセキュリティコード認証画面が表示されたら

セキュリティコードが設定された状態で、バッテリーコードが外されたあとに本機を起動する/出荷状態に戻す(P.162)/本体リセットを行う(P.179)と、セキュリティコード認証画面が表示されます。

設定したセキュリティコードを入力し、**決定**を選ぶ

- ロックが解除されます。
-  : 1文字削除
- 文字種: 数字・A~Fの大文字
- 文字数: 4文字~12文字



セキュリティコードの設定を解除する

他人に譲渡する場合などは、セキュリティコードの設定を解除してください。

1 セキュリティ設定画面(P.34)から、セキュリティ設定**OFF**を選ぶ

2 設定したセキュリティコードを入力し、**決定**を選ぶ

- セキュリティコードの設定が解除されます。

盗難多発地点案内の設定をする

盗難多発地点のアイコンを地図上に表示し、注意を促します。

セキュリティ設定画面(P.34)から、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
盗難多発地点 表示案内	<input type="radio"/> N : 盗難多発地点を地図に表示する <input type="radio"/> F : 盗難多発地点を地図に表示しない
市街地図での盗難多発地点表示案内	●「盗難多発地点 表示案内」が「ON」の場合のみ設定できます。 <input type="radio"/> N : 盗難多発地点を市街地図に表示する <input type="radio"/> F : 盗難多発地点を市街地図に表示しない

ナビゲーション

地図の紹介	38
市街地図	38
広域地図	38
標高地図	38
ETC レーン案内	39
ハイウェイモード	39
案内拡大図	40
地図画面の表示内容について	42
現在地画面	42
地図モード画面	43
ランチャー	44
地点メニュー	44
案内ルート	45
走行軌跡	45
ヘッダー	46
安心運転サポート情報	47
地図の操作	48
地図をスクロールする	48
地図の縮尺を切り替える	49
地図の向き(ノースアップ/ヘディングアップ)を切り替える	50
地図の傾きを調整する	50
地図を回転させる	51
現在地画面の右側に地図を表示させる	51
SA・PAの情報を表示する	51
地図にランドマークを表示させる	52
拡大図・案内図表示を切り替える	53
探索・案内・地図・VICSをアレンジする(ナビチューン)	54
ルート探索をアレンジする	54
ルート案内をアレンジする	54
地図表示をアレンジする	55
VICS案内をアレンジする	55
行き先までのルートを作るには	56
ルート案内を中止する	57
ルートを消去する	57
行き先を探す	58
施設の名称で探す	58
電話番号で探す	59
住所で探す	59
検索履歴から探す	59
自宅へ帰る	60
登録地から探す	60
ジャンルから探す	60
マップコードで探す	60
周辺の施設を探す	61
検索した施設を目的地・経由地に設定する	62

全ルート図から確認・設定する	63
手動で全ルート図を表示させる	63
デモ走行でルートを確認する	63
ルートを編集する	64
経由地を追加・消去する	64
目的地を追加・消去する	64
経由地・目的地の順番を並べ替える	65
区間ごとの探索条件を変更する	65
ルート探索について	66
探索条件について	66
ルート学習について	66
細街路探索について	66
曜日時間規制探索について	67
VICS考慮について	67
スマートIC、ETC専用料金所を通るルートについて	67
ルート案内について	68
音声案内について	68
次の交差点などの音声案内を聞く	69
ルート案内中の曜日時間規制探索	69
ルート案内中のVICS自動再探索(スイテルート案内)	69
ルートから外れたときの自動再探索	69
新しいルートと前のルートを比較する(新旧ルート比較)	70
探索条件を変更してもう一度ルートを探索する	70
走行中の道路を誤って認識したとき(道路切替)	70
逆走注意アラーム・逆走検知警告	71
地点を登録する(登録地)	72
登録地について	72
登録地リストを表示する	72
地点を登録する	72
登録地リストから目的地・経由地を設定する	72
登録地を消去する	73
登録地の情報を見る	73
登録地を編集する	74
VICS情報を見る	75
VICSについて	75
文字表示型のVICS情報(レベル1)	75
図形表示型のVICS情報(レベル2)	75
地図表示型のVICS情報(レベル3)	76
ETC2.0サービスによるVICS情報	78
VICS情報を確認する	79
VICS情報マークの内容を確認する	79
緊急情報(特別警報)を受信すると	80

地図の紹介

市街地図



5 m～25 m縮尺では、建物の形まで詳細に表した地図が表示されます。



- 地図を傾けると(P.50)、建物が立体的に表示されます。
- 有名施設の立体表示(ポリゴンランドマーク)は、50 m～200 m縮尺でも表示されます。

広域地図



50 m～2.5 km縮尺では、道路を線で表した、シンプルな地図が表示されます。

- 道幅が5.5 m以上の道路を走行中は、細街路は表示されません。
- 走行中に地図を動かすと、細街路は表示されません。

標高地図



5 km～100 km 縮尺では、衛星写真のようなリアルな地図が表示されます。

ETC レーン案内



ハイウェイモード



SA・PAの施設情報が表示されます。

ルート案内中に料金所手前でレーン拡大図を表示

- 約 1 km 手前から
- ETC 車載器/ETC 2.0 車載器を接続していないなくても、案内は表示されます。
- 表示する/しないの設定→P. 159

※ 表示は実際のレーン運用と異なる場合があります。
必ず、実際の状況に従って運転してください。

SA・PA・IC・JCT・料金所の名称、自車からの距離、SA・PA の施設をわかりやすく表示

- 都市高速道路(首都高速道路、阪神高速道路など)、都市間高速道路(東名高速道路、東北自動車道など)一部の有料道路を走行すると自動的に表示されます。
- ▲ ▼ : スクロール
- 現在区間: 現在の区間に戻る
- SA/PA: 次のSA・PAを表示
- SA・PAを選ぶと、詳細な情報が表示されます。(P.51)
- ルート案内をしていない場合、分岐点(JCTで路線名が変わる箇所など)より先のICやSA・PAなどの施設が表示されないことがあります。
- 表示する/しないの設定→P. 159

地図の紹介

案内拡大図

- ルート案内中に自動的に表示されます。
- 直進でも表示される場合があります。
- 案内地点までに通過交差点がある場合、直前の通過交差点の情報が表示されます。
- 案内地点までに通過分岐点がある場合、直前の通過分岐点の情報が表示されます。
- 案内地点の先にさらに案内地点がある場合、次の案内地点の情報が表示されます。
- 案内拡大図を表示する / しないの設定→P. 159
- 地図データの整備上、拡大図や看板などは表示されない場合があります。

交差点拡大図



交差点までの距離、交差点名称、曲がる方向を表示

- 約 300 m 手前から

側道拡大図



側道のある分岐点で表示

- 約 300 m 手前から

リアル 3D 拡大図



複雑な交差点では、リアルなビル表示とともに、交差点までの距離、曲がる方向を表示

- 約 300 m 手前から

高速入口拡大図



都市高速の入口付近で表示

- 約300m手前から

高速分岐拡大図



分岐案内

- 高速道路の分岐点までの距離、分岐方向を表示
- 約1km手前から
- 高速道路や主要有料道路を走行中に表示されます。



ジャンクション案内

- ジャンクションまでの距離、方面案内、分岐方向を表示
- 約1km手前から
- 高速道路や主要有料道路を走行中に表示されます。



SA・PA入口案内

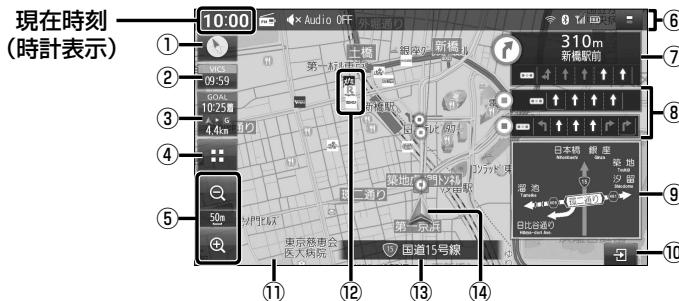
SA・PAまでの距離と進入方向を表示

- 約1km手前から
- SA・PAを経由地または目的地に設定した状態で、高速道路や主要有料道路を走行すると表示されます。
- 拡大図の「ETC出口」の表示は、スマートICのあるSA/PAをあらわします。

地図画面の表示内容について

現在地画面

MAP を押すと、現在地画面が表示されます。



① 方位マーク

地図の向きが表示されます。
タッチするごとに向きが切り替わります。

- : ノースアップ(北が上)
 - : ヘディングアップ(進行方向が上)
- 現在地の測位の状態が、方位マークの色で表示されます。
- (白): 測位完了
 - (赤): 測位未完了(測位計算中)

② VICS タイムスタンプ

VICS 情報の提供された時刻が表示されます。
(現在時刻ではありません。)

タッチすると、渋滞・規制のある地点(直近)のVICS情報が案内されます。(P.76)

③ 到着時刻/残距離表示

ルート案内中に、目的地または次の経由地までの距離と、到着する予想時刻が表示されます。
経由地がある場合、タッチするごとに表示が目的地/次の経由地に切り替わります。

④ (ランチャー)

ランチャーを表示します。(P. 44)

⑤ 縮尺表示

現在の縮尺を表示します。

(広域) (詳細) で、地図の縮尺を切り替えられます。(P. 49)

⑥ ヘッダー

ステータスバー表示/タッチキー表示を切り替えられます。(P. 46)

⑦ 分岐交差点情報表示

ルート上の右左折する交差点について、名称、交差点までの距離、通るべき車線を案内します。

⑧ 通過交差点情報表示

直進する交差点について、通るべき車線を最大で2つ目まで案内します。

- (緑): 1つ目の通過交差点
- (橙): 2つ目の通過交差点

⑨ 方面看板表示

一般道を走行中に、交差点の方面看板が表示されます。

ルート案内中は、進むべき方向の矢印も表示されます。

- 表示する/しないの設定→P. 159

⑩ 案内図切替タッチキー

拡大図・案内図の表示/切替/消去に使用します。(P. 53)

⑪ ゾーン30*1

生活道路の安全な通行を確保するため、自動車の走行速度を30 km/hに規制した区域(ゾーン30)が薄い緑色で表示されます。

- 表示する/しないの設定→P. 54

* 1 警察庁より提供される交通規制情報に基づき作成しています。ゾーン30エリア内でも制限速度が30 km/hではない道路が含まれる場合もありますので、常に実際の道路状況や交通規制標識・表示などを優先して走行してください。

⑫ ランドマーク

目印となる施設などが地図上にマークで表示されます。

- 表示させるランドマークの選択→P. 52

⑬ 道路名称

現在地の道路名称が表示されます。

⑭ 自車マーク

自車位置と進行方向を表示します。

- 色と大きさを変更できます。(P. 55)

地図モード画面

現在地画面から地図をスクロール (P.48) すると、地図モード画面になります。



① カーソル

地図の中心を表します。

② 施設名称

カーソルの地点に施設名の情報がある場合に表示されます。(詳細地図のみ)

● トップメニュー (P.18) または全機能一覧 (P.20) から検索した施設に施設名称の情報がある場合は、詳細地図以外の縮尺でも施設名称が表示されます。

③ ← (戻る)

1つ前の画面に戻ります。

④ 現在地方向直線

現在地の方向が直線で表示されます。

⑤ 設定

地点メニューを表示します。(P.44)

⑥ 地点名称

カーソルの位置の住所が表示されます。

⑦ マップコード (P.197)

カーソルの位置のマップコードが表示されます。

お知らせ

● 地図モード画面で、地図の向き・縮尺・傾きを切り替えて、現在地画面に戻すと、元の設定に戻ります。

地図画面の表示内容について

ランチャー

現在地画面 (P.42) で を選ぶと、ランチャーが表示されます。

地図表示・地図検索・地図登録・ルート探索・ルート案内に関する設定ができます。



- 表示されていない項目は、< >をタッチするか、左右にフリック/ドラッグすると表示されます。

お知らせ

- 拡大図表示中は、タッチキーは表示されません。拡大図を非表示にしてから(P.53)操作してください。

地点メニュー

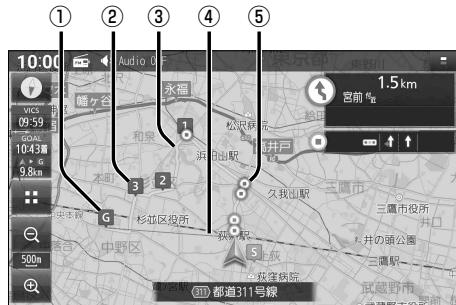
地図モード画面 (P.43) で を選ぶと、地点メニューが表示されます。

目的地・経由地・登録地などを設定したり、ランドマーク表示中の施設の詳細情報を見ることができます。



- | | |
|----------------------|------|
| ● ここに行く | P.62 |
| ● 立寄る | P.62 |
| ● 地点登録 | P.72 |
| ● 地点編集 | P.74 |
| ● 周辺検索 | P.61 |
| ● 閉じる: 地点メニューを終了します。 | |

案内ルート



① 目的地マーク

目的地 (P.62) に設定した地点に表示されます。

② 経由地マーク

経由地 (P.62) に設定した地点に表示されます。

③ 案内ルート

目的地までの案内ルートが表示されます。

● 高速道路や有料道路は青色、一般道路は水色、細街路はピンク色で表示されます。

④ 目的地方向直線

現在地から見た目的地の方向が、直線で表示されます。

● 到着時刻 / 残距離を表示している目的地（経由地）までの方向が表示されます。

● 表示する / しないの設定 → P. 158

⑤ 案内ポイントマーク（青）・通過ポイントマーク（緑・オレンジ）

ルート上の分岐する交差点、通過する交差点にそれぞれ表示されます。

走行軌跡

自車が走行した軌跡を記録し、地図上に青い▲で表示します。（約50 mおきに、約1 000 kmまで）



● 走行軌跡が表示される間隔は、地図の縮尺によって異なります。

● 約1 000 kmを超えると、古い軌跡から消去されます。

● 表示する / しないの設定 → P. 158

● 走行軌跡が記録されるのは、走行軌跡表示が「ON」に設定されているときのみです。

● 走行軌跡表示を「OFF」に設定すると、走行軌跡を非表示にして、記録を停止しますが、走行軌跡の記録そのものは消去されません。再度「ON」に設定すると、続きから走行軌跡の記録を開始します。

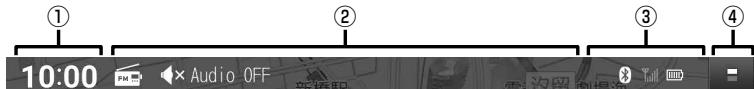
● デモ走行中は軌跡の記録を行いません。

● 走行軌跡の記録を消去するには → P. 158

地図画面の表示内容について

ヘッダー

ステータスバー表示



① 現在時刻(時計表示)

GPSから受信した現在時刻が表示されます。(未受信の場合は--:--と表示されます。)
 ●表示する/しないの設定→P. 161

② オーディオ状態表示

選択中のオーディオソース、再生中のオーディオ情報が表示されます。

③ 録音状態・外部機器状態表示

ETC車載器/ETC2.0車載器、ドライブレコーダー、USB機器、スマートフォン、モバイルWi-Fiルーターなど、本機と接続された機器の状態が表示されます。

● ETC状態表示

- ETC: 有効なETCカードが挿入済
- ETC: ETCカード有効期限切れ
- ETC: 利用不能(ETCカード未挿入など)

● スマートフォンの電波状態(6段階)

- Wi-Fiの接続状態(5段階)
- BLUETOOTH接続あり
- USBメモリーまたはiPodとの接続あり
- REC CD録音中

● ドライブレコーダー状態表示

- 自動録画中
- 手動録画中
- 録画停止中

● データ更新状態表示

- 更新データあり(準備完了)
- SDカードの更新データを検知、更新準備中(矢印が点滅)
- 更新準備中断、更新データ不備

● 車両メンテナンス通知の情報あり

● スマートフォンの電池残量(6段階)

④ 表示切替

タッチキー表示に切り替えます。

お知らせ

- 表示しきれないアイコンがある場合、...が表示されます。下方向へフリックまたはドラッグすると、現在の状態が一覧表示されます。
- >が表示された項目は、タッチすると、各機能の設定画面などが表示されます。

タッチキー表示



① オーディオ状態表示

選択中のオーディオソース、オーディオ音量が表示されます。

お願い

- 先端が尖ったものや硬いもの(ペン、ピン、爪の先など)で強く押さないでください。傷が付いて破損しやすくなります。特に、画面の端は構造上弱くなっているため故障につながるおそれがあります。

② 操作タッチキー

本体ボタンと同じ操作ができます。

③ 表示切替

ステータスバー表示に切り替えます。

安心運転サポート情報

運転中の状況に応じて表示と音声で注意を促し、運転をサポートします。

- 標識拡大表示や各案内は、ON(する)/OFF(しない)の設定ができます。(P.54)
- 必ず実際の道路状況や交通規制標識・標示などに従って運転してください。



道路上に表示



現在地名称に割込み表示



標識拡大表示

案内内容について

- 音声案内の「太字の下線」部は、走行するルートによって案内が異なります。

状況	表示	音声
高速道路で注意の必要な合流地点に近づくと (合流案内)		この先、 <u>左から</u> の合流車両に注意してください。
踏切付近では (踏切案内) ^{*1 *2}		この先、踏切です。
ゾーン30のエリアに進入したときは ^{*1} (ゾーン30案内)		なし
一般道の専用レーンに近づくと (専用レーン案内) ^{*1 *3}	表示なし	この先、 <u>左折</u> 専用車線に注意してください。
急なカーブに近づくと (カーブ案内) ^{*4}		この先、カーブです。
一般道の事故多発地点に近づくと (事故多発地点案内) ^{*1}		この先、事故多発地点です。注意してください。
ゾーン30走行中に制限速度を超過したときは (ゾーン30速度超過警告) ^{*1 *5}		速度超過です。

* 1 情報のある区間・地点のみ

* 2 踏切手前の道路の形状や走行する経路によっては、案内されない場合があります。

* 3 一般道の、左折専用車線/右折専用車線

* 4 カーブが連続する道路の場合は「この先カーブが連続します」と案内されます。

また、カーブの形状や走行する速度によっては、案内されない場合があります。

* 5 制限速度を超過していても、案内されない場合があります。

お知らせ

- 複数の安心運転サポート情報がある地点では、情報のいずれか1つが案内されます。
- 隣接する並行な道路があるときや高架下/立体交差などを走行する際に自車位置を誤認して、案内されなかつたり、案内が実際と異なる場合があります。
- 車両に「標識認識機能」がある場合、本機の案内と車両側に表示される情報が異なる場合があります。
- 地図データの整備状況や走行中の状況などにより案内されなかつたり、案内が実際と異なる場合があります。

地図の操作

地図をスクロールする

■地図画面をタッチする



- タッチした地点が画面の中心になります。

■スクロールしたい方向にフリックする



- フリックした方向にスクロールします。

■スクロールしたい方向にドラッグする



- 指の動きに合わせてスクロールします。

お知らせ

- 走行中は、フリック/ドラッグによるスクロールはできません。また走行中、市街地図が表示されている場合は、タッチによるスクロールもできません。
- フリック/ドラッグでスクロール中は、画面上で他の操作はできません。
- 指の動きより遅れてスクロールする場合があります。

地図の縮尺を切り替える

広域縮尺に切り替える

①(広域)を選ぶ



- タッチし続けると、ズームアウトのイメージで縮尺が切り替わります。

2点タッチする



ピンチインする



詳細縮尺に切り替える

②(詳細)を選ぶ



- タッチし続けると、ズームインのイメージで縮尺が切り替わります。

ダブルタップする



ピンチアウトする



お知らせ

- 走行中は、ピンチ操作で縮尺を切り替えることはできません。
- ピンチ操作での縮尺切替中は、画面上で他の操作はできません。
- 地図モード画面で地図の縮尺を切り替えて、現在地画面に戻すと、元の設定に戻ります。

地図の操作

地図の向き（ノースアップ / ヘディングアップ）を切り替える

方位マーク (P.42) にタッチする

● ヘディングアップ（進行方向が上）



● ノースアップ（北が上）



お知らせ

● 地図モード画面で、地図の向きを切り替えるても、現在地画面に戻すと、元の設定に戻ります。

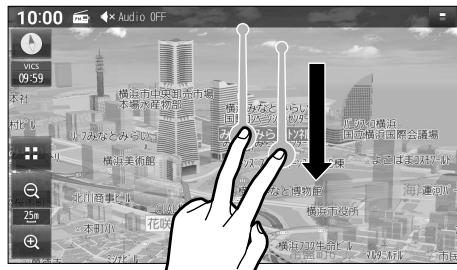
地図の傾きを調整する

上方向に2点ドラッグする



● 傾きが大きくなります。

下方向に2点ドラッグする



● 傾きが小さくなります。

● 傾きを最も小さくすると、真上からの視点になります。

お知らせ

● 走行中は、傾きを調整できません。

● 傾きの調整中は、画面上で他の操作はできません。

50 ● 地図モード画面で、地図の傾きを調整しても、現在地画面に戻すと、元の設定に戻ります。

地図を回転させる

回転させたい方向に回転ドラッグする

- 指の動きに合わせて回転します。



お知らせ

- 走行中は地図を回転できません。
- 地図モード画面で、地図を回転させても、現在地画面に戻すと、元の設定に戻ります。

現在地画面の右側に地図を表示させる

ランチャー(P.44)から、
右画面表示 ▶ 地図を選ぶ



- 画面の右側に地図が表示されます。

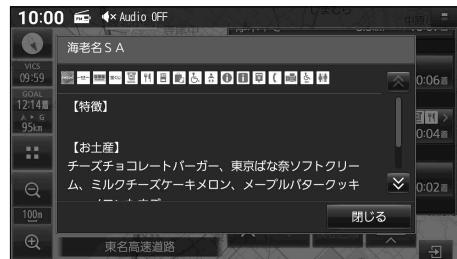
右側の地図を消去するには

ランチャー(P.44)を表示させ、
右画面表示 ▶ OFFを選択

- 右側の地図が消去されます。

SA・PAの情報を表示する

ハイウェイモード(P.39)から、
SA・PAを選ぶ



- SA・PAの情報が表示されます。

- 閉じるを選択すると消去されます。

地図の操作

地図にランドマークを表示させる

表示させるランドマークを選ぶ

最大300件選択できます

1 ランチャー(P.44)から、ランドマーク設定を選ぶ

- ナビ設定(P.158)からランドマーク設定画面を表示させることもできます。

2 表示させたいランドマークのチェックボックスをONにする

- タッチするごとにON/OFFが切り替わります。
- 右側に>が表示された項目は、項目をタッチすると、さらに詳細な内容を調べます。
- 全解除：すべての選択を解除する

■ ランドマーク設定画面



ランドマークを表示する

ランドマーク設定画面(上記)から、ランドマーク表示ONを選ぶ

- ランドマークが表示されます。[お買い上げ時の設定: ON]

■ ランドマークを非表示にするには

ランドマーク設定画面(上記)から、ランドマーク表示OFFを選ぶ

- ランドマークが非表示になります。

お知らせ

- ランチャー(P.44)から「ランドマーク表示」/「ランドマーク非表示」を選んでも、表示・非表示を切り替えられます。

拡大図・案内図表示を切り替える

1 現在地画面 (P.42) から、 □を選ぶ

- 表示できる拡大図・案内図が無い場合は、タッチキーは表示されません。

2 切り替えたい拡大図・案内図を選ぶ

- 選んだ拡大図・案内図に切り替わります。



拡大図・案内図を消去するには

拡大図・案内図を、右にフリックする

- 拡大図・案内図が消去されます。
- □を選んで、拡大図・案内図を消去することもできます。



■表示できる拡大図・案内図が1つだけのときは

- □ / □を選ぶと、表示/非表示が切り替わります。
- フリック操作で拡大図・案内図を消去することもできます。



探索・案内・地図・VICSをアレンジする(ナビチューン)

ルート探索をアレンジする

- 1 ランチャー(P.44)からTUNEまたはナビ情報・設定メニュー(P.19)からチューンを選ぶ

2 ルートを選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]



- **有料道路優先^{*1}** [低～中～高]
少しでも節約するか、割高でも有料道路を利用するかの度合い
- **道幅優先^{*2}** [狭～中～広]
できるだけ距離優先^{*3}にするか、多少遠回りでも車線の多い道を優先するかの度合い
- **渋滞回避** [低～中～高]
VICSの渋滞情報を考慮する度合い
- **ルート学習** (P.66) [OFF / ON / アクティブ]
学習した道を探索に反映させる度合い^{*4}
 - ・ アクティブを選ぶと、ONよりも学習しやすく、ルート探索に反映されやすくなります。
- **VICS考慮** (P.67)
[ON(考慮する)/OFF(しない)]
- **季節規制考慮**
[ON(考慮する)/OFF(しない)]
- **スマートインター考慮** (P.67)
[ON(考慮する)/OFF(しない)]

- * 1 探索条件が「有料優先」または「一般優先」のときは考慮されません。(P.66)
* 2 探索条件が「距離優先」(P.66)のときは考慮されません。
* 3 狹い道や未舗装の道を案内する場合があります。
* 4 必ず学習した内容でルート探索することを保証するものではありません。

ルート案内をアレンジする

- 1 ランチャー(P.44)からTUNEまたはナビ情報・設定メニュー(P.19)からチューンを選ぶ

2 ガイダンスを選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]



- **分岐案内頻度** [低/中/高]
IC・JCT・交差点・料金所・目的地付近などの案内の頻度

安心運転サポート情報 (P.47) の設定

- **標識拡大表示** [ON(案内する)/OFF(しない)]
- **合流案内** [ON(案内する)/OFF(しない)]
- **踏切案内** [ON(案内する)/OFF(しない)]
- **ゾーン30案内** [ON(案内する)/OFF(しない)]
- **専用レーン案内** [ON(案内する)/OFF(しない)]
- **カーブ案内** [ON(案内する)/OFF(しない)]
- **事故多発地点案内** [ON(案内する)/OFF(しない)]
- **ゾーン30速度超過警告** [ON(案内する)/OFF(しない)]

地図表示をアレンジする

- 1 ランチャー(P.44)から[TUNE]またはナビ情報・設定メニュー(P.19)から[チューン]を選ぶ

2 [マップ]を選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]



● 昼の地図色/夜の地図色

- ・ノーマル: 標準的な地図
- ・道路強調: 道路を見やすく強調した地図
- ・クラシック: 従来のように道路を色分けした地図^{*1}
- ・ハイコントラスト: 夕暮れや夜間などの暗い車内でも見やすいようにコントラストを高くした地図

● 文字サイズ[小/中/大]

地図の文字サイズ

● 自車マーク

- ・色: 青/赤/黄/緑
- ・大きさ: 大/小

● 昼夜切替

- ・時刻運動: 日の出/日の入時刻に連動
- ・ライト運動: ライトの点灯/消灯に連動
- ・昼画面: 常に昼画面を表示
- ・夜画面: 常に夜画面を表示

* 1 道路の色分け(昼画面の場合)

〈 〉内がクラシックの色分けです。

緑系(青系): 高速道路、有料道路

茶系(赤系): 国道

茶系(緑系): 主要地方道、県道

灰系(灰系): 一般道、細街区(道幅5.5 m未満)

青(破線): フェリー航路

VICS案内をアレンジする

- 1 ランチャー(P.44)から[TUNE]またはナビ情報・設定メニュー(P.19)から[チューン]を選ぶ

2 [VICS]を選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]



● VICS有料道情報表示

[ON(表示する)/OFF(しない)]

● VICS一般道情報表示

[ON(表示する)/OFF(しない)]

● VICS駐車場情報表示

[ON(表示する)/OFF(しない)]

● VICS規制マーク表示

[ON(表示する)/OFF(しない)]

● VICS範囲表示

[ON(表示する)/OFF(しない)]

● VICS渋滞・混雑情報表示

[ON(表示する)/OFF(しない)]

● VICS渋滞なし情報表示

[ON(表示する)/OFF(しない)]

● VICS統計情報表示

[ON(表示する)/OFF(しない)]

行き先までのルートを作るには

1 行き先を探す

1 検索方法を選ぶ

■ トップメニュー(P.18)



■ 全機能一覧(P.20)



- 名称 P.58
- 電話番号 P.59
- 履歴 P.59
- 自宅 P.60
- 登録地 P.60
- 住所 P.59
- ジャンル P.60
- マップコード P.60
- 周辺施設 P.61

2 場所や施設を検索する

検索方法によって、表示される画面や選択できるタッチキーは異なります。

- 五十音順で並んだリストに表示されます。
 - ・行(あ→か→さ→た→な→)ごとにリストを切り替えます。
 - ・同じタッチキーを連続して選ぶと、段(あ→い→う→え→お)を切り替えます。



- 上下にリストをスクロールします。
- リストをフリック/ドラッグしてもスクロールできます。(必ず、リストの内側をフリック/ドラッグしてください。)

リストから施設を選び、**決定**を選ぶ

■ 検索結果画面



- 選んだ施設に出入り口や駐車場などの地点情報がある場合、さらに詳細な地点のリストが表示されます。
- **施設詳細**: 検索した施設に詳細情報がある場合に表示されます。選ぶと、施設の詳細情報が表示されます。

2 行き先に設定する

1 地点メニュー(P.44)から 【ここに行く】を選ぶ



- ルート探索を開始します。
- **施設詳細**：検索した施設に詳細情報がある場合に表示されます。選ぶと、施設の詳細情報が表示されます。

2 全ルート図から 【案内スタート】を選ぶ



- 案内を開始します。
- 車を発進させても案内を開始します。
- 全ルート図でタッチキーを操作すると、車を発進させても案内は開始しません。

お知らせ

- ランチャー(P.44)からも、ルート案内中止/再開、ルート消去ができます。

ルート案内を中止する

1 トップメニュー(P.18)から 【ルート】を選ぶ

2 全ルート図から【案内ストップ】を選ぶ



ルート案内を中止し、ルート表示が消去されます。
(ルートそのものは消去されません。)

ルート案内を再開するには

ルート案内中止中に、 全ルート図から【案内スタート】を選ぶ



ルート案内が再開されます。

ルートを消去する

全ルート図から【ルート消去】▶【はい】を選ぶ

ルートそのものが消去されます。

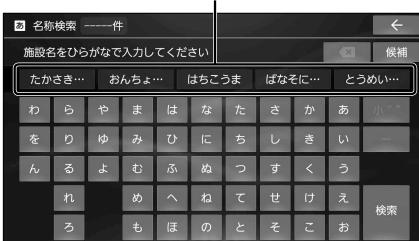
行き先を探す

施設の名称で探す

1 トップメニュー(P.18)または全機能一覧(P.20)から名称を選ぶ

2 名称を入力し、検索を選ぶ

- 入力履歴から、候補を5件まで表示



- : 1文字削除
- ひらがなのみ入力できます。
- 候補 : 入力履歴をリストで表示
 - ・リストから候補を選ぶと、その内容が入力欄に入力されます。
 - ・全候補初期化 はい を選ぶと、すべての入力履歴が消去されます。
- 候補が10,000件を超える場合、メッセージが表示されます。OKを選ぶと、現在地から近い順に候補が10,000件まで表示されます。
- 文字入力のしかた→P.180

3 リストから施設を選び、決定を選ぶ

- : 入力した名称を修正

施設を絞り込むには

■ 地域で絞り込むには

- ① 絞込み 地域 を選ぶ
- ② 都道府県 市区町村を選ぶ
 - 全国: 地域絞り込みを解除

■ ジャンルで絞り込むには

- ① 絞込み ジャンル を選ぶ
- ② 絞り込むジャンルを選ぶ
 - 全ジャンル: ジャンル絞り込みを解除

お知らせ

- 施設名の一部や略称では検索できない場合があります。
- 濁点「゛」、半濁点「゜」、長音符「ー」の入力および小文字への変換を省いても検索できます。
例: とうきょうどーむ → とうきょうとむ
- 「ヴ」は入力できません。「ウ」に置き換えて入力してください。
例: ヴィーナス → ういーなす

地図が表示されます。(P.62)

電話番号で探す

- 1 トップメニュー(P.18)または全機能一覧(P.20)から電話番号を選ぶ
 - 2 電話番号を市外局番から入力し、
[検索] を選ぶ
- [x] : 1文字削除
● 該当する施設が複数ある場合は、リストから選んでください。

地図が表示されます。(P.62)

お知らせ

- 電話番号から個人宅を検索できません。
- 電話番号が一部しかわからない場合は、検索できません。

住所で探す

- 1 トップメニュー(P.18)または全機能一覧(P.20)から住所を選ぶ
 - 2 都道府県▶市区町村▶町名▶丁目を選ぶ
- 市区町村を選んだあと、大字・小字を選ぶ場合があります。
- 住所が部分的にしかわからないときは、**代表地点**を選ぶと、その地域の代表地点地図を表示します。

3 番地・号を入力し、**検索** を選ぶ

- 番地・号は、「-」で区切ってください。
- [x] : 1文字削除
- リストからも、番地・号を選べます。

地図が表示されます。(P.62)

お知らせ

- 郡名では検索できません。

検索履歴から探す

- 1 トップメニュー(P.18)または全機能一覧(P.20)から**履歴**を選ぶ
● 以前、目的地・経由地に設定した地点が、新しい順に100件まで表示されます。
- 2 リストから履歴を選び、**決定** を選ぶ



地図が表示されます。(P.62)

お知らせ

- 履歴は100件まで自動的に保存され、100件を超えると古いものから自動的に削除されます。

検索履歴を手動で消去するには

- 1 リスト(上記)から**削除** を選ぶ
- 2 消去したい履歴を選び、
削除 ▶ **はい** を選ぶ



- 選んだ履歴が消去されます。
- **全選択**：すべての履歴が選択されます。

行き先を探す

自宅へ帰る

準備

- 自宅を登録してください。(P. 29)

トップメニュー(P. 18)または全機能一覧(P. 20)から**自宅**を選ぶ

現在地から自宅までのルートが探索され、全ルート図が表示されます。(P. 63)

お知らせ

- セレクトビューバックアイカメラおよび全方位モニターがどちらも接続されていない状態で、オプションスイッチが「自宅」に設定されている場合は、**OPT** を押しても、現在地から自宅までのルートを探索できます。(P. 161)

登録地から探す

準備

- 地点を登録してください。(P. 72)

1 トップメニュー(P. 18)または全機能一覧(P. 20)から**登録地**を選ぶ2 リストから登録地を選び、**決定**を選ぶ

- 登録順(昇順)：登録された順に昇順で表示
- 登録順(降順)：登録された順に降順で表示

地図が表示されます。(P. 62)

ジャンルから探す

ジャンルから施設を検索できます。(最大100件)

1 トップメニュー(P. 18)または全機能一覧(P. 20)から**ジャンル**を選ぶ

2 ジャンル▶中分類▶小分類を選ぶ

- リストに▶が表示された項目は、さらに詳細に選ぶことができます。

3 検索範囲の中心を選ぶ

- 現在地周辺：地図の中心周辺の施設
- 目的地周辺：目的地周辺の施設^{*1}
- ルート沿い：ルート沿いの施設^{*1 *2}
- 都道府県：選んだ地域の施設^{*3}

*1 ルート案内中のみ

*2 現在地からルート沿いに左右約100m、進行方向に約10km以内を検索
ただし、高速道路上にルートがあるときにSA/PAを検索すると、左右400m以内を検索

*3 都道府県・市区町村を選択してください。

4 リストから施設を選び、**決定**を選ぶ

- 選んだ施設に出入り口や駐車場などの地点情報がある場合、さらに詳細な地点のリストが表示されます。

地図が表示されます。(P. 62)

マップコードで探す

マップコードについてはP. 197をご覧ください。

1 トップメニュー(P. 18)または全機能一覧(P. 20)から**マップコード**を選ぶ2 マップコードを入力し、**選ぶ**を選ぶ

地図が表示されます。(P. 62)

お知らせ

- 本機は高分解能マップコードにも対応しています。(マップコードHR)

周辺の施設を探す

現在地周辺、目的地周辺、ルート沿いの施設や、地図の中心地点周辺の施設を検索できます。
(最大100件)

現在地周辺 / ルート沿い / 目的地周辺 の施設を探す

- 1 トップメニュー(P.18)または
全機能一覧(P.20)から
周辺施設を選ぶ

2 検索範囲の中心を選ぶ

- **現在地周辺**：地図の中心周辺の施設
 - **ルート沿い**：ルート沿いの施設^{*1*2}
 - **目的地周辺**：目的地周辺の施設^{*1}
- *1 ルート案内中のみ
*2 現在地からルート沿いに左右約100m、
進行方向に約10km以内を検索
ただし、高速道路上にルートがあるときにSA/PA
を検索すると、左右400m以内を検索

3 ジャンル▶中分類▶小分類を選び、 検索を選ぶ

- リストに ▶ が表示された項目は、さらに
詳細に選ぶことができます。
- チェックボックスのある中分類・小分類は、
複数の項目を選ぶことができます。



- **全選択**：すべての項目を選択する
- **全解除**：すべての項目を解除する

4 リストから施設を選び、決定を選ぶ

地図が表示されます。(P.62)

お知らせ

- ランチャー(P.44)から **周辺施設** を選ぶと、現在地の周辺で検索できます。

地図の中心地点周辺の施設を探す

- 1 地図をスクロールして、
検索範囲の中心にカーソルを合わせ
設定を選ぶ

- 地点メニュー(P.44)が表示されます。

2 地点メニュー(P.44)から **周辺検索**を選ぶ

3 ジャンル▶中分類▶小分類を選び、 検索を選ぶ

- リストに ▶ が表示された項目は、さらに
詳細に選ぶことができます。
- チェックボックスのある中分類・小分類は、
複数の項目を選ぶことができます。



- **全選択**：すべての項目を選択する
- **全解除**：すべての項目を解除する

4 リストから施設を選び、決定を選ぶ

地図が表示されます。(P.62)

検索した施設を目的地・経由地に設定する

1 地点を検索する

- 検索した地点の地図が表示されます。(検索のしかた→P.58~61)

■目的地に設定する場合

2 ここに行くを選ぶ

- カーソルの地点を目的地に設定してルート探索を開始し、完了後、全ルート図が表示されます。
- ルートが設定されている場合、前のルートは削除されます。



■経由地に設定する場合

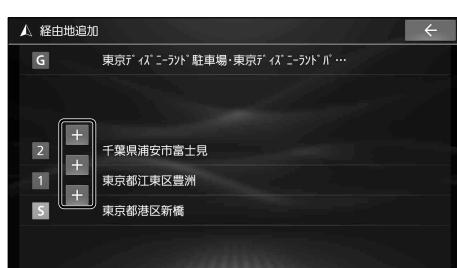
立寄るを選ぶ

- カーソルの地点が経由地に設定されます。
- ルートが設定されていない状態では、経由地に設定できません。
- 経由地が5つ設定されているときは、それ以上経由地を追加できません。

3 (立寄るを選んだ場合のみ)

経由地を追加する区間の+を選ぶ

- 選んだ区間に経由地を追加してルート探索を開始し、完了後、全ルート図が表示されます。
- 経由地・目的地の順番を入れ替えるには→P.65



4 (手順2でここに行くを選んだ場合のみ)

全ルート図から、探索条件を選ぶ

- 5つの探索条件から選べます。(探索条件について→P.66)

5 案内スタートを選ぶ

- ルート案内を開始します。
- 走行を始めても、ルート案内を開始します。
- 全ルート図を表示後、他の画面を表示すると、ルート案内を開始します。
- 全ルート図のその他の操作は→P.63~65



お知らせ

- 経由地・目的地の近くに有料道路がある場合は、有料道路上に経由地・目的地を設定するかを確認するメッセージが表示されます。
- チェーン規制などの規制情報がある場合は、全ルート図表示時に、規制をお知らせするメッセージが表示されます。

全ルート図から確認・設定する

手動で全ルート図を表示させる

ルート案内中に、手動で全ルート図を表示させることができます。

トップメニュー(P.18)から ルートを選ぶ

- 全ルート図が表示されます。

■全ルート図



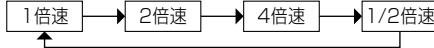
お知らせ

- 上記の方法では探索条件を選べません。ルート編集画面から設定してください。(P.64)

デモ走行でルートを確認する

探索したルートをデモ走行させ、実際に走行する前にルートを確認できます。

全ルート図から、デモ走行を選ぶ

- デモ走行を開始します。
- 1倍速**：デモ走行の走行速度を変更する
選ぶごとに下記のように速度が変化します。

- II**：デモ走行を一時停止する
- ▶**：デモ走行に戻る

■デモ走行中の画面



お知らせ

- 走行速度が2倍速または4倍速のときは、ルート音声案内されません。

デモ走行を終了するには

デモ走行中に、デモ走行中止を選ぶ

- デモ走行を終了します。
- AUDIO MENU MAP TILT を押してもデモ走行を中止します。

ルートを編集する

1 ランチャー(P.44)または全ルート図(P.63)からルート編集を選ぶ

2 ルートを編集する(P.64~65)

● ルート編集画面から編集できる内容

- ・経由地・目的地の追加・削除
- ・経由地・目的地の順番の並べ替え
- ・各区間の探索条件の変更

3 探索開始を選ぶ

- 編集した条件でルート探索を開始し、完了後、全ルート図が表示されます。(P.63)

経由地を追加・消去する

経由地を追加する

1 ルート編集画面から、経由地を追加したい区間の+を選ぶ

2 経由地にしたい場所を検索する

(P.58~61)

- 出発地付近：出発地付近の地図を表示
- 目的地付近：目的地付近の地図を表示
- 地図：最後に表示していた地図を表示

3 立寄るを選ぶ

- 検索した地点が経由地として追加されます。

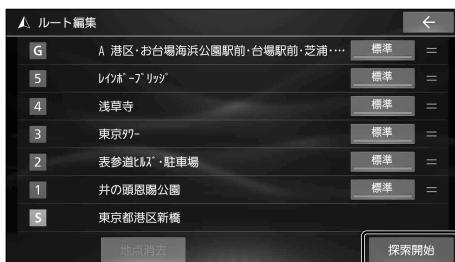
経由地を消去する

1 ルート編集画面から、消去したい経由地を選ぶ

2 地点消去▶はいを選ぶ

- 選択した経由地が消去されます。

■ ルート編集画面



目的地を追加・消去する

目的地を追加する

1 ルート編集画面から、目的地追加を選ぶ

2 目的地にしたい場所を検索する

(P.58~61)

- 出発地付近：出発地付近の地図を表示
- 目的地付近：目的地付近の地図を表示
- 地図：最後に表示していた地図を表示

3 ここに行くを選ぶ

- 検索した地点が目的地として追加されます。
- 前の目的地は、目的地の直前の経由地になります。

目的地を消去する

1 ルート編集画面から、目的地を選ぶ

2 地点消去▶はいを選ぶ

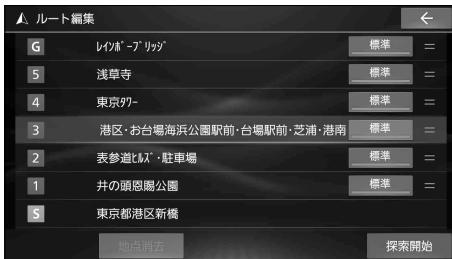
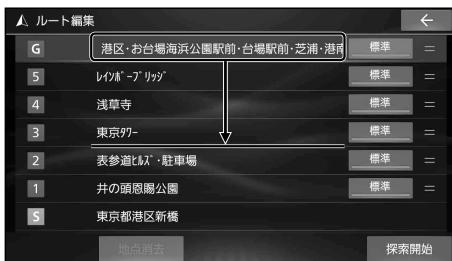
- 目的地が消去されます。
- 消去した目的地の直前の経由地が、新しい目的地になります。

お知らせ

- 目的地を消去できるのは、ルートに経由地がある場合のみです。

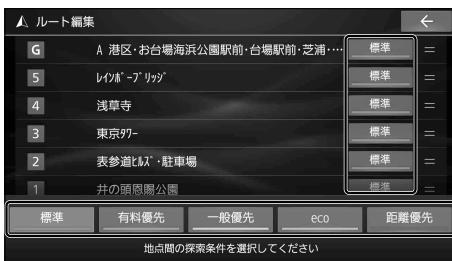
経由地・目的地の順番を並べ替える

- ルート編集画面から、並べ替えたい経由地・目的地をタッチし続ける
- 「ピッ」という音が鳴ったら、経由地・目的地をドラッグして、順番を並べ替える
 - 希望の順番になるまで、ドラッグ操作を繰り返して並べ替えてください。



区間ごとの探索条件を変更する

- ルート編集画面から変更したい区間の探索条件を選ぶ
- 探索条件を選ぶ
 - 選んだ探索条件に切り替わります。
 - 探索条件について→P.66



ルート探索について

探索条件について

下記の5つの探索条件からルートを選択できます。

探索条件は、全ルート図(P.63)、ルート編集画面(P.64)から変更できます。

- **標準**: 高速道路・有料道路/一般道路の使用を自動で判断したルート(通常は「標準」で探索します。)
- **有料優先**: 高速道路・有料道路を優先して通るルート
- **一般優先**: 一般道路を優先して通るルート
- **e c o**: 燃料消費量と有料道路料金をトータルで節約するルート
- **距離優先**: 距離が短くなるルート

お知らせ

- 「一般優先」で探索しても、有料道路を含むルートを探索する場合があります。
- 「eco」で探索したルートを走行しても、道路条件や運転のしかたで、燃料消費量が多くなる場合があります。
- 「eco」で探索されるルートの算出には、パナソニック独自の技術を使用しています。
- 表示金額は、割引などにより実際に請求される金額とは異なる場合があります。

ルート学習について

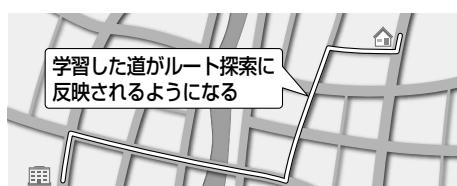
ルート案内中に同じ道で自動再探索が何度か起きると、実際に走行した道を学習してルート探索に反映されるようになります。(「距離優先」での探索を除く)

- 学習した道を探索に反映させる度合いの設定ができます。(P.54)
- ルート学習のデータは、以下の場合に消去されます。
 - ・「ルート学習結果の初期化」を行ったとき(P.158)
 - ・地図更新を行ったとき

意図しないルートが探索されるときは

効率の良い道よりも、学習した道を優先してルート探索されている場合があります。

- 「ルート学習結果の初期化」(P.158)を行うと、効率の良い道を優先して通るルートが探索されるようになります。



細街路探索について

出発地・経由地・目的地周辺は、道幅3m以上5.5m未満の細い道路も含めてルートを探索します。

走行できない道路、または交通規制により通行を禁止している道路も含めたルートを探索する場合があります。必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。

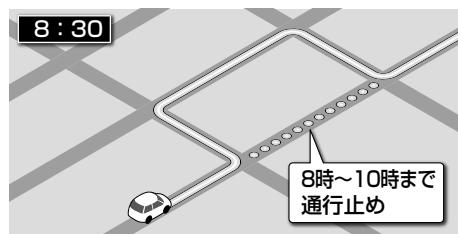
- 細街路上のルートは、一般道のルートとは異なる色で表示されます。



曜日時間規制探索について

月・曜日・時間による規制を考慮したルートを探索します。

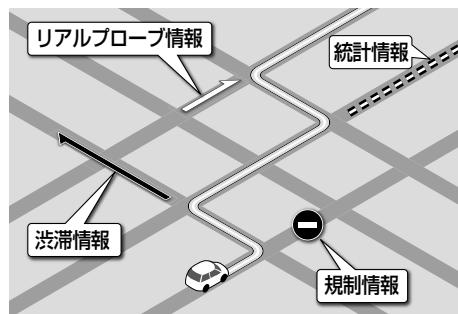
規制があっても案内することがありますので、必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。



VICS考慮について

FM VICSの渋滞/規制情報を基に、渋滞/規制を避けたルートを探索します。

- ETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0の渋滞/規制情報も考慮して、渋滞/規制の場所を避けたルートを探索します。
- 現在地から遠く離れた場所の渋滞/規制の情報は、考慮されない場合があります。
- 渋滞/規制情報を基にVICS考慮する/しないの設定ができます。
(VICS考慮→P.54)

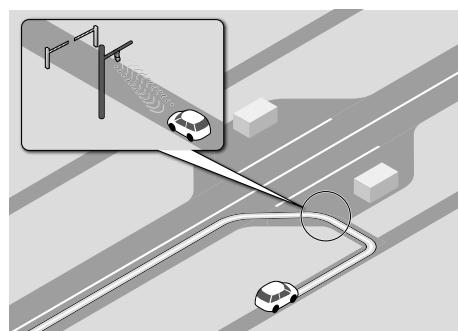


スマートIC、ETC専用料金所を通るルートについて

スマートIC、ETC専用料金所の利用を考慮したルートを探索します。その際、通行できる時間帯や入口/出口の情報は考慮されますが、通行できる車種の情報は考慮されません。

また、ETC車載器/ETC2.0車載器を装着していない車両や、ETCカードを挿入していない場合でも、スマートIC、ETC専用料金所を通るルートが探索される場合があります。必ず、実際のスマートIC、ETC専用料金所の状況に従って通行してください。

- スマートIC、ETC専用料金所を考慮する/しないの設定ができます。
(スマートインター考慮→P.54)



お願 い

- スマートICおよびETC専用料金所は、ETC専用のインターチェンジや料金所です。ETC車載器/ETC2.0車載器を装着していない車両の場合は、スマートインター考慮を「OFF(しない)」に設定してください。

ルート案内について

音声案内について

音声案内の「**太字の下線**」部は、走行するルートによって案内が異なります。

一般道路走行中の音声案内

■ 交差点に近づくと

およそ 300 m先、**大手町**を左方向です。

● 細街路でも交差点で音声分岐案内されます。

まもなく**大手町**を左方向です。

左方向です。

■ 側道では

まもなく**左方向**、側道です。

左方向、側道です。

■ 専用レーンのある道路では

この先、**左折**専用車線に注意してください。

● 専用レーン案内する/しないの設定→P.54

高速道路・有料道路走行中の音声案内

■ 料金所付近では

この先、料金所です。

■ 分岐地点に近づくと

およそ 1 km先、**左方向**、外苑出口です。

まもなく、**左方向**、外苑出口です

前方が渋滞していたら（VICS案内）

渋滞や交通規制などのVICS情報が案内されます。（前方約10km以内）

● ルート案内中：ルート上の情報

● ルート未設定：自車の進行方向の情報

およそ、3 km先、渋滞しています。

● VICS案内する/しないの設定→P.159

長時間の運転中は（休憩案内）

本機を起動してから2時間おきに音声で休憩を促します。

そろそろ休憩しませんか。

● 休憩案内する/しないの設定→P.161

経由地・目的地の音声案内

■ 経由地付近では

経由地付近です。

■ 目的地付近では

目的地に到着しました。
ルートガイドを終了します。

次の交差点などの音声案内を聞く

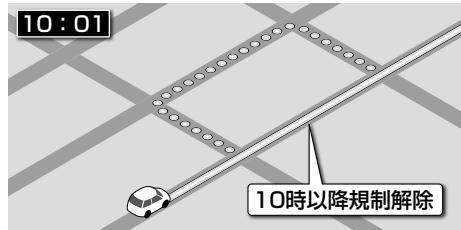
ルート案内中に、現在地画面 (P. 42) で MAP を押す

- 次の分岐交差点などが案内されます。

ルート案内中の曜日時間規制探索

ルート上の現在地周辺の月・曜日・時間による規制を常に確認し、それを考慮したルートに変更されます。

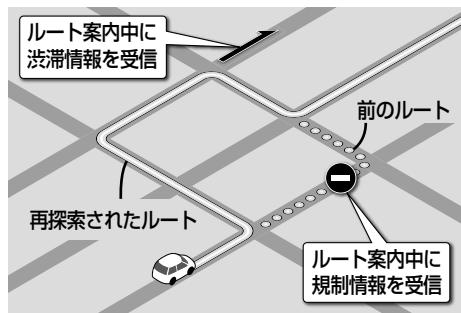
規制があっても案内することがありますので、必ず、実際の交通規制や道路標識などに従って運転してください。



ルート案内中のVICS自動再探索 (スイテルート案内)

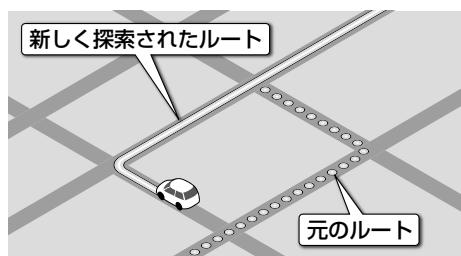
FM VICSの渋滞/規制情報 (P. 77) を受信すると、渋滞/規制を考慮したルートに変更されます。

- ETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0の渋滞/規制情報も考慮して、渋滞/規制を避けたルートを探します。
- 実際の道路状況によっては、早く着くとは限りません。
- 渋滞/規制情報を基にVICS考慮する/しないの設定ができます。
(VICS考慮→P. 54)



ルートから外れたときの自動再探索

ルートを外れても、自動的に再探索します。



ルート案内について

新しいルートと前のルートを比較する（新旧ルート比較）

VICS自動再探索が行われた場合は、変更後のルートと変更前のルートを約8秒間表示します。（新旧ルート比較）

表示中に、「新ルートで案内」/「元ルートで案内」でどちらのルートを案内させるかを選んでください。表示が消えるまで何も操作しないと、新旧ルート自動選択（P.158）で設定されたルートで案内を開始します。

- 新旧ルート比較をしない場合があります。
 - ・変更前のルートを通行できないとき（通行止め、規制など）
 - ・現在地から約30kmより先のルートが変更されたとき
- 新旧ルート比較画面を表示する/しないの設定→P.158

距離・所要時間の元ルートからの比較、および次の分岐までの距離が表示されます。



探索条件を変更してもう一度ルートを探索する

1 ランチャー（P.44）から再探索を選ぶ

2 再探索条件を選ぶ

- 選んだ条件で再探索します。
- 経由地がある場合は、次の経由地までのルートが再探索されます。
- 探索条件について→P.66



走行中の道路を誤って認識したとき（道路切替）

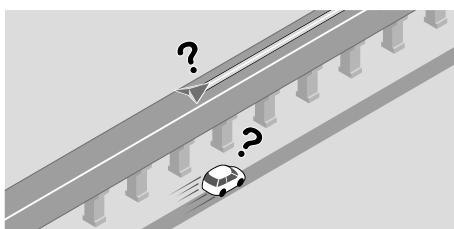
高速道路と一般道路が隣接しているときは、道路を誤認することがあります。

例：実際は高速道路を走行中なのに自車マークは一般道路を走行中と表示されている場合など

そのような場合に、下記の操作を行い、手動で地図のマッチングを切り替えて、正しい道路に修正します。

ランチャー（P.44）から「道路切替」を選ぶ

- そのまましばらく走行すると、道路（高速道路/一般道路）を切り替えて再探索されます。
- 道路切替は、隣接する並行な道路を対象としています。一般道路同士の切り替えはできません。



逆走注意アラーム・逆走検知警告

SA/PAに駐車したときは

駐車して車のエンジンを止めたあとに、再びエンジンをかけて発進させると、逆走しないよう事前に注意を促します。

- 逆走注意アラームの設定→P. 159

お知らせ

- SA/PAによっては、案内されない場合があります。



高速道路や料金所などで逆走を検知すると

IC/JCTなどの合流部、SA/PAの入口・出口、高速道路の出口部などで逆走を検知すると、逆走のおそれがある旨を警告案内します。

- 逆走してしまった場合は、安全な場所（路側帯など）に停車し、路側帯に設置された非常電話などから、道路を管轄する管制センターなどに指示をあおいでください。
- 逆走注意アラームの設定に連動して、警告をする/しないの設定が切り替わります。（P. 159）
- 詳しくは、P. 196をご覧ください。



- 「ここでは案内しない」をチェックすると、次回からその地点での逆走検知警告は案内されなくなります。

逆走検知警告を消去するには

解除を選ぶ

お知らせ

- 逆走検知警告は、都市高速・都市間高速道路などで案内されます。
- SA/PAによっては、案内されない場合があります。
- すべての場所、すべての場合での逆走検知を保証するものではありません。
- 「出荷状態に戻す」(P. 162)の操作を行うと、「ここでは案内しない」の設定もお買い上げ時の状態に戻ります。

地点を登録する(登録地)

登録地について

登録地は、最大900件まで登録できます。(自宅を含む)

- 登録された地点は、マークで表示されます。

登録地リストを表示する

登録地のリストから、登録地の地点の表示、編集、新規登録、削除ができます。

1 ナビ情報・設定メニュー(P. 19)から ナビ設定を選ぶ

2 ナビ設定メニューから 登録地を選ぶ

- 登録地リストが表示されます。

■ 登録地リスト



地点を登録する

カーソルの地点を登録する

1 地図モード画面から、 登録したい場所にカーソルを合わせ、 設定を選ぶ

2 地点メニュー(P. 44)から 地点登録を選ぶ

- カーソルの位置(地点)が登録されます。

現在地を登録する

現在地画面を表示させ、 ランチャー(P. 44)から 地点登録を選ぶ

- 現在地が登録されます。

登録地リストから地点を登録する

1 登録地リスト(上記)から新規登録を選ぶ

2 地点を検索する

- 検索方法は「行き先を探す」と同じです。(P. 58~61)
- 現在地付近：現在地付近の地図を表示^{*1}
- 出発地付近：出発地付近の地図を表示^{*2}
- 目的地付近：目的地付近の地図を表示^{*2}
- 地図：最後に表示していた地図を表示

*1 ルート未設定時のみ

*2 ルート案内中のみ

3 登録したい場所にカーソルを合わせ、 設定を選ぶ

4 保存を選ぶ

- 地点が登録されます。

登録地リストから目的地・経由地を設定する

1 登録地リスト(上記)から目的地・経由地に設定したい登録地を選択して、決定を選ぶ

- 地図が表示されます。
- 登録地リスト(上記)のまたはが点灯している場合は、消灯させてから操作してください。

2 検索した施設を、目的地・経由地に設定する(P. 62)

登録地を消去する

登録地リストから消去する

1 登録地リスト（P.72）から **■** を選ぶ

- **■** が点灯します。

2 消去したい登録地のチェックボックスをONにして、**消去 ▶ はい** を選ぶ

- タッチするごとにON/OFFが切り替わります。
- 選択した登録地が消去されます。
- **全選択**：すべての登録地を選択する



地点編集画面から消去する

1 消去したい登録地の地点編集画面を表示させる（下記）

2 地点編集画面から **消去 ▶ はい** を選ぶ

- 登録地が消去されます。

登録地の情報を見る

地点メニューから情報を見る

1 地図モード画面で

- 登録地（**■**）にタッチし、**設定** を選ぶ

2 地点メニュー（P.44）から

- **地点編集** を選ぶ

情報・設定メニューから情報を見る

1 登録地リスト（P.72）から

- **!** を選ぶ

- **!** が点灯します。

2 リストから登録地を選び、

- **編集** を選ぶ

■ 地点編集画面



- 登録地の情報は編集できます。（P.74）

■ 地点編集画面



- 登録地の情報は編集できます。（P.74）

地点を登録する(登録地)

登録地を編集する

各項目を編集し(下記)、**保存**を選ぶ

- 必ず、「保存」を選んで編集内容を保存してください。

名称を編集する

1 地点編集画面(P.73)から「名称」の欄を選ぶ

2 地点を編集し、を選ぶ

- 全角64文字(半角128文字)まで
- 文字入力のしかた→P.180

位置を変更する

1 地点編集画面(P.73)から「位置」の欄を選ぶ

2 地図をスクロールさせて位置を変更し、**決定**を選ぶ

マークを変更する

1 地点編集画面(P.73)から「マーク」の欄を選ぶ

2 リストからマークを選び、**決定**を選ぶ

電話番号を変更する

1 地点編集画面(P.73)から「TEL」の欄を選ぶ

2 電話番号を入力し、を選ぶ

■電話をかける(ハンズフリー接続中のみ)

地点編集画面から**発信**を選ぶ

- 登録地の電話番号に電話をかけます。
- 通話中の操作について(P.131)

アラームを設定する

設定した方向から、設定した距離まで近づくと、アラームでお知らせします。

■アラームの音を設定する

[お買い上げ時の設定: OFF(鳴らさない)]

1 地点編集画面(P.73)から「アラーム 音」の欄を選ぶ

2 アラーム1～アラーム9からアラームを選び、**決定**を選ぶ

- アラームを選ぶと、選んだアラームの音がお出力されます。
- OFFを選ぶと、アラーム音がOFFに設定されます。

■アラームを鳴らす距離を設定する

[お買い上げ時の設定: 50m]

1 地点編集画面(P.73)から「アラーム 案内距離」の欄を選ぶ

2 50m / 100m / 300m / 500mから距離を選ぶ

■アラームを鳴らす方向を設定する

[お買い上げ時の設定: OFF(全方向)]

1 地点編集画面(P.73)から「アラーム 進入角度」の欄を選ぶ

2 で進入角度を選び、**決定**を選ぶ

- 進入角度が設定された状態で「アラーム 進入角度」の欄を選ぶと、「OFF(全方向)」になります。

VICS情報を見る

VICSについて

渋滞・事故などの影響による規制、目的地までの所要時間などの道路交通情報をナビゲーションに送信するシステムです。

- 本機では、FM VICS(FM多重放送)を受信できます。
 - ・選局した放送局からの電波が弱い場合は、FM-VICSを受信できません。
- ETC2.0車載器を接続すると、ETC2.0サービス(電波ピーコン5.8 GHz)からVICS情報を受信できます。

※本機は光ピーコンに非対応です。また、ピーコン受信機の接続もできません。

お知らせ

- 渋滞情報に関する設定は→P. 160
- 新しい情報を受信すると、情報が更新されます。
- GPSから現在時刻の情報を受信していないときは、VICS情報を受信できません。
- 提供されるVICS情報は、あくまでも参考です。最新情報でない場合があります。
- 提供された情報と異なる場合は、実際の交通規制や道路状況に従ってください。

文字表示型のVICS情報(レベル1)

■FM多重放送を受信すると

受信しても、自動的に表示されません。

- 受信した情報を手動で見るには→P. 79



图形表示型のVICS情報(レベル2)

■FM多重放送を受信すると

受信しても、自動的に表示されません。

- 受信した情報を手動で見るには→P. 79



VICS 情報を見る

地図表示型の VICS 情報 (レベル3)

渋滞、規制、駐車場、SA・PA 情報 (レベル3) を受信すると、自動的に表示されます。



VICS タイムスタンプ

VICS 情報の提供された時刻が表示されます。

- 受信した時刻ではありません。
- 現在時刻ではありません。



- VICS タイムスタンプにタッチすると、渋滞・規制のある地点(直近)の VICS 情報が案内されます。

- ・ルート案内中: ルート上の情報
- ・ルート未設定: 自車の進行方向の情報

お知らせ

- 遠方の渋滞情報は案内されません。

ハイウェイモード時は

- 渋滞・混雑区間: 道路を色分けして表示

- ・赤: 渋滞
- ・橙: 混雑
- ・緑: 渋滞なし



- 規制情報: 区間にごとにマークを表示

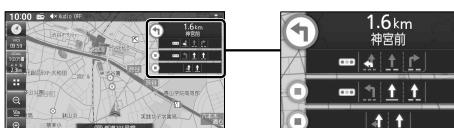
車線ごとの渋滞情報表示

色分けして地図上に表示されます。

(該当の情報が配信されているエリアのみ)
配信エリアについてはVICSセンターのWebサイト
(<https://www.vics.or.jp/>)をご覧ください。

色	車線ごとの渋滞情報	渋滞度
赤	---	渋滞
橙	--	混雑
緑	-	渋滞なし

■ 表示例



VICS 範囲表示

気象・災害情報を受信すると、対象となる範囲が薄い黄色で表示されます。

緊急情報(特別警報)を受信すると、対象となる範囲が薄い赤色で表示されます。



- 表示する/しないを設定できます。(P.55)

お知らせ

- 表示中の地図全体がVICS情報の対象範囲となっている場合は、地図画面全体が薄い黄色または薄い赤色で表示されます。

対象範囲を確認するには、範囲全体が見えるまで地図の縮尺を広域にしてください。

渋滞情報

色分けして地図上に表示されます。

(該当の情報が配信されているエリアのみ)
配信エリアについてはVICSセンターのWebサイト
(<https://www.vics.or.jp/>)をご覧ください。

色	リアルタイム情報		統計情報	渋滞度
	渋滞情報	リアルプローブ情報		
赤	→	→	=====	渋滞
橙	→	→	=====	混雑
緑	→	→	=====	渋滞なし
灰	→	→	=====	不明

- 表示のしかたを設定できます。(P.55)

●渋滞情報(リアルタイム情報)

道路に設置の車両感知器などで収集した
現在の情報

●リアルプローブ情報(リアルタイム情報)

タクシーなどから収集した現在の情報

●統計プローブ情報(統計情報)

タクシーなどから収集した情報のデータを
統計処理し、渋滞を予測した情報

※プローブ情報とは走行している車から直接収集さ
れる「位置」と「時刻」のデータ(走行履歴)です。

駐車場マーク・SA/PAマーク

色	一般駐車場	SA	PA	状態
青	P	SA	PA	空車
橙	P	SA	PA	混雑
赤	P	SA	PA	満車
黒	P	SA	PA	不明
赤	P	SA	PA	閉鎖

- 表示する/しないを設定できます。(P.55)

VICS 情報マーク(例)

地図上の事象・規制マークが表示されます。

マーク	内容	マーク	内容
	事故		チエーン規制
	故障車		凍結
	路上障害		速度規制
	工事		徐行
	作業		進入禁止
	片側交互通行		通行止め
	対面通行		大型通行止め
	車線規制		雨
	入口制限		雪
	入口閉鎖		災害速報
	行事等		気象警戒警報
	火災		特別警報

- マークの内容を確認できます。(P.79)

- 表示する/しないを設定できます。(P.55)

VICS 情報を見る

ETC2.0 サービスによる VICS 情報

地図画面に、自動的に一定時間(約7秒～15秒間)割込み表示されます。音声情報がある場合は、音声情報も再生されます。

● 優先情報

- 下記の情報が提供されます。
 - ・安全運転支援情報
 - ・新緊急メッセージ情報^{*1}
 - ・注意警戒情報^{*2}

● 一般情報

- 下記の情報が提供されます。
 - ・センタ・ネットワーク障害通知情報
 - ・多目的情報
 - ・広域文字情報
 - ・長文読み上げ情報
 - ・電子標識情報

お知らせ

- ETC2.0 車載器が必要です。
- 表示中の画面(拡大図表示など)によって、割込み表示や音声情報再生を中断したり、表示しない場合があります。
- ETC2.0 の一般情報を割込み表示する/しない^{*3}の設定→P.160

* 1 災害発生時は停車や避難等の行動指示のための情報も提供されます。

* 2 気象急変箇所、路面凍結多発箇所などの注意喚起を文字や画像、音声情報などでお知らせします。

* 3 割込み表示する/しないの設定にかかわらず、優先情報は割込み表示されます。

割込み画面(例)



- □: 音声情報の停止
- ▶: 音声情報の再生
- >: 次のページに切替
- ×: 割込み画面消去

VICS 情報を確認する

1 ナビ情報・設定メニュー(P. 19)から 渋滞情報を選ぶ

2 渋滞情報メニューから 見たい情報を選ぶ

- 選んだ情報が表示されます。



- 1～6: 選んだページを表示*¹
- ▼ △: ページ切替
- 目次: もくじを表示*¹
- 概要: 緊急情報の概要を表示
- 詳細: 緊急情報の詳細情報を表示
- ▶: ETC2.0の音声情報の再生
- □: ETC2.0の音声情報の停止

* 1 FM VICS 文字情報、FM VICS 図形情報のみ

VICS 情報マークの内容を確認する

1 VICS 情報マークをタッチする

- 情報が表示されます。

2 詳細を選ぶ

- 詳細情報が表示されます。
- 詳細情報が無い場合は、詳細は表示されません。



VICS 情報を見る

緊急情報（特別警報）を受信すると

地図画面を表示中に緊急情報を受信すると、ただちに表示されます。

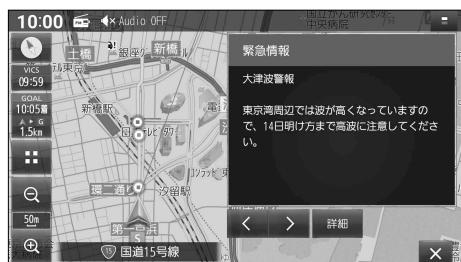
× を選ぶと、緊急情報画面が消去され、地図画面に戻ります。



再度情報を表示するには

地図画面で **緊急情報** を選ぶ

- 緊急情報画面が表示されます。



- **↑ ↓ ↺ ↻**: 行を戻す / 送る
- **< >**: ページ切替
- **詳細**: 詳細情報を表示
- 走行中は、行を戻す / 送る、詳細の操作はできません。
- 情報の提供が無い場合は表示されません。

オーディオ

オーディオの基本操作	84
オーディオに切り替える	84
オーディオのソースを選ぶ	84
オーディオの音声を出力したままナビゲーションに切り替える	85
オーディオをOFFにする	85
テレビを見る	86
デジタルテレビ初期設定を行う	86
緊急警報放送(EWS)について	87
データ放送について	87
周波数再編(リパック)について	87
テレビの基本操作	88
選局する	88
テレビメニューを設定する	88
チャンネル設定を切り替える	90
カーソルパネルで操作する	91
番組表を見る	92
番組の内容を見る	92
テレビの設定・情報を見る	93
ラジオを聞く	94
交通情報を聞く	95
ディスクを再生する	96
再生できるディスク	96
ディスクを挿入する	96
ディスクを取り出す	96
DVD-Video・DVD-VRを再生する	97
DVD-Video・DVD-VRの設定を変える	99
CDを再生する	100
音楽CD(CD-DA)を再生する	100
タイトル表示について	101
スマートフォンでタイトルを更新する(オンライン検索)	101
MP3/WMAを再生する	102
SDカードに音楽CDを録音する	103
録音に関する設定をする	103
録音する	103
音楽CDの録音について	104
本機で録音した音楽データを再生する(MEMORY MUSIC)	105
曲管理画面の基本操作	107
スマートフォンでタイトルを更新する(オンライン検索)	108
更新したGracenote®データベースをタイトルに反映させる(データベース再検索)	108
音楽データを消去する	109
SDカードの情報を見る	109
SDカード・USBメモリーを再生する	110
SDカードを挿入する	110
USBメモリーを接続する	110
音楽(MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV)を再生する	111
動画(MP4/AVI/MKV/ASF/WMV)を再生する	112
再生するファイルを選ぶ	113

BLUETOOTH® Audio を再生する	114
iPod を再生する	116
iPod を接続する	116
iPod を再生する	118
音質・音場を調整する(オーディオチューン)	120
オーディオチューンの基本操作	120
音質・音場モードを選ぶ	120
音響効果「音の匠」を設定する	121
音場「DSP」を設定する	122
より自然な音で聞く(ビット・周波数拡張)	122
車速連動音量を補正する	123
ノイズ連動音量を補正する	123
イコライザー設定の基本操作	124
イコライザープリセットから設定する	124
手動でイコライザーを設定する	124
フェーダー/バランスの出力レベルを設定する	125
スピーカー設定の基本操作	125
スピーカー出力レベルを設定する	126
スピーカーディレイを設定する	126
映像を調整する	127
現在地画面にオーディオの映像を表示する	128

オーディオの基本操作

- 走行中は、TV、DVD、SD(動画)、USB(動画)の映像は表示されません。
安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
- 走行中でも、後席用のモニターには映像が出力されます。
後席用のモニターに出力される映像について→P. 156

オーディオに切り替える

AUDIO を押す

- オーディオ画面に切り替わります。
- オーディオ OFF の状態で AUDIO を押すと、オーディオソース一覧(下記)が表示されます。

オーディオのソースを選ぶ

1 オーディオ OFF の状態、 またはオーディオ画面表示中に、 AUDIO を押す

- オーディオソース一覧が表示されます。

2 切り替えたいソースを選ぶ

- 選んだソースに切り替わります。
- 全機能一覧(P.20)から選ぶこともできます。

ステアリングオーディオスイッチで選ぶ

ステアリングオーディオスイッチの MODE を押す

- 押すごとにソースが切り替わります。(右記)

OPT ボタンで選ぶ

セレクトビューバックアイカメラおよび全方位モニターがどちらも接続されていない場合に操作できます。

準備

- オプションスイッチを「AVソース切替」に設定してください。(P.161)

OPT を押す

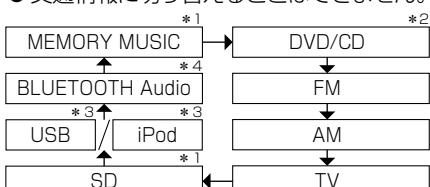
- 押すごとにソースが切り替わります。(右記)

■ オーディオソース一覧



■ ソースの切り替わりかた

- オーディオ OFF のときは
MEMORY MUSIC に切り替わります。
- オーディオが交通情報のときは、TV に
切り替わります。
- 交通情報に切り替えることはできません。



* 1 SDカード挿入時のみ

* 2 ディスク(DVD/CD)挿入時のみ

* 3 USBメモリー、iPod接続時のみ(同時接続不可)

* 4 BLUETOOTH Audio機器接続時のみ

オーディオの音声を出力したままナビゲーションに切り替える

オーディオ画面表示中に、MAP を押す

- オーディオの音声を出力したまま、ナビゲーション（現在地画面）に切り替わります。
- オーディオ画面に戻るには、AUDIO を押してください。
- ナビゲーションの音声・映像のみを出力したいときは、オーディオ OFF にしてください。（下記）

〔お知らせ〕

- ナビゲーションの現在地画面に、オーディオ映像を表示させることができます。（P.128）

オーディオを OFF にする

本体ボタンで

AUDIO を約2秒以上押す

- オーディオが OFF になります。

■ オーディオを ON にするには

オーディオ OFF の状態で、AUDIO を約2秒以上押す

- オーディオ OFF にしたときに選ばれていたソースに切り替わります。

トップメニューから

トップメニュー（P.18）から Audio ON/OFF を選ぶ

- オーディオが OFF になります。

■ オーディオを ON にするには

オーディオ OFF の状態で、トップメニュー（P.18）から Audio ON/OFF を選ぶ

- オーディオ OFF にしたときに選ばれていたソースに切り替わります。

オーディオ情報・設定メニューから

オーディオ情報・設定メニュー（P.19）から、オーディオ出力 OFF を選ぶ

- オーディオが OFF になります。

■ オーディオを ON にするには

オーディオ OFF の状態で、

オーディオ情報・設定メニュー（P.19）から、オーディオ出力 ON を選ぶ

- オーディオ OFF にしたときに選ばれていたソースに切り替わります。

テレビを見る

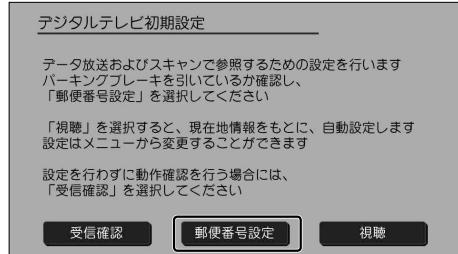
トップメニュー(P.18)、オーディオソース一覧(P.84)または全機能一覧(P.20)から
[TV]を選びと、テレビに切り替わります。

デジタルテレビ初期設定を行う

初めてテレビに切り替えたときは、デジタルテレビ初期設定画面が表示されます。
地上デジタルテレビ放送をご覧になる前に、必ずデジタルテレビ初期設定をしてください。

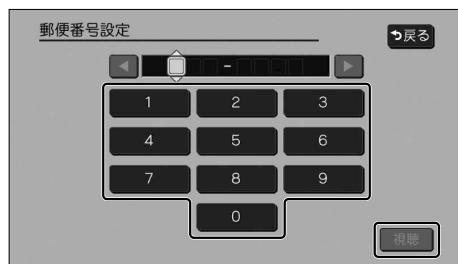
1 郵便番号設定を選ぶ

- [視聴]を選びと、自車マーク周辺の地域が自動的に登録されます。
- ※販売店にて初期設定を行わずに動作確認を行う場合には、[受信確認]を選んでください。
- ・受信確認中は、[◀] [▶]で物理チャンネルを変更できます。



2 お住いの地域の郵便番号を入力し、 [視聴]を選ぶ

- 郵便番号を設定することで、地域に密着したデータ放送(たとえば、地域の天気予報など)を視聴できるようになります。
- デジタルテレビ初期設定完了です。
地上デジタルテレビ放送をご覧になれます。



デジタルテレビ初期設定を変更する

デジタルテレビ初期設定画面(上記)は、一度設定すると、「出荷状態に戻す」(P.162)または「TVの初期化」(P.162)の操作をするまで表示されません。

引越しで受信地域が変わったなどの理由で、デジタルテレビ初期設定の項目を変更したい場合に行ってください。

1 設定画面(P.93)から「ユーザー情報設定」を選ぶ

2 「修正」を選ぶ

3 お住まいの地域の郵便番号を入力し、「次へ」を選ぶ

4 お住まいの都道府県を選ぶ

- 伊豆、小笠原諸島、南西諸島鹿児島県地域を設定するには
 - ・伊豆、小笠原諸島地域: [沖縄・その他の島部] ▶ [東京都島部] を選ぶ
 - ・南西諸島鹿児島県地域: [沖縄・その他の島部] ▶ [鹿児島県島部] を選ぶ

5 表示された地域を確認して、「完了」を選ぶ

6 「終了」を選ぶ

緊急警報放送 (EWS) について

緊急警報放送 (EWS : Emergency Warning System)とは、大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。

緊急警報放送 (EWS) を受信したら

自動的に緊急警報放送に切り替わります。

- TV以外のソースを選んでいても、緊急警報放送が開始されると、自動的に緊急警報放送に切り替わる場合があります。
- 緊急警報放送が終了しても、テレビ画面のままになります。(元のソースには戻りません。) 元に戻すには、手動で切り替えてください。
- 走行中、緊急警報放送は表示できません。
車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。
- 視聴中の放送局以外で緊急警報放送を開始しても、自動的には切り替わりません。
- 緊急警報放送の試験放送では動作しません。

データ放送について

- 情報量が多いときは、表示に時間がかかる場合があります。
- 双方向データサービスやワンセグのデータ放送には対応していません。

周波数再編（リパック）について

周波数再編により、これまで視聴できたチャンネルが映らなくなった場合は、チャンネル設定をユーザーブリセットに切り替えて「スキャン」を行ってください。(P.89)

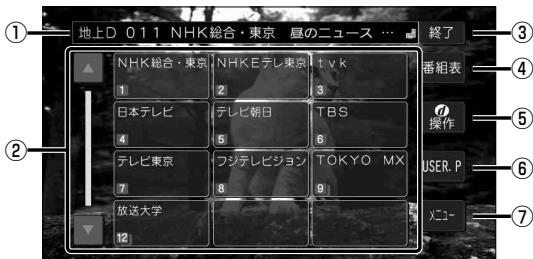
テレビを見る

テレビの基本操作

テレビ視聴中に画面をタッチすると、選局パネルが表示されます。

- 約5秒間何も操作しないと、選局パネルは自動的に消去されます。

■ 選局パネル



- ① 受信中の放送局・番組
- ② チャンネルリスト
- ③ テレビ視聴画面に戻る
- ④ 番組表を表示 (P.92)
- ⑤ カーソルパネルを表示 (P.91)
- ⑥ チャンネル設定切替 (P.90)
- ⑦ テレビメニューを表示 (下記)

選局する

チャンネルリスト (上記) から選ぶ

- 選んだチャンネルに切り替わります。
- 同じチャンネルで複数の番組が放送されている場合は、チャンネルをタッチするたびに番組が切り替わります。

ステアリングオーディオスイッチで選局するには

ステアリングオーディオスイッチの < > または V / \ または << >> を押す

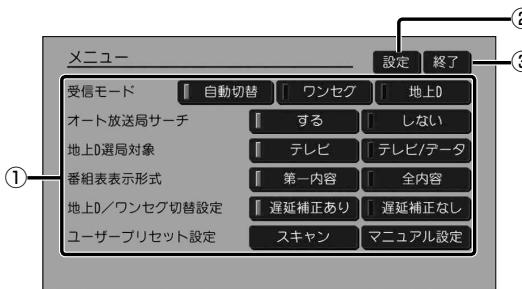
- 押すごとに 1 チャンネルずつ切り替わります。

テレビメニューを設定する

選局パネル (上記) からメニューを選ぶ

- テレビメニューが表示されます。

■ テレビメニュー



- ① テレビメニューを設定 (P.89)
- ② テレビの設定・情報を見る (P.93)
- ③ テレビ視聴画面に戻る

テレビメニューを設定する（続き）

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容/操作	
受信モード 受信状態が良くないときは、ワンセグに切り替えると、比較的安定した画像を見ることができます。	「自動切替」：受信状態に応じて地上デジタル放送/ワンセグを自動的に切り替える 「ワンセグ」：受信状態にかかわらずワンセグを受信する 「地上D」：受信状態にかかわらず地上デジタル放送を受信する ●受信状況によっては、切り替え時に数秒間映像が途切れことがあります。 ●放送局によっては、地上デジタル放送とワンセグの番組内容が異なる時間帯があるため、地上デジタル放送/ワンセグを切り替えた際、異なる番組になる場合があります。	
オート放送局サーチ 移動などで受信状態が悪くなった場合に、自動的に受信状態の良い中継局、または同じ系列の放送局に切り替えます。	「する」：オート放送局サーチする 「しない」：オート放送局サーチしない ●県境を越えて移動した場合など、オート放送局サーチ設定中でも放送局を切り替えられない場合があります。そのときは、選局パネルから手動で選局してください。 ●放送局によっては、同じ系列でも、番組内容が異なる時間帯があるため、オート放送局サーチで放送局を切り替えた際、異なる番組になる場合があります。	
地上D選局対象 ^{*1} テレビサービスのみを選局するか、テレビサービスと独立データサービスの両方を選局するかを設定します。	「テレビ」：テレビサービスのみ選局する ^{*2} 「テレビ/データ」：テレビサービスと独立データサービスを選局する *1 地上デジタル放送のみ設定できます。ワンセグに対しては設定できません。 *2 番組表もテレビサービスのみ表示されます。	
番組表表示形式 番組表の表示のしかたを設定します。	「第一内容」：同じチャンネルに同じ時間に複数の番組がある場合、代表の1番組だけ番組表に表示する ●代表以外の番組を視聴中は、代表の番組と視聴中の番組の2つが表示されます。 「全内容」：同じチャンネルに同じ時間に複数の番組がある場合、すべての番組を番組表に表示する	
地上D/ワンセグ切替設定 切り替わるときの時間のズレを、補正する/しないを設定します。 遅延補正ありに設定すると、地上デジタル放送からワンセグに切り替わる際、スムーズに切り替わります。	「遅延補正あり」：音の連続再生を優先するため、受信状態が悪化すると、早めにワンセグ放送に切り替わる 「遅延補正なし」：受信状態が悪化しても、地上デジタル放送での視聴を優先する ●本設定は受信モード（上記）が「自動切替」のときに、有効となります。 ●地上デジタル放送を十分に受信してからでないと効果が表れない場合があります。 ●ワンセグへの切り替えが早いと感じる場合は、「遅延補正なし」に設定すると改善される場合があります。	
ユーザークリセット設定 ユーザークリセットのチャンネル設定をします。 ●エリアクリセットでは設定できません。 ユーザークリセットに切り替えてください。（P.90）	<p>スキャンを選ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ●チャンネルのスキャンを開始し、終了するとチャンネル設定画面が表示されます。 <p>チャンネル設定を変更したいときは マニュアル設定を選ぶ</p>	チャンネル設定画面で放送局を確認して、 終了を選ぶ （P.90）
		チャンネル設定画面で放送局を変更して、 終了を選ぶ （P.90）

テレビを見る

チャンネル設定を切り替える

選局パネル (P.88) から USER.P (または AREA.P) を選ぶ

- 選ぶごとに、エリアプリセットとユーザークリエットが切り替わります。

AREA.P (エリアプリセット): 自動的に自車位置周辺の放送局を表示するチャンネルリスト

USER.P (ユーザークリエット): 手動で放送局をスキャンして設定したチャンネルリスト (P.89)

[お買い上げ時の設定: エリアプリセット]



初めてユーザークリエットに切り替えたときは

「ユーザークリエットが未設定です スキャンしますか?」というメッセージが表示されます。
下記の手順でチャンネルを記憶させてください。

1 はいを選ぶ

- チャンネルのスキャンを開始し、終了したらチャンネル設定画面が表示されます。

2 各チャンネルの放送局を確認して、
終了を選ぶ

- チャンネルを記憶し、チャンネル設定を終了します。
- 戻るを選ぶと、「チャンネル設定の変更を破棄しますか?」というメッセージが表示されます。
はいを選ぶと、スキャン結果や変更した内容が破棄されます。

■ チャンネル設定画面

チャンネル番号 放送局名



同じ放送局で受信できるチャンネル
・複数表示される場合があります。
・ワンセグは青色で表示されます。

チャンネル番号を選んで、お好みの放送局を割り当て
ることができます。

▲ □: チャンネル番号を選択

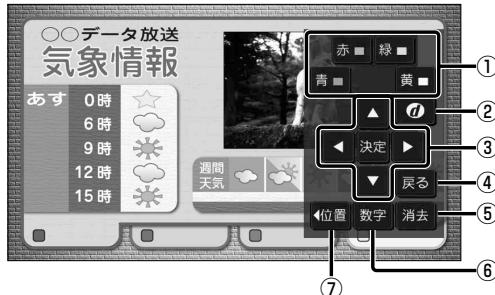
◀ ▶: 放送局名を選択

カーソルパネルで操作する

選局パネル (P. 88) から  を選ぶ

● カーソルパネルが表示されます。

■ カーソルパネル

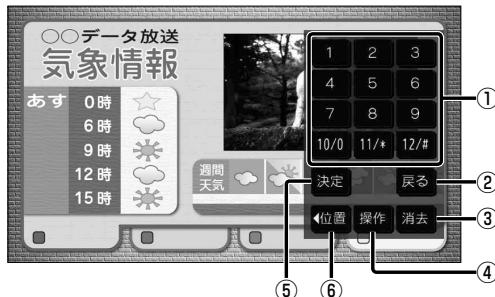


- ① カラーボタンで項目を選択する
- ② データ放送を見る^{*1}
- ③ カーソルで項目を選択・決定する
- ④ 1つ前の状態に戻る
- ⑤ カーソルパネルを消去する
- ⑥ 数字パネルに切替（下記）
- ⑦ パネルの表示位置を移動（画面左/右）



* 1 データ放送表示中に、カーソルパネルから  を選ぶとデータ放送が消去され、通常の放送に戻ります。

■ 数字パネル



- ① 数字を入力する^{*1}
- ② 1つ前の状態に戻る
- ③ 数字パネルを消去する
- ④ カーソルパネルに切替（上記）
- ⑤ 入力した内容に決定する
- ⑥ パネルの表示位置を移動（画面左/右）

* 1 データ放送が表示されていない状態で操作すると、選んだ番号のチャンネルに切り替わります。

テレビを見る

番組表を見る

選局パネル (P.88) から 番組表 を選ぶ

- 番組表が表示されます。

■ 番組表

表示形式の設定をすると、1番組のみ表示するか、すべての番組を表示するかを選べます。(P.89)



- ① 選局パネルに戻る
- ② 視聴中の番組の内容を見る (下記)
- ③ 時間帯を選ぶ
- ④ 番組表の拡大 / 縮小
- ⑤ 別日の番組表を見る
- ⑥ チャンネルを選ぶ
- ⑦ 番組表を消去
- ⑧ 視聴中の放送局を切り替える
- ⑨ 選んだ番組の内容を見る (下記)
- ⑩ 放送時間の短い番組がある (緑線部分)
タッチすると番組が表示されます。

- 電源を入れた直後は、番組表が表示されるまで約1分かかる場合があります。
- 受信可能な放送局の番組表が表示されない場合は、その局を選べば表示されます。
(数分かかることがあります。)
- 地上デジタル放送は7日分まで、ワンセグは10番組まで表示されます。

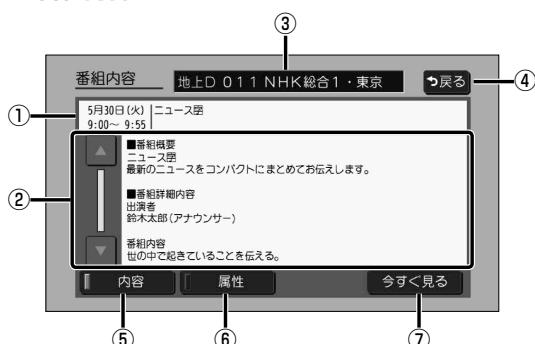
番組の内容を見る

視聴中の番組の内容を見る

番組表 (上記) から 番組内容 を選ぶ

- 視聴中の番組の内容が表示されます。

■ 番組内容



選んだ番組の内容を見る

番組表 (上記) から 番組を選んで

- 選んだ番組の内容が表示されます。

- ① 放送日・放送時間・番組名を表示
- ② 内容表示欄
- ③ 放送局名を表示
- ④ 番組表に戻る (上記)
- ⑤ 番組内容を表示
- ⑥ 番組属性 (詳細な情報) を表示
- ⑦ 内容表示中の番組を見る
(放送中の場合のみ)

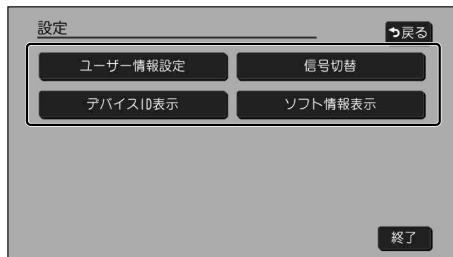
テレビの設定・情報を見る

1 テレビメニュー画面(P.88)から 設定を選ぶ

2 設定・確認したい項目を選ぶ

- 終了：テレビの視聴画面に戻る

■ 設定画面



3 各項目を設定・確認する

項目	設定内容
ユーザー情報設定	デジタルテレビ初期設定を変更します。(P.86)
信号切替	<p>各項目を設定します。</p> <p>「マルチビュー」：主番組と副番組が放送されているときに選択できます。</p> <p>「映像」：複数の映像があるときに選択できます。</p> <p>「音声」：複数の音声があるときに選択できます。</p> <p>「二重音声」：音声多重放送のときに音声を選択できます。</p> <p>「字幕」：字幕の言語を選択できます。</p> <p>「文字スーパー」：文字スーパー^{※1}の言語を選択できます。</p> <p>* 1 放送中の番組の画面上に文字で表示される情報</p>
デバイスID表示	<p>※通常はこの操作は必要ありません。お問い合わせの際に必要な場合があります。</p> <p>● 受信機(本機)に記憶されている放送局に関する情報が表示されます。</p>
ソフト情報表示	ソフト情報を確認します。

ラジオを聞く

トップメニュー(P.18)、オーディオソース一覧(P.84)または全機能一覧(P.20)からFM・AMのいずれかを選ぶと、ラジオに切り替わります。



- ① 受信中の放送局を表示
 - ② 周波数切替
 - ③ オーディオの設定などを表示
 - ④ エリアモードに切替
 - ⑤ ユーザーモードに切替
 - ⑥ 放送局リスト
 - ⑦ オーディオチューン (P. 120)
 - ⑧ エリア更新

リストから選局する

放送局リストから、放送局を選ぶ

- 選んだ放送局に切り替わります。

周波数で選局する

〈 〉で周波数を切り替える

- 「ピッ」と音が鳴るまでタッチし続けると、自動的に選局を開始し、受信すると止まります。（シーク選局）

エリアモードに切り替える

エリアを選ぶ

- 自車位置周辺の放送局リストが表示されます。

ユーザー モードに切り替える

コーナーを選ぶ

- プリセットした放送局リストが表示されます。
 - お好みの放送局を登録できます。
(プリセットメニュー→右記)

お知らせ

- 受信したい放送局が放送局リストに無い場合は、周波数で選局してください。
 - 受信電波の弱い地域では、シーク選局できないことがあります。
 - エリアモードの放送局リストは本機に収録されている情報に基づいて表示されるため、下記のような場合があります。
 - ・放送局が表示されない / 実際とは異なる放送局が表示される
 - ・リストに表示されている放送局を選択しても、切り替わらない(放送を受信できない)
 - ・リストに表示されている放送局とは異なる放送局に切り替わる
 - 周波数再編や運用休止などにより、これまで受信できた放送局が受信できなくなった場合は、コーチャードの放送局リストを更新してください。

放送局をリストに記憶させる (プリセットメモリー)

ユーザーコード(左記)で行ってください)。

1 周波数で選局する（左記）

2 放送局リストの登録したい枠を 約1秒以上タッチする

- 選局された放送局が、選んだ枠に登録されます。

放送局リストを更新する

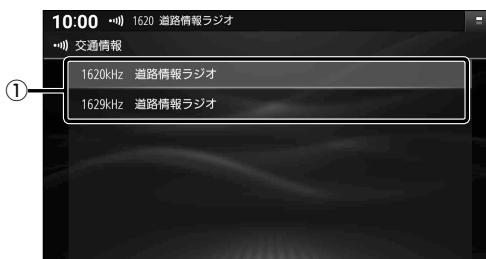
エリアモード(左記)で使用中、自車が走行したために、放送局が受信エリアから外れた場合は、下記操作で受信エリアを更新してください。

を選ぶ

- 自車位置周辺の放送局リストに更新されます。

交通情報を聞く

トップメニュー(P.18)、オーディオソース一覧(P.84)または全機能一覧(P.20)から**交通情報**を選ぶと、交通情報を切り替わります。[お買い上げ時の設定: 1 620 kHz]



① 交通情報の放送局

周波数を切り替える

1620kHz / 1629kHzを選ぶ

ディスクを再生する

再生できるディスク

本機では、下記のディスク・フォーマットを再生できます。
「ディスクについて」(P.182)も併せてご覧ください。

ディスク	フォーマット	DVD-Video	DVD-VR	CD-DA	MP3 ^{*3}	WMA ^{*3}
DVD	○	—	—	—	—	—
DVD-R/RW ^{*1}	○	○	—	—	—	—
CD	—	—	○	—	—	—
CD-R/RW ^{*2}	—	—	○	○	○	○
操作のしかた		P.97~99			P.100~102	

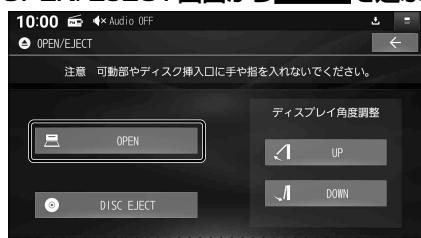
* 1 本機でご使用になる前に、記録した機器でファイナライズしてください。

* 2 本機でご使用になる前に、記録した機器でクローズセッションしてください。

* 3 MP3 PRO, MP3i, WMA Professional, WMA Lossless, WMA Voiceには対応していません。

ディスクを挿入する

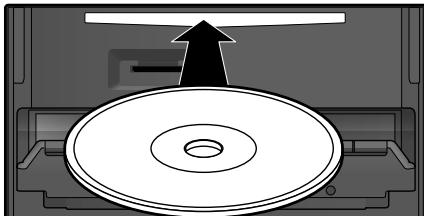
1 TILT を押す



- ディスプレイが開きます。

3 ディスクを挿入する

ラベル面を上に



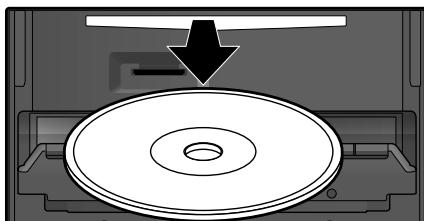
- ディスプレイが自動的に閉まり、再生を開始します。
- TILT を押して閉じることもできます。

ディスクを取り出す

1 OPEN/EJECT画面(左記)から [DISC EJECT]を選ぶ

- ディスプレイが開き、ディスクが排出されます。
- 録音中などは、ディスクの排出までに時間がかかる場合があります。

2 ディスクを取り出す



- TILT を押して、ディスプレイを閉じてください。
- ディスクを取り出すとき、ディスクが熱くなっている場合があります。

お願い

- 走行中にディスクの出し入れをしないでください。破損するおそれがあります。

お知らせ

- ディスクが排出されない場合は、[DISC EJECT]を10秒以上タッチしてください。

DVD-Video・DVD-VRを再生する

DVD、DVD-R/RW(AVCHD・AVCREC™形式を除く)のいずれかが本機に挿入された状態で、トップメニュー(P.18)、オーディオソース一覧(P.84)または全機能一覧(P.20)からDVDを選ぶと、DVDに切り替わります。

再生画面にタッチまたはダブルタップすると、動画操作画面が表示されます。



- ① 再生情報表示
- ② タッチキー位置変更 (P.98)
- ③ 操作パネル
↖ ↗ を選んで、操作パネルに表示されるタッチキーを切り替えられます。
- ④ 経過時間・総時間・タイムバー
- ⑤ カーソルキー(◀▶▲▼)/実行(●)
- ⑥ 再生画面に戻る

チャプターを頭出しする

◀◀ / ▶▶ を押す

早送り・早戻しする

◀◀ / ▶▶ を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。
- 5秒以上押し続けると、より高速の早送り・早戻しになります。

一時停止する

再生中に、操作パネルから■を選ぶ

- ■ を選ぶと、再生を開始します。

スロー再生する

一時停止中に、

◀◀ / ▶▶ を押し続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

停止する

再生中に、操作パネルから□を選ぶ

- □ を選ぶと、停止したところから再生を開始します。(リジューム再生)
- 停止中に□を選ぶと、続き再生機能が解除されます。

トップメニューを表示する DVD-Video

操作パネルからメニューを選ぶ

- ディスクのトップメニューが表示されます。

タイトルメニューを表示する

DVD-Video

操作パネルからタイトルを選ぶ

- タイトルメニューが表示されます。

プレイリストを表示する DVD-VR

操作パネルからプレイリストを選ぶ

- プレイリストが表示されます。

タイトルリストを表示する DVD-VR

操作パネルからタイトルリストを選ぶ

- タイトルリストが表示されます。

音声を切り替える

操作パネルから音声を選ぶ

- 選ぶごとに音声が切り替わります。

字幕を切り替える DVD-Video

操作パネルから字幕を選ぶ

- 選ぶごとに字幕が切り替わります。

字幕を表示 / 消去する DVD-VR

操作パネルから字幕を選ぶ

- 選ぶごとに字幕の表示/非表示が切り替わります。

ディスクを再生する

アングルを切り替える DVD-Video

操作パネル (P.97) から

アングルを選ぶ

- 選ぶごとにアングルが切り替わります。

トップメニュー / タイトルメニューから

元の再生に戻る(リジューム) DVD-Video

操作パネル (P.97) から

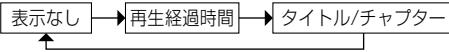
リジュームを選ぶ

- 元の再生に戻ります。

再生時間を表示する

操作パネル (P.97) から **タイム** を選ぶ

- 選ぶごとに下記のように切り替わります。



タイトル / チャプターを番号で選ぶ (サーチ)

1 操作パネル (P.97) から サーチを選ぶ

2 番号を入力し、**実行**を選ぶ

- 選んだタイトル / チャプターに切り替わります。
- 切替：サーチの対象(タイトル / チャプター)を切替
- 修正：1文字削除

静止画を切り替える DVD-VR

操作パネル (P.97) から

ページ送りを選ぶ

- 次の静止画に切り替わります。

ひとつ前の画面に戻る

操作パネル (P.97) から

リターンを選ぶ

お知らせ

- ディスクまたは本機で禁止されている操作をした場合は、 が表示されます。

項目を決定する

操作パネル (P.97) から

エンターを選ぶ

- 項目が決定されます。

カーソルで操作する

◀ ▶ ▲ ▼ でカーソルを移動し、
○(実行)を選ぶ

10キーで選ぶ

1 操作パネル (P.97) から 10キーを選ぶ

2 10キーで項目を選ぶ

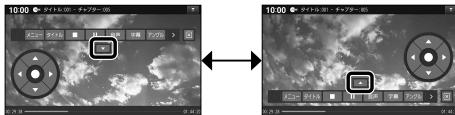


- □: タッチキーを画面左に移動
- ←: 操作パネルを表示
- ×: タッチキー消去(再生画面に戻る)

タッチキーの位置を変更する

△を選ぶ

- 選ぶごとに切り替わります。



DVD-Video・DVD-VR の設定を変える

1 操作パネル (P.97) から [設定] を選ぶ

2 各項目を設定する (下記)

[太字] お買い上げ時の設定

項目	設定内容/操作
言語を設定する*1	<p>言語設定 を選び、設定する [お買い上げ時の設定: 日本語]</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オリジナル: ディスクで優先されている言語に切り替える ● OFF: 字幕表示しない ● 初期値: すべての言語設定をお買い上げ時の設定に戻す ● 選んだ言語がタッチキーに表示されます。 ● オリジナル、OFF を選んだ場合は、タッチキーに 言語を選択 と表示されます。 <p>■ 言語コードから設定するには</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 設定する項目をタッチする ② 言語コードを入力して <input checked="" type="checkbox"/> を選ぶ (言語コード一覧表→P. 185) <ul style="list-style-type: none"> ● <input type="button" value="←"/> : 1 文字削除
音声ダイナミックレンジで圧縮する*1*2	<p>ダイナミックレンジ圧縮 を選び、設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ON: 圧縮する ● OFF: 圧縮しない
ワイドサイズの映像を後席用のモニターの画面サイズに合わせる*1	<p>モニター設定 を選び、設定する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「ワイド」(16:9) ● 「レターボックス」(4:3) ● 「パン&スキャン」(4:3) <p>通常は「ワイド」(16:9)に設定してください。</p>
再生できるDVDを制限する	<p>視聴制限レベル を選び、レベルを選ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 設定範囲: (強) レベル1～レベル8 (弱)、制限なし (制限解除) <p>パスワードを入力して <input checked="" type="checkbox"/> を選ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● パスワード*2: 4桁の数字 [お買い上げ時の設定: 0000] ● <input type="button" value="←"/> : 1 文字削除
パスワードを変更する*	<p>パスワード変更 を選び、「現在のパスワード」、「新しいパスワード」、「パスワード再入力」を入力し、<input checked="" type="checkbox"/> を選ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● パスワード*2: 4桁の数字 [お買い上げ時の設定: 0000] ● <input type="button" value="←"/> : 1 文字削除

* 1 ノイズに埋もれてしまわない最小音と音割れしない最大音との音量差を圧縮する機能です。
小さい音声が大音量の効果音などで消えてしまわないように設定できます。

* 2 パスワードは、忘れないようにメモなどを取ってください。
もしパスワードを忘れたときは、お買い上げ時のパスワード「0000」を入力すると解除できます。

CDを再生する

CD、CD-R/RWのいずれかが本機に挿入された状態で、トップメニュー(P.18)、オーディオソース一覧(P.84)または全機能一覧(P.20)から**CD**を選ぶと、CDに切り替わります。

- ナビゲーション画面表示中にCDを挿入すると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り替えるには、AUDIOを押してください。

音楽CD (CD-DA) を再生する

オーディオ

CDを再生する



- ① オーディオの設定などを表示
- ② アルバム名・アーティスト名・曲名
- ③ 順不同に再生(ランダム)
- ④ オーディオチューン(P.120)
- ⑤ 録音設定を表示(P.103)
- ⑥ 繰り返し再生(リピート)
- ⑦ 頭出し/早送り/早戻し
- ⑧ 再生/一時停止
- ⑨ オンライン検索(P.101)
- ⑩ 音楽CD録音画面を表示/録音停止(P.103)
- ⑪ 曲のリストを表示

曲を頭出しする

◀ ▶ を選ぶ

早送り・早戻しする

◀ ▶ をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

リストから選曲する

1 を選ぶ

- 曲のリストが表示されます。

2 リストから曲を選ぶ



- 選んだ曲の再生を開始します。

一時停止する

■を選ぶ

- を選ぶと、再生を開始します。

繰り返し再生する(リピート)

⟳ を選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 再度選ぶと、通常の再生に戻ります。

順不同に再生する(ランダム)

⟲ を選ぶ

- 全曲を順不同に再生します。
- 再度選ぶと、通常の再生に戻ります。

お知らせ

- 録音中は、リストからの選曲、再生モード切替、早送り・早戻し、曲の頭出しはできません。

タイトル表示について

本機にはGracenote音楽認識サービスのタイトル情報(アルバム名・アーティスト名・曲名)が収録されており、楽曲データと情報が一致した場合に付与されます。

- タイトルを表示して再生するまで、しばらく時間がかかる場合があります。
- 本機のGracenoteデータベースに一致する情報が無いときは、タイトル情報は表示されません。異なるタイトル情報を表示する場合もあります。
- CD-TEXT情報がある場合は、CD-TEXT情報が優先的に表示されます。
- Gracenoteデータベースは更新できます。→P.143

スマートフォンでタイトルを更新する（オンライン検索）

タイトルが表示されなかったり、誤ったタイトルが表示される場合は、オンラインで検索して取得できます。

準備

- タイトル情報を検索したいCDを本機に挿入してください。(P.96)
- スマートフォンを本機とWi-Fi接続してください。(P.32)

1 を選ぶ

2 はいを選ぶ

- タイトル情報の検索を開始します。
- 該当するタイトル情報が検索できた場合、アルバム情報が更新されます。

検索結果が複数ある場合は

検索候補選択画面が表示されます。

前へ 次へ でタイトルを選び、 更新を選ぶ

- 選んだ内容で、タイトル情報が更新されます。
- 候補に該当するタイトル情報が無い場合は、
閉じる を選ぶと、更新せずにタイトル情報の検索を終了します。



お知らせ

- Gracenote音楽認識サービスによって提供されたデータについては、内容を100%保証するものではありません。
- 録音中は、オンライン検索できません。

CD を再生する

MP3/WMA を再生する

再生順序やタイトル表示・データ作成時の留意点について→P. 187



- ① オーディオの設定などを表示
- ② フォルダ名・アーティスト名・曲名
- ③ 順不同に再生(ランダム)
- ④ オーディオチューン(P.120)
- ⑤ 繰り返し再生(リピート)
- ⑥ 頭出し/早送り/早戻し
- ⑦ 再生/一時停止
- ⑧ フォルダ頭出し
- ⑨ フォルダ内の曲のリストを表示

オーディオ
CDを再生する

曲を頭出しする

◀ ▶ を選ぶ

早送り・早戻しする

◀◀ ▶▶ をタッチし続ける

●離すと、通常の再生に戻ります。

フォルダを頭出しする

↑ ↓ を選ぶ

●選んだフォルダの1曲目から頭出し再生を開始します。

リストから選曲する

1 音楽を選ぶ

● フォルダ内の曲のリストが表示されます。

2 リストから曲を選ぶ



●選んだ曲の再生を開始します。

一時停止する

■を選ぶ

● ■を選ぶと、再生を開始します。

繰り返し再生する(リピート)

↻を選ぶ

● 再生中の曲を繰り返し再生します。

● 選ぶごとに下記のように切り替わります。



順不同に再生する(ランダム)

※を選ぶ

● リスト内の全曲を、順不同に再生します。

● 再度選ぶと、通常の再生に戻ります。

SDカードに音楽CDを録音する

- お客様が録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

録音に関する設定をする

1 音楽CD画面(P. 100)で を選ぶ

2 各項目を設定する(下記)

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容/操作	
録音のしかたを設定する	録音モードを選ぶ	<ul style="list-style-type: none">●「自動録音」: 音楽CDを挿入すると、自動的に録音を開始する●「手動録音」: 手動で曲を選んで録音する
録音時の音質を選ぶ	録音音質を選ぶ	<ul style="list-style-type: none">● 音質(ピットレート)を選ぶ [96 kbps]/[128 kbps]/[192 kbps]/[256 kbps]/[320 kbps]
録音可能時間	SDカードに録音できる時間のめやすが表示されます。	

録音する

準備

- 本機で初期化したSDカードを挿入してください。(P. 110、162)

■ 録音モードが「自動録音」のときは

音楽CDを挿入すると、自動的に録音を開始します。

■ 録音モードが「手動録音」のときは

下記の手順で録音してください。

1 音楽CD画面(P. 100)で を選ぶ

- 音楽CD録音画面が表示されます。

2 録音方法を選ぶ

- **全曲録音**: 全曲を録音する
- **選択曲録音**: 選んだ曲のみ録音する
- **選択曲録音**を選んだ場合、リストから録音する曲を選んでください。

3 **録音開始**を選ぶ

- 録音を開始します。
- 表示された録音可能時間は目安です。

録音を停止するには

録音中に、音楽CD画面で を選ぶ

- 録音を停止します。

■ 音楽CD録音画面



SDカードに音楽CDを録音する

音楽CDの録音について

本機の故障、誤動作または不具合による録音データの破損や消失、SDカードの破損については補償できません。

- 本機で再生できる市販の音楽CDのみ、録音できます。(MP3/WMAファイルのあるCDは録音できません。)
- 1曲でも録音済みの曲がある場合は、録音モードにかかわらずその音楽CDの自動録音は行いません。録音を開始するには、手動録音の全曲録音(P.103)を行ってください。
- 録音中にCD以外のソースやオーディオOFFに切り替えても録音は継続されます。その場合、本機の動作状態に応じて、録音速度は自動で切り替わります。(平均4倍速)
- CD以外のソースに切り替えた状態で録音しているときは、音楽CD再生の音声は聞こえません。
- 音楽CDの状態(記録面の傷、汚れなど)や記録内容によっては、録音に時間がかかったり、再生音が飛んだりすることがあります。
- 録音したものは、オリジナルと音質が異なる場合や、ノイズが発生する場合があります。ご容赦ください。
- 高温時は、録音できない場合があります。
- 録音済みの曲は、録音の音質を変更しても、重複して録音できません。

お願い

- 録音中にSDカードを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。
- 録音中に車のエンジンスイッチ(電源ポジション)を切り替えたり、本機に振動や衝撃を与えると、録音データやSDカードが破損する原因となります。
- SDカードの「RECAUDIO」フォルダの内容を、変更・削除しないでください。録音したデータが正常に再生されない場合があります。

音楽CD録音時の制限について

- 本機の動作が遅くなる場合があります。
- 録音中に車のACCをOFFにすると、録音は停止されます。録音を停止された曲のデータは破棄されます。次回車のACCをONにすると、停止した曲から録音を再開します。
- 録音中は音楽CDに対して下記の操作ができません。^{*1}
 - ・再生モード切替(リピート/ランダム)
 - ・オンライン検索
 - ・早送り/早戻し
 - ・頭出し
 - ・録音設定
 - ・リスト表示
- 連続複製防止システム(SCMS)の信号が付与された曲はCD-Rなどからは、録音できません。

*1 録音終了時点に再生されている曲が終わるまで、早送り/早戻し、再生モード(リピート/ランダム)の切替などの操作はできません。

本機で録音した音楽データを再生する(MEMORY MUSIC)

トップメニュー(P.18)、オーディオソース一覧(P.84)または全機能一覧(P.20)からMEMORY MUSICを選べば、MEMORY MUSICに切り替わります。

準備

- 本機で音楽CDをSDカードに録音してください。(P.103)



- ① オーディオの設定などを表示
- ② アルバム名・アーティスト名・曲名
- ③ 順不同に再生(ランダム)
- ④ オーディオチューン(P.120)
- ⑤ 設定メニューを表示(P.107)
- ⑥ 繰り返し再生(リピート)
- ⑦ 頭出し/早送り・早戻し
- ⑧ 再生/一時停止
- ⑨ 選曲モード設定画面を表示(P.106)

曲を頭出しする

◀ ▶ を選ぶ

早送り・早戻しする

◀ ▶ をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

一時停止する

II を選ぶ

- ▶ を選ぶと、再生を開始します。

アルバムを切り替える

ステアリングオーディオスイッチの < > または ▲ ▼ または◀ ▶ を約0.5秒以上押す

- アルバムを切り替えると、リピート、ランダムは解除され、通常の再生に戻ります。

お願い

- MEMORY MUSIC再生中にSDカードを抜かないでください。
データが破損するおそれがあります。

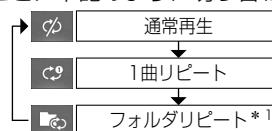
お知らせ

- 本機のGracenoteデータベースから検索したタイトル情報がアルバムや曲に付与され、表示されます。
- タイトル情報が付与されない(本機のGracenoteデータベースに無い)場合は、スマートフォンとWi-Fi接続して、オンラインで取得できます。(P.101)

繰り返し再生する(リピート)

▷ を選ぶ

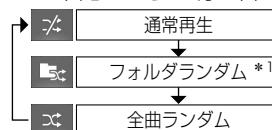
- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り替わります。



順不同に再生する(ランダム)

▷ を選ぶ

- リスト内の全曲を、順不同に再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り替わります。



*1 フォルダの内容は、選曲モードによって異なります。(P.106)

本機で録音した音楽データを再生する(MEMORY MUSIC)

いろいろな方法で選曲する

リストを絞って選曲することができます。(アーティスト別、アルバム別、ジャンル別など)

1  を選ぶ

2 選曲するリストを選ぶ

- **再生中のプレイリスト**:
再生中のリストを表示
- **アーティスト**: アーティストのリストを表示
- **アルバム**: アルバムのリストを表示
- **全曲**: 全曲を五十音順に並べ替えて表示(リストを絞らない)
- **ジャンル**: ジャンルのリストを表示

■ 選曲モード設定画面



3 項目を選んでリストを絞る

- **ALL**: 選んだリストの全曲を五十音順に並べ替えて表示*1
(リストを絞らない)

*1 手順2で「アルバム」を選んだ場合は、アルバムごとに、アルバムに収録された曲順で表示されます。

10:00 HIGHWAY

アーティスト

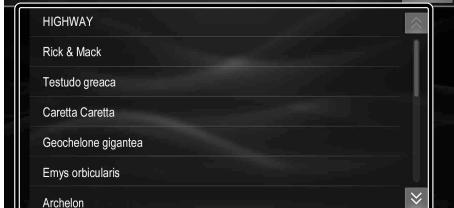


4 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。

10:00 HIGHWAY

THE BEST



お知らせ

- 録音した音楽CDによっては、画面右端の五十音で選ぶと意図したとおりに絞れない場合があります。

曲管理画面の基本操作

本機で録音した音楽データ(アルバム・曲)のタイトルの更新や、データの消去などができます。

1 [目] を選ぶ

2 曲管理 ▶ はい を選ぶ

- アルバムのリストが表示されます。

■ 設定メニュー



3 リストからアルバムを選ぶ

- 選択したアルバムの、オンライン検索、データベース再検索、消去ができます。

4 トランク表示を選ぶ

- 選択したアルバムの曲のリストが表示されます。

■ 曲管理画面(アルバム)



5 リストから曲を選ぶ

- 選択した曲の、オンライン検索、データベース再検索、消去ができます。

■ 曲管理画面(曲)



- オンライン検索(スマートフォンでタイトルを更新する P. 108)

- データベース再検索(更新した Gracenote データベースをタイトルに反映させる P. 108)

- アルバム・曲の消去(P. 109)

〔お知らせ〕

- アルバムや曲のタイトルは、手動で入力・編集できません。
- 音楽CD録音中は、設定メニューを表示できません。

本機で録音した音楽データを再生する(MEMORY MUSIC)

スマートフォンでタイトルを更新する(オンライン検索)

タイトルが表示されなかったり、誤ったタイトルが表示される場合は、オンラインで検索して取得できます。

準備

- スマートフォンを本機とWi-Fi接続してください。(P.32)

**1 曲管理画面(P.107)から検索したいアルバムまたは曲を選び、
オンライン検索を選ぶ**

2 はいを選ぶ

- タイトル情報の検索を開始します。
- 該当するタイトル情報が検索できた場合、タイトル情報が更新されます。
- 検索結果が複数ある場合は、候補から選択してください。(下記)

**更新したGracenote®データベースをタイトルに反映させる
(データベース再検索)**

本機のGracenoteデータベースを更新して、タイトル情報を更新することができます。

準備

- パソコンでWebサイトにアクセスしてGracenoteデータベース更新データをダウンロードし、本機のGracenoteデータベースを更新してください。(P.143)
<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

**曲管理画面(P.107)から更新を反映させたいアルバムまたは曲を選び、
データベース再検索を選ぶ**

- タイトル情報が更新されます。
- タイトル情報に変更が無かった場合は、更新しても変化はありません。
- 更新すると、タイトルが表示されなくなる場合があります。情報が付与されなかった場合や、誤った情報が付与された場合は、更新されたGracenoteデータベースの中に、そのアルバムの正しい情報がありません。そのときは、オンライン検索(上記)で再度検索して更新してください。
- 検索結果が複数ある場合は、候補から選択してください。(下記)

検索結果が複数ある場合は

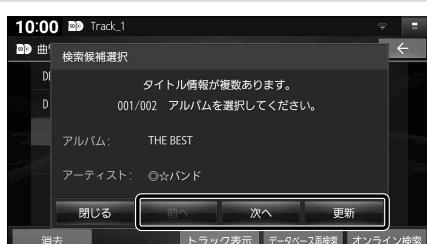
検索候補選択画面が表示されます。

**前へ 次へでタイトルを選び、
更新を選ぶ**

- 選んだ内容で、タイトル情報が更新されます。
- 候補に該当するタイトル情報が無い場合は、**閉じる**を選択すると、更新せずにタイトル情報の検索を終了します。

お知らせ

- Gracenote音楽認識サービスによって提供されたデータについては、内容を100%保証するものではありません。



音楽データを消去する

アルバム / 曲を選んで消去する

1 曲管理画面(P.107)から削除したいアルバムまたは曲を選び、**消去**を選ぶ

2 **はい**を選ぶ

- アルバム・曲が消去されます。

音楽データをすべて消去する

1 設定メニュー(P.107)から**録音データ初期化**を選ぶ

2 **はい**▶**はい**▶**はい**を選ぶ

- すべての音楽データが消去されます。

お願い

- 音楽データの消去中・初期化中にオーディオを切り替える、車のエンジンを止める、他の操作などしないでください。故障の原因となります。

SDカードの情報を見る

設定メニュー(P.107)から

SDカード情報▶**はい**を選ぶ

- SDカードの空き容量・録音可能時間が表示されます。
- 録音可能時間は、表示された録音音質で録音した場合の時間です。
- 表示された録音可能時間は目安です。



SDカード・USBメモリーを再生する

- 本機では、SDカード・USBメモリーを使用して、パソコンなどで保存した音楽、動画の再生ができます。データ作成時の留意点については、P.187~191をご覧ください。
- 本機でSDカードに録音した音楽データを再生するときは、P.105をご覧ください。

SDカードを挿入する

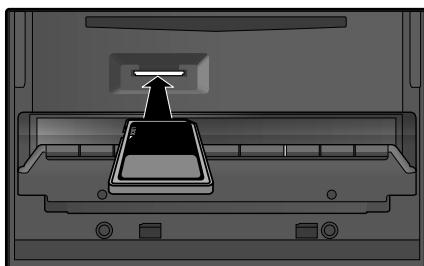
- 挿入する前に、他のカードが入っていないか確認してください。
- 正常に動作しないときは、再度カードを抜き差してください。

1 TILTを押す

2 OPEN/EJECT画面(P.96)からOPENを選ぶ

- ディスプレイが開きます。

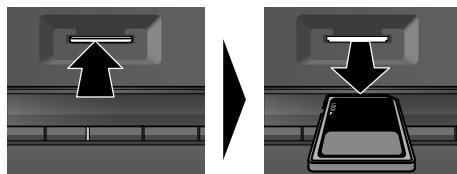
3 SDカードを奥までまっすぐに挿入する



- ラベル面を上にして、カチッと音がするまで差し込みます。
- 自動的にディスプレイが閉まります。
- ディスプレイが閉まらない場合は、SDカードが奥までしっかりと入っているか確認してください。

SDカードを取り出す

上記手順3の状態で、
SDカードの中央部を押して取り出す



お願い

- 再生中にSDカードを抜かないでください。
データが破損するおそれがあります。

USBメモリーを接続する

- コネクターの向きに注意して確実に差し込んでください。
- 正常に動作しないときは、USBメモリーを本機から外して、約10秒経過してから再度接続してください。



* 1 グローブボックス等から出ている付属の iPod / USB接続用中継ケーブルを引き出して接続してください。(ケーブルの設置場所は、車種により異なります。)

お願い

- オーディオがUSBのときに、USBメモリーの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- USBメモリーの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- 延長ケーブルを使用しないでください。音が悪くなる(音飛びする)原因となります。

お知らせ

- USBメモリーと iPod は、同時には接続できません。
- 長時間使用すると、USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

音楽 (MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV) を再生する

トップメニュー (P. 18)、オーディオソース一覧 (P. 84) または全機能一覧 (P. 20) から SD を選ぶと SD に、USB を選ぶと USB に切り替わります。

準備

- 音楽が保存された SD カード/USB メモリーを本機に挿入/接続してください。(P. 110)
- 再生モード切替画面から「音楽」を選び、音楽再生モードに切り替えてください。(P. 113)



- ① アルバムアートワーク^{*1}
- ② オーディオの設定などを表示
- ③ アルバム名・アーティスト名・曲名
- ④ 順不同に再生（ランダム）
- ⑤ オーディオチューン (P. 120)
- ⑥ 繰り返し再生（リピート）
- ⑦ 頭出し/早送り/早戻し
- ⑧ 再生/一時停止
- ⑨ 再生モード切替画面を表示 (P. 113)

曲を頭出しする

◀ ▶ を選ぶ

早送り・早戻しする

◀ ▶ をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

一時停止する

II を選ぶ

- ▶ を選ぶと、再生を開始します。

フォルダを切り替える

ステアリングオーディオスイッチの < > または ▲ ▼ または◀ ▶ を約0.5秒以上押す

- フォルダを切り替えると、リピート、ランダムは解除され、通常の再生に戻ります。

お願い

- 再生中に SD カード/USB メモリーを抜かないでください。
データが破損するおそれがあります。

* 1 ジャケット写真が設定されたファイルを再生すると表示されます。

画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。未設定の場合は (P) が表示されます。

* 2 フォルダの内容は、選曲方法によって異なります。(P. 113)

繰り返し再生する（リピート）

▷ を選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り替わります。



順不同に再生する（ランダム）

※ を選ぶ

- リスト内の全曲を、順不同に再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り替わります。



SDカード・USBメモリーを再生する

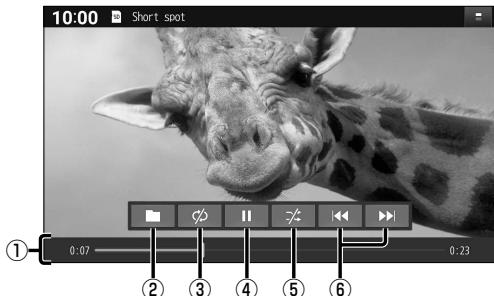
動画(MP4/AVI/MKV/ASF/WMV)を再生する

トップメニュー(P.18)、オーディオソース一覧(P.84)または全機能一覧(P.20)から
SDを選ぶとSDに、USBを選ぶとUSBに切り替わります。

準備

- 動画が保存されたSDカード/USBメモリーを本機に挿入/接続してください。(P.110)
- 再生モード切替画面から「動画」を選び、動画再生モードに切り替えてください。(P.113)

再生画面にタッチすると、動画操作画面が表示されます。



- ① 経過時間・総時間・タイムバー
- ② 再生モード切替画面を表示
(P.113)
- ③ 繰り返し再生(リピート)
- ④ 再生/一時停止
- ⑤ 順不同に再生(ランダム)
- ⑥ 頭出し/早送り/早戻し

動画を頭出しうる

◀▶を選ぶ

早送り・早戻しする

◀▶をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

一時停止する

■を選ぶ

- □を選ぶと、再生を開始します。

フォルダを切り替える

ステアリングオーディオスイッチの
< > または ▲ ▼ または◀▶を
約0.5秒以上押す

- フォルダを切り替えると、リピート、ランダムは解除され、通常の再生に戻ります。

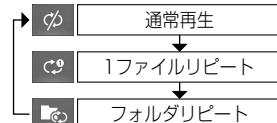
お願い

- 再生中にSDカード/USBメモリーを抜かないでください。
データが破損するおそれがあります。

繰り返し再生する(リピート)

▷を選ぶ

- 再生中の動画を繰り返し再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り替わります。



順不同に再生する(ランダム)

※を選ぶ

- リスト内の全動画を、順不同に再生します。
- 選ぶごとに下記のように切り替わります。



再生するファイルを選ぶ

音楽再生の場合、リストを絞って選曲することができます。(アーティスト別、アルバム別など)

1 ファイルを選ぶ

2 ファイルの種類を選ぶ

- **音楽**: 音楽再生
- 手順3へ
- **動画**: 動画再生
- 続けて再生したいフォルダ・ファイルを選ぶ

■ 再生モード切替画面



いろいろな方法で選曲する（音楽再生の場合のみ）

3 選曲するリストを選ぶ

- **アルバム**: アルバムのリストを表示
- **アーティスト**: アーティストのリストを表示
- **全曲**: 全曲を表示(リストを絞らない)
- **フォルダ**: フォルダのリストを表示



4 項目を選んでリストを絞る

- **ALL**: 選んだリストの全曲を表示
(リストを絞らない)



● 例: アーティスト

5 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。



お知らせ

- 保存曲数が多いと、リストの表示や選曲に時間がかかる場合があります。

BLUETOOTH® Audioを再生する

トップメニュー(P. 18)、オーディオソース一覧(P. 84)または全機能一覧(P. 20)からBLUETOOTH Audioを選べば、BLUETOOTH Audioに切り替わります。

準備

- BLUETOOTH Audio機器(スマートフォン)を本機に登録・接続してください。(P. 30)



- ① アルバムアートワーク^{*1}
- ② オーディオの設定などを表示
- ③ アルバム名・アーティスト名・曲名
- ④ 順不同に再生(ランダム)
- ⑤ オーディオチューン(P. 120)
- ⑥ BLUETOOTH設定画面を表示(P. 30)
- ⑦ 繰り返し再生(リピート)
- ⑧ 頭出し/早送り/早戻し
- ⑨ 再生/一時停止
- ⑩ 選曲方法のリストを表示

曲を頭出しする

◀▶を選ぶ

早送り・早戻しする

◀▶をタッチし続ける

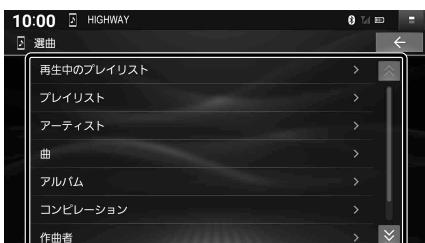
- 離すと、通常の再生に戻ります。

リストから選曲する

1 ▶を選ぶ

- 選局方法のリストが表示されます。

2 リストからグループ▶曲を選ぶ



- 選んだ曲の再生を開始します。

一時停止する

■を選ぶ

- ▶を選べば、再生を開始します。

繰り返し再生する(リピート)

⟳を選ぶ

- 再生中の曲を繰り返し再生します。

- 選ぶごとに下記のように切り替わります。

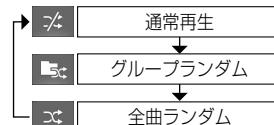


順不同に再生する(ランダム)

⟲を選ぶ

- すべてのフォルダの全曲を対象に、順不同に再生します。

- 選ぶごとに下記のように切り替わります。



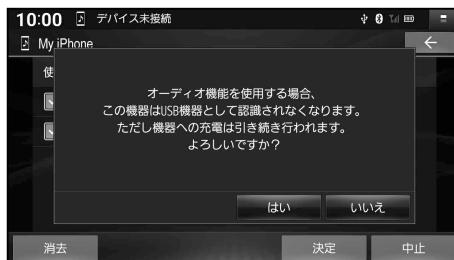
*1 ジャケット写真が設定されたファイルを再生すると表示されます。

画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。未設定の場合は (P) が表示されます。

お知らせ

- 接続機器や音楽再生アプリの説明などもご覧ください。
- 接続機器や音楽再生アプリによっては、接続できなかったり、意図したとおりの動作や表示をしない場合があります（下記は主な例です）。また、音質が低下することがあります。
 - ・音声出力や画面表示に時間がかかる
 - ・本機の表示内容が接続機器の表示と一致しない
 - ・曲名、アーティスト名、アルバム名が表示されない
 - ・画面表示が更新されない
 - ・画面表示や操作スイッチの一部が表示されない
 - ・機能の一部が動作しない
 - ・本機で操作できない（その場合は、接続機器で操作してください）
- 接続機器で複数のアプリを起動している場合、本機から操作できなかったり、音声出力と画面表示される楽曲が異なる場合があります。その場合は、BLUETOOTH Audioに切り替える前にすべてのアプリを終了して、BLUETOOTH Audioを接続しなおしてください。
- 接続機器や本機との接続状態によっては、BLUETOOTH Audioを使用する際に、接続機器側の音声出力先を本機に設定する必要がある場合があります。（例：iPhone をケーブルで接続している場合）
- BLUETOOTH Audio再生とハンズフリーを同時に使用すると、それぞれの通信の状態（接続や音声など）が不安定になることがあります。
- 接続機器にイコライザー機能がある場合には、イコライザーを「OFF」にしてください。音割れなどの原因となる場合があります。
- iPod をP.116のようにケーブルで接続してBLUETOOTH Audio接続（P.30）すると、下記の画面が表示されます。

- ・**はい**：BLUETOOTH Audio接続されます。（「iPod」では再生できません）iPod は、ケーブルで接続している間は充電されます。
- ・**いいえ**：BLUETOOTH Audio接続されません。（「iPod」で再生できます）



iPod を再生する

本機で接続確認済みの iPod (2025年7月現在)

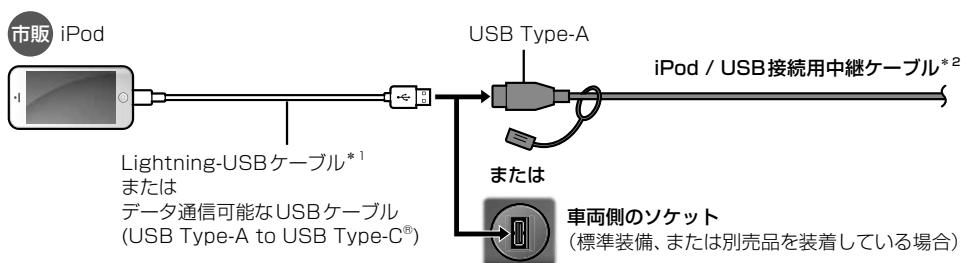
iPhone 16e	iPhone 14 Pro Max	iPhone 12 Pro Max	iPhone XS Max
iPhone 16 Pro Max	iPhone 14 Pro	iPhone 12 Pro	iPhone XS
iPhone 16 Pro	iPhone 14 Plus	iPhone 12	iPhone XR
iPhone 16 Plus	iPhone 14	iPhone 12 mini	
iPhone 16	iPhone SE(第3世代)	iPhone SE(第2世代)	
iPhone 15 Pro Max	iPhone 13 Pro Max	iPhone 11 Pro Max	
iPhone 15 Pro	iPhone 13 Pro	iPhone 11 Pro	
iPhone 15 Plus	iPhone 13	iPhone 11	
iPhone 15	iPhone 13 mini		

- 適合機種および接続情報については、Webサイトをご覧ください。

<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

iPod を接続する

- iPod は、電源を入れたうえで本機と接続してください。
- オーディオが iPod のときに、iPod の取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- 接続する機種のコネクターに適合するケーブルを使用してください。使用するケーブルによって、正しく動作しない場合があります。



* 1 Apple 純正品以外を使用すると正しく動作しない場合があります。

* 2 グローブボックス等から出ている付属の iPod / USB 接続用中継ケーブルに接続してください。
(ケーブルの設置場所は、車種により異なります。)

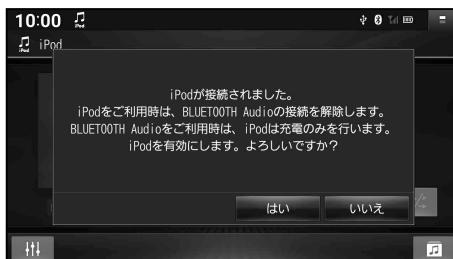
お願い

- iPod のリモコンやヘッドホンなどは、接続しないでください。正しく動作しない場合があります。
- 取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- ACC を OFF にしたあとは、必ず iPod を取り外してください。iPod の電源が切れず、iPod の電池を消耗することがあります。
- iPod に楽曲を追加する操作を行う場合は、iPod を本機から取り外してください。
- 延長ケーブルを使用しないでください。音が悪くなる（音飛びする）原因となります。

お知らせ

- コネクターの向きに注意して確実に差し込んでください。
- iPod と USB メモリーは、同時には接続できません。
- iPod の動作状態によっては、充電に時間がかかる、または充電されない場合があります。
- iPod の動作やバージョンアップされる iPod、ソフトウェアへの対応は、保証いたしかねます。
- iPod 本体のイコライザー設定は解除してください。音質が悪くなる場合があります。
- iPod ビデオ再生には対応していません。
- 正常に動作しないときは、本機から iPod を取り外してリセットし、再度接続してください。
- iPod または iPhone を P.116 のようにケーブルで接続している場合は、iPhone ではスマートフォン連携機能(NaviCon / CarAV remote S)を利用できません。iPod または iPhone を取り外してください。
- 本機と BLUETOOTH Audio 接続中の iPod をケーブルに接続してオーディオを iPod に切り替えると、下記のメッセージが表示されます。

- ・ **はい** : 「iPod」で再生できます。
(BLUETOOTH Audio接続は解除されます)
- ・ **いいえ** : 「BLUETOOTH Audio」で再生できます。
(「iPod」では再生できません)ケーブルで接続している間は iPod は充電されます。



iPod を再生する

iPod を再生する

トップメニュー(P. 18)、オーディオソース一覧(P. 84)または全機能一覧(P. 20)から iPod を選ぶと iPod に切り替わります。



- ① アルバムアートワーク^{*1}
- ② オーディオの設定などを表示
- ③ 再生中のプレイリスト名・アーティスト名・曲名
- ④ 順不同に再生(ランダム)
- ⑤ オーディオチューン(P. 120)
- ⑥ 繰り返し再生(リピート)
- ⑦ 頭出し/早送り・早戻し
- ⑧ 再生/一時停止
- ⑨ 選曲モード設定画面を表示(P. 119)

曲を頭出しする

◀ ▶ を選ぶ

早送り・早戻しする

◀ ▶ をタッチし続ける

● 離すと、通常の再生に戻ります。

一時停止する

■ を選ぶ

● ▶ を選ぶと、再生を開始します。

繰り返し再生する(リピート)

▷ を選ぶ

● 選ぶごとに、下記のように切り替わります。



*1 リピートのしかたは、選曲方法によって異なります。(P. 119)

順不同に再生する(ランダム)

☒ を選ぶ

● リスト内^{*2}の全曲を順不同に再生します。
● 再度選ぶと、通常の再生に戻ります。

*2 リストの内容は、選曲方法によって異なります。(P. 119)

お知らせ

● 正常に動作しないときは、本機から iPod を取り外してリセットし、再度接続してください。

*1 表示サイズは iPod の仕様により異なります。画像データのサイズが大きいと表示されない場合があります。以下の場合、アルバムアートワークは表示されません。☒ が表示されます。

- ・アルバムアートワークがない
- ・アルバムアートワーク取得中
- ・本機でアルバムアートワークを表示できない iPod を接続している

選曲方法を選ぶ（選曲モード）

全曲から選曲方法を選んで再生できます。（アルバム別、アーティスト別、ジャンル別など）

1 を選ぶ

2 選曲方法を選ぶ

- **再生中のプレイリスト**：
再生中のプレイリストから選曲
- **全曲**：全アルバムの全曲から選曲
- **アルバム**：アルバム別で選曲
- **アーティスト**：アーティスト別で選曲
- **ポッドキャスト**：ポッドキャストから選曲
- **ジャンル**：ジャンル別で選曲
- **プレイリスト**：プレイリストから選曲
- **作曲者**：作曲者別で選曲
- **オーディオブック**：
オーディオブックから選曲

■ 選曲モード設定画面



3 項目を選んでリストを絞る

- **ALL**：選んだ選曲方法から全曲を表示



● 例：アーティスト

4 リストから曲を選ぶ

- 選んだ曲を再生します。



音質・音場を調整する(オーディオチューン)

オーディオチューンの基本操作

オーディオ情報・設定メニュー(P. 19)でオーディオチューンを選ぶ

- オーディオチューン画面が表示されます。
- FM、AM、CD、BLUETOOTH Audio、MEMORY MUSIC、SD(音楽)、USB(音楽)、iPod から  をタッチしても、オーディオチューン画面が表示されます。

■ オーディオチューン画面(エフェクト設定)



設定画面を切り替える

オーディオチューン画面で

エフェクト・イコライザー・フェーダー/バランス・スピーカーから設定画面を選ぶ

- エフェクト: 音質・音場効果に関する各種設定
- イコライザー: 13バンドのイコライザーによる音質設定
- フェーダー/バランス: 前後左右のスピーカーの出力バランスの設定
- スピーカー: 出力レベル・ディレイの設定

音質・音場モードを選ぶ

エフェクト設定画面から高音質/騒音適応/エフェクトを選択

●高音質モード

高音質でオーディオを楽しむのに適したモードです。

ハイレゾ音源のFLAC・WAVの音楽データは、192 kHzの高音質で再生されます。また、通常の音質の音源も、補完してより自然な音で再生できます。(ピット・周波数拡張→P. 122)

●騒音適応モード

車内でのオーディオの聴きやすさを重視したモードです。

ハイレゾ音源のFLAC・WAVの音楽データも、通常の音質(48 kHz)に変換されて再生されます。

●エフェクトモード

さまざまな音響効果を楽しむのに適したモードです。

ハイレゾ音源のFLAC・WAVの音楽データも、通常の音質(48 kHz)に変換されて再生されます。

お知らせ

- エフェクト設定の内容は、音質・音場モードごと(個別)に記憶されます。

音響効果「音の匠」を設定する

音の匠とは

レコーディングエンジニア集団MIXER'S LABが監修した音質で音楽を楽しめます。

●「匠 マスターサウンド」:[お買い上げ時の設定]

レコーディングやマスタリングを手がける音のプロがチューニングした、よりスタジオサウンドに近い音を再現するモード(2wayスピーカー向き)

●「極 サラウンド」:

音場制御とサラウンドチューニングを施すことで、臨場感あふれる音楽を楽しめるモード(フルレンジスピーカー向き)

●「和 会話重視」:

人の会話と周波数がぶつからないようにチューニングした、音楽を聞きながら車内の会話が楽しめるモード

1 エフェクト設定画面(P.120)から

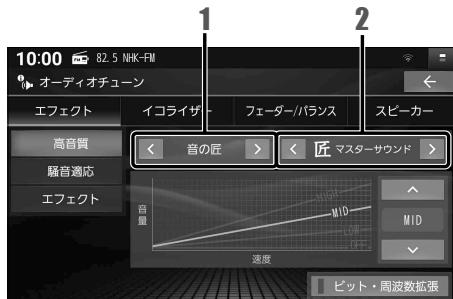
＜＞で「音の匠」を選ぶ

- 選ぶごとに音響効果が切り替わります。

- ・高音質モードの場合

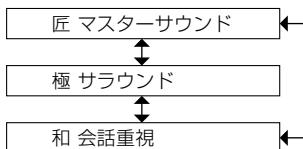


- ・騒音適応モード/エフェクトモードの場合



2 ＜＞でサラウンド効果を選ぶ

- 選ぶごとにサラウンド効果が切り替わります。



お知らせ

- オーディオ OFFの状態では設定できません。
- 音の匠、DSPを同時に設定することはできません。

音質・音場を調整する（オーディオチューン）

音場「DSP」を設定する

疑似再現したい音場を設定できます。

準備

- 騒音適応モードまたはエフェクトモードに設定してください。（P.120）
高音質モードでは設定できません。

1 エフェクト設定画面（P.120）から

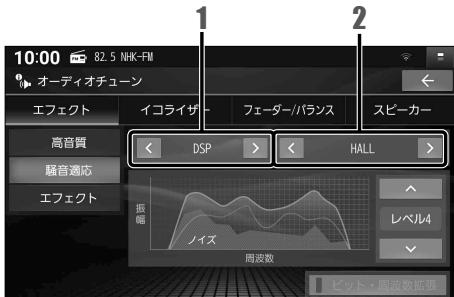
< >で「DSP」を選ぶ

- 選ぶごとに音響効果が切り替わります。



2 < >で音場を選ぶ

- 選ぶごとに音場効果が切り替わります。



お知らせ

- オーディオ OFF の状態では設定できません。
- 音の匠、DSP を同時に設定することはできません。

より自然な音で聞く（ビット・周波数拡張）

音源を補完して、より自然な音で再生します。

準備

- 高音質モードに設定してください。（P.120）
騒音適応モードまたはエフェクトモードでは設定できません。

エフェクト設定画面（P.120）から

ビット・周波数拡張を選ぶ

- 選ぶごとにON/OFFが切り替わります。



お知らせ

- 音源によっては、効果（音の変化）を感じ取りにくい場合があります。
- 車両の状態や環境によっては、効果（音の変化）を感じ取りにくい場合があります。
- ハイレゾ音源のFLAC・WAVの音楽データを再生するときは、余分な信号が音質に影響を与えないよう「OFF」にしてください。
- オーディオが交通情報の場合は、設定できません。

車速連動音量を補正する

車両が走行する速度に連動してオーディオの音量を自動的に補正します。

準備

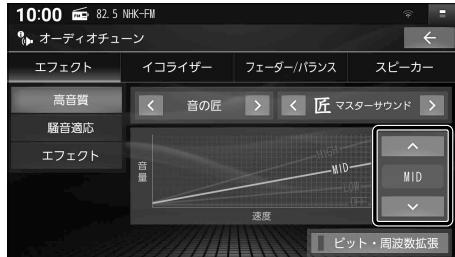
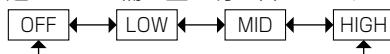
- 高音質モードまたはエフェクトモードに設定してください。(P. 120)
騒音適応モードでは設定できません。

エフェクト設定画面(P. 120)から

▽ △で車速連動音量の

補正量を選ぶ

- 選ぶごとに補正量が切り替わります。



ノイズ連動音量を補正する

車内の走行騒音に連動してオーディオの音量や音質を自動的に補正します。

準備

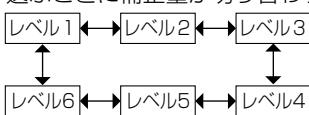
- 騒音適応モードに設定してください。(P. 120)
高音質モードまたはエフェクトモードでは設定できません。

エフェクト設定画面(P. 120)から

▽ △でノイズ連動音量の

補正量を選ぶ

- 選ぶごとに補正量が切り替わります。



お知らせ

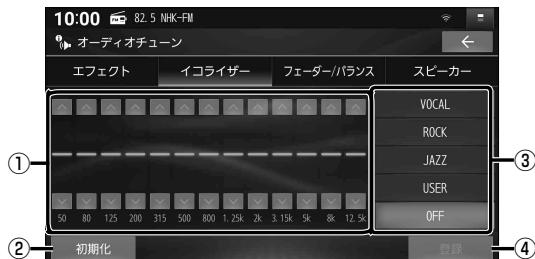
- 走行状態によっては、効果が大きくなる場合があります。
- 効果を大きく感じる場合は、より小さい補正量を選択してください。

音質・音場を調整する(オーディオチューン)

イコライザー設定の基本操作

オーディオチューン画面(P.120)からイコライザーを選ぶと、イコライザーフィルタが表示されます。

■ イコライザーフィルタ



- ① 設定操作部
- ② お買い上げ時の設定に戻す
- ③ イコライザーフィルタ
- ④ 設定内容を登録

お知らせ

- オーディオOFFの状態では設定できません。

イコライザーフィルタから設定する

あらかじめ設定されている内容を呼び出して、かんたんに設定できます。

イコライザーフィルタから、呼び出したいイコライザーフィルタを選択する

- VOCAL: 中音域から高音域にかけて強調した音質
- ROCK: 中音域をやや抑え、低音域・高音域を強調した音質
- JAZZ: 中音域をやや抑え、低音域・高音域をやや強調した音質
- USER: 手動でお好みに調整した音質(下記)
- OFF: フラットな音質(調整値 0 dB)

手動でイコライザーフィルタを設定する

手動でお好みの数値に設定することができます。

1 イコライザーフィルタから

USERを選択する

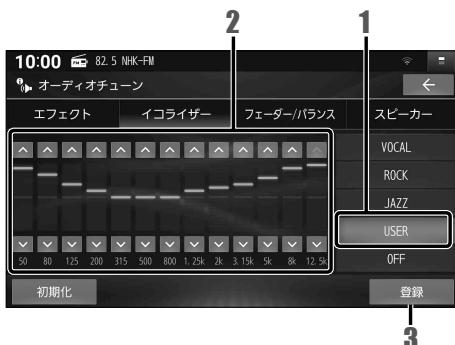
- VOCAL, ROCK, JAZZ の設定も、手動で変更できます。

2 周波数の値を▽ △で調整する

- 各周波数のスライダーをドラッグして調整することもできます。

3 調整が終わったら、登録を選択する

- 設定内容が登録されます。



お買い上げ時の設定に戻すには

イコライザーフィルタから

初期化▶はいを選択する

フェーダー / バランスの出力レベルを設定する

オーディオチューン画面(P.120)から**フェーダー/バランス**を選ぶと、フェーダー/バランス設定画面が表示されます。

フェーダー/バランス設定画面から調整範囲を直接タッチして調整する

- で調整することもできます。
- センター: 調整値が0(中央)に戻ります。

お知らせ

- オーディオOFFの状態では設定できません。

■ フェーダー/バランス設定画面



スピーカー設定の基本操作

スピーカー設定は車両に合わせて調整されていますので、通常はお客様による設定は必要ありません。備え付けの専用スピーカーから別のスピーカーに変更する場合には、お買い上げの販売店にご相談ください。

オーディオチューン画面(P.120)から**スピーカー**を選ぶと、スピーカー設定画面が表示されます。

■ スピーカー設定画面



- ① 設定イメージ図
- ② 出力レベル設定に切替(P.126)
- ③ ディレイ設定に切替(P.126)
- ④ 設定操作部

お知らせ

- オーディオOFFの状態では設定できません。

音質・音場を調整する(オーディオチューン)

[太字: お買い上げ時の設定]

スピーカー出力レベルを設定する

- 1 ソースをFMまたはAMに切り替えて、放送局が無い周波数に合わせる
●ラジオの「ザー」という音が聞こえることを確認してください。

2 スピーカー設定画面から
出力レベルを選ぶ

3 - + で、出力レベルを調整する

- 調整範囲: -12 dB ~ ±0 dB ~ +12 dB
- ラジオの「ザー」という音が、最も小さく聞こえるスピーカーを基準にして、他のスピーカーが同じ音量に聞こえるように調整してください。
- 各項目のスライダーをドラッグして調整することもできます。



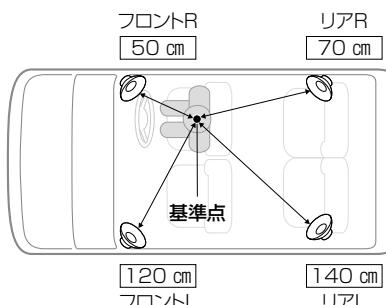
スピーカーディレイを設定する

1 スピーカー設定画面から
ディレイを選ぶ

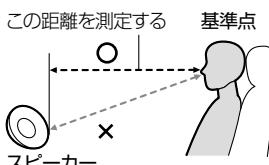
2 - + で、ディレイを調整する

- 調整範囲: 0 cm ~ 100 cm ~ 500 cm
(2 cm刻み)
- 距離を設定すると、基準点から最も離れたスピーカーに合わせて、他のスピーカーの音声出力タイミングを遅らせます。
(10 cmあたり約0.3 ms)
- 各項目のスライダーをドラッグして調整することもできます。

- 視聴位置を基準点としてください。



- 距離は、水平に計測してください。



映像を調整する

1 画面調整(画質調整)画面が表示されるまで MAP を約2秒以上押す

- 調整したい映像を表示させてから、行ってください。
- ナビゲーション画面の画質調整は、システム情報・設定メニュー(P.19)から「画質調整」を選んでも調整できます。

2 映像を調整する

- 明るさ、コントラスト、色合い、色の濃さは、スライダーをドラッグして調整することもできます。

■ 画面調整(画質調整)画面



項目	設定内容						
明るさ	■: 暗くなる	+: 明るくなる	●調整範囲: 1~31	CN-HZ8A5 [お買い上げ時の設定: 昼24 夜8] CN-HZ7A5W [お買い上げ時の設定: 昼19 夜7]			
コントラスト	■: 明暗の差 小	+: 明暗の差 大	●調整範囲: 1~31	[お買い上げ時の設定: 16]			
色合い ^{*1}	■: 緑みが強くなる	+: 赤みが強くなる	●調整範囲: 1~31	[お買い上げ時の設定: 16]			
色の濃さ ^{*1}	■: 薄くなる	+: 濃くなる	●調整範囲: 1~31	[お買い上げ時の設定: 16]			
画面サイズ	アスペクト比を調整						
	● ノーマル: <input checked="" type="checkbox"/> TV <input type="checkbox"/> DVD <input type="checkbox"/> SD(動画) <input type="checkbox"/> USB(動画)	映像を4:3で表示 ^{*2} (16:9の映像は横方向に圧縮して表示されます)					
	● フル: <input checked="" type="checkbox"/> TV <input type="checkbox"/> DVD <input type="checkbox"/> SD(動画) <input type="checkbox"/> USB(動画)	[お買い上げ時の設定] 映像が画面全体で表示されるよう引きのばして表示					
	● ワイド: <input checked="" type="checkbox"/> TV <input type="checkbox"/> DVD <input type="checkbox"/> SD(動画) <input type="checkbox"/> USB(動画)	映像を16:9で表示 ^{*2} (4:3の映像は横方向に引きのばして表示されます)					
	● シネマ: <input checked="" type="checkbox"/> DVD	4:3の映像は4:3のまま画面全体に引きのばして表示 (映像の上下が切れて表示されます) 16:9の映像は16:9で表示 (「ワイド」に設定したときと同じ表示になります)					
	※ 各オーディオの入力映像の縦横比によっては、設定を変更しても映像のサイズが変わらない場合があります。						
	※ カメラ、ドライブレコーダーは、映像のサイズを調整できません。						

3 OKを選ぶ

お知らせ

- 「明るさ」「コントラスト」「色合い」「色の濃さ」は、昼画面、夜画面でそれぞれ個別に設定できます。
- カメラ映像(バックアイカメラ/セレクトビューバックアイカメラ/全方位モニター^{*3}、ナビ連動ドライブレコーダー)の画質も調整できます。
- 元の映像によっては、明るい部分の階調表現がつぶれる場合があります。

* 1 「色合い」「色の濃さ」の調整ができる映像は、TV、DVD、SD(動画)、USB(動画)、およびカメラ、ドライブレコーダーです。

* 2 映像の比率が本機画面の比率と異なるため、画面の一部が黒く表示されます。

* 3 全方位モニターは調整の手順が異なる場合があります。車両のオーナーズマニュアルも併せてご確認ください。

お買い上げ時の設定に戻すには

画面調整(画質調整)画面から、初期値を選ぶ

現在地画面にオーディオの映像を表示する

現在地画面に、TV・DVD・SD(動画)・USB(動画)の映像を表示できます。

ランチャー(P.44)から 右画面表示▶映像を選ぶ

- 画面の右側にオーディオの映像が表示されます。
- オーディオの映像をタッチすると、全画面で表示されます。



お知らせ

- 走行中および拡大図表示中は、消去されて非表示になります。
- 表示の大きさや位置は変更できません。
- 右画面にDVD / SD(動画) / USB(動画)を表示している場合は、ハンズフリー通話時に映像が静止画面となりますが、故障ではありません。

オーディオの映像を消去するには

ランチャー(P.44)から右画面表示▶OFFを選ぶ

- オーディオの映像が消去されます。

ハンズフリー・スマホ連携

ハンズフリー	130
ハンズフリーで通話する	130
電話を受ける	130
通話中の操作	131
電話をかける	132
ハンズフリー通話の設定をする	133
スマホ連携	134
NaviConを利用する	134
「NaviCon」とは	134
スマートフォンをリモコンとして使う (CarAV remote S)	135
「CarAV remote S」とは	135

ハンズフリーで通話する

安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご使用ください。

スマートフォンによっては、本書の説明どおりに動作しない場合があります。
スマートフォン側の操作はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

準備

- スマートフォンを本機に登録し、ハンズフリー接続してください。(P.30)

お知らせ

- スマートフォンを待受画面にしないとハンズフリー通話ができない場合があります。
- スマートフォンによっては、本機とBLUETOOTH接続中に、スマートフォンを操作して電話をかけても(電話に出ても)ハンズフリー通話になる場合があります。
- BLUETOOTH Audio 再生とハンズフリーを同時に使用すると、それぞれの通信の状態(接続や音声など)が不安定になることがあります。
- オーディオの音声を出力中に電話がかかってくると、オーディオの音声を一時消音し、ハンズフリー画面に切り替わります。(ディスク、MEMORY MUSIC、SD、USB、BLUETOOTH Audio、iPodは再生を一時停止します)通話が終了すると、音声の出力および再生を再開します。通話が終了しても映像は切り替わりません。AUDIOを押して切り替えてください。
- 割込通話や第三者通話には対応していません。

■電話帳・発着信履歴について

- スマートフォンを本機とハンズフリー接続すると、その時点の電話帳と発着信履歴の情報が、自動的に本機に転送されます。手動で個別に選んで登録することはできません。
(携帯電話データの自動同期→P.133)
- 本機に登録された電話帳の内容(電話帳、氏名など)は、編集できません。電話帳の内容を変更するときは、スマートフォン側で編集してください。
- 電話帳は、2 000件まで表示できます。また、電話番号は1件につき5つまで表示できます。
- 発着信履歴は、発信履歴・着信履歴・不在着信でそれぞれ100件ずつ表示できます。
- 本機と接続しているときにスマートフォンで電話帳の更新を行った場合は、本機側の電話帳には反映されません。接続が解除され、再度接続されたときに(本機の電源を切り、再度電源を入れたときなど)に反映されます。
- スマートフォンの設定などによっては転送できない場合があります。スマートフォン側の設定はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。

電話を受ける

電話がかかって来ると、自動的に着信画面が表示されます。

電話に出るを選ぶ

- かかってきた電話に応答します。
- 電話を切るを選ぶと、応答せずに終了します。

お知らせ

- スマートフォンの機種によっては、電話を切るを選んでも電話に出る場合があります。

■着信画面



通話中の操作

通話が始まると、通話中画面が表示されます。

- 通話が聞き取りやすいように、車の窓を閉めてください。
- 大きな声ではっきりと話してください。

■ 通話中画面



- ① 電話を切る
- ② テンキー(10キー)を表示
- ③ 送話音を消音
- ④ 通話切替(スマートフォン/ハンズフリー)
- ⑤ 通話相手の電話番号または氏名
- ⑥ 通話時間

一時的に送話音を消音する

ミュートを選ぶ

- 再度選ぶと、ミュートが解除されます。

トーン信号(ピッポッパ)を送る

プッシュホンサービスを利用する場合などに使用します。

1 キーパッドを選ぶ

- テンキー(10キー)が表示されます。

2 数字を選び、トーン信号を送る

通話をスマートフォンに切り替える

携帯電話切替を選ぶ

- スマートフォンで通話できます。

■ ハンズフリー通話に戻るには

ハンズフリー切替を選ぶ

電話を切る

電話を切るを選ぶ

- 通話を終了します。

ハンズフリーで通話する

電話をかける

トップメニュー(P. 18)または全機能一覧(P. 20)からハンズフリーを選ぶ

- ハンズフリー画面が表示されます。



- ① 発着信履歴に切替
- ② 電話帳に切替
- ③ ダイヤルに切替
- ④ ハンズフリー設定画面を表示(P. 133)

電話帳から電話をかける

- 1 ハンズフリー画面から、**電話帳**を選ぶ

- 2 連絡先リストから、**電話**をかける相手を選ぶ

- 3 電話番号を選ぶ

- 選んだ電話番号に電話をかけます。

■ ハンズフリー画面(電話帳)



電話番号を入力して電話をかける

- 1 ハンズフリー画面から、**ダイヤル**を選ぶ

- 2 電話番号を入力し、**発信**を選ぶ

- 選んだ電話番号に電話をかけます。

- : 1文字削除

■ ハンズフリー画面(ダイヤル)



前回発信した番号に電話をかける（リダイヤル）

セレクトビューバックアイカメラおよび全方位モニターがどちらも接続されていない場合に操作できます。

準備

- オプションスイッチを「電話リダイヤル発信」に設定してください。（P.161）

1 OPT を押す

2 発信を選ぶ

- 前回発信した番号に電話をかけます。

発着信履歴から電話をかける

■ ハンズフリー画面（発着信履歴）



① 表示する履歴を選択

② 発着信履歴リスト

1 ハンズフリー画面（P.132）から、履歴を選ぶ

2 発着信履歴リストから、電話をかける相手を選ぶ

- 選んだ相手に電話をかけます。

■ 表示する履歴を選ぶには

ハンズフリー画面（発着信履歴）から、発信履歴 不在着信 着信履歴 を選ぶ

ハンズフリー通話の設定をする

1 ハンズフリー画面（P.132）から、設定を選ぶ

2 各項目を設定する

[太字：お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
機器選択	ハンズフリー接続・BLUETOOTH Audio接続する機器を選択する（P.31）
携帯電話データの自動同期	<p>「ON」：スマートフォンがハンズフリー接続されたとき、その時点の電話帳と発着信履歴の情報を自動的に本機に転送する</p> <p>「OFF」：スマートフォンがハンズフリー接続されても、電話帳と発着信履歴の情報を本機に転送しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「OFF」にすると、本機に転送された電話帳と発着信履歴の情報が消去されます。また、ハンズフリー画面の「履歴」「電話帳」を選択できなくなります。 ●「OFF」から「ON」にした時点の電話帳と発着信履歴の情報がスマートフォンから本機に転送されます。（スマートフォン側で転送許可が必要な場合があります。）

NaviConを利用する

「NaviCon」とは

NaviConは多彩な連携アプリで探した行き先をワンタッチで本機に転送し、目的地に設定できるおでかけサポートアプリです。



- アプリの入手方法や対応スマートフォンなど、詳細は下記サイトをご覧ください。
NaviConサポートサイト: <https://navicon.com/>

準備

- アプリ「NaviCon」をスマートフォンにインストールしてください。（無料）
- スマートフォンを本機にBLUETOOTH機器登録し、ハンズフリー接続してください。（P.30）

お知らせ

- ご利用時には通信費用がかかります。
- iPod または iPhone をP.116のようにケーブルで接続している場合は、iPhone では NaviConを利用できません。iPod または iPhone を取り外してください。

「NaviCon」で検索した地点を本機に送信する

スマートフォンで「NaviCon」から地点を検索し、目的地として本機に送信する

- 本機で地点情報を受信し、現在地から受信した地点までのルートが探索されます。
ルート探索が完了すると、全ルート図が表示されます。（P.63）

■「NaviCon」のルート探索について

- ルートが設定されている場合は、前のルートは消去されます。
- スマートフォンから受信した地点は、本機の検索履歴（P.59）に保存されます。
登録地（P.72）には保存されません。

「NaviCon」で本機の地図の位置を変更する

1 本機の現在地画面または地図モード画面を表示させる

2 スマートフォンで「NaviCon」の地図をスクロールする

- 「NaviCon」でスクロールさせた地点の地図が、本機の地図画面に表示されます。

「NaviCon」で本機の地図の縮尺を変更する

1 本機の現在地画面または地図モード画面を表示させる

2 スマートフォンで「NaviCon」の地図の縮尺を変更する

- 本機の地図の縮尺が、「NaviCon」で変更した縮尺に切り替わります。

■「NaviCon」での地図操作（位置・縮尺の変更）について

- 縮尺は、30 m / 37.5 m / 50 m / 100 m / 200 m / 500 m / 1 km / 2.5 km / 5 km / 10 km / 25 km / 100 km / 250 km のいずれかに切り替わります。
- 「NaviCon」で250 kmよりも広域な縮尺に切り替えた場合、本機の地図は250 km縮尺に切り替わります。30 mよりも詳細な縮尺に切り替えた場合、本機の地図は30 m縮尺に切り替わります。

スマートフォンをリモコンとして使う (CarAV remote S)

「CarAV remote S」とは

CarAV remote S は当社が提供するスマートフォンアプリです。スマートフォンで本機のオーディオ機能を操作できます。

- 詳細は下記サイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/car/navi/caravremoteS/>

アプリの
ダウンロードは
こちらから



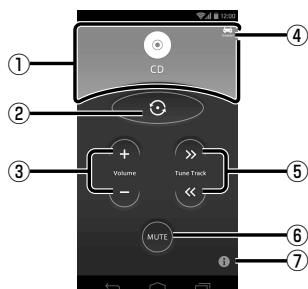
準備

- アプリ「CarAV remote S」をスマートフォンにインストールしてください。(無料)
- スマートフォンを本機にBLUETOOTH機器登録し、ハンズフリー接続してください。(P.30)

お知らせ

- iPod または iPhone をP.116のようにケーブルで接続している場合は、iPhone では CarAV remote Sを利用できません。iPod または iPhone を取り外してください。

■ CarAV remote S 操作画面



オーディオのソースを選ぶ

オーディオ表示部
右から左にフリックする

または

②をタッチする

- 操作するごとに、オーディオのソースが切り替わります。切り替わりかたは、ステアリングオーディオスイッチの MODE を操作したときと同じです。(P.84)

音量を調整する

- + - をタッチする ● +: 大きくなる
● -: 小さくなる

オーディオの音声を消音する(ミュート)

MUTEをタッチする

- 再度タッチすると、解除されます。

頭出し / 選局

- » « をタッチする ● »: 送り方向
● «: 戻し方向
- FM AMで「ピッ」と音が鳴るまでタッチし続けると、シーク選局します。

早送り・早戻し

- » « をタッチし続ける ● »: 送り方向
● «: 戻し方向
- 離すと通常の再生に戻ります。

お知らせ

- MEMORY MUSIC USB SD では、早送り・早戻できません。約0.5秒以上タッチすると、アルバム・フォルダが切り替わります。

その他の機能

138

車両メンテナンスの通知を設定する.....	138
本機の情報を確認する.....	139
製造番号・バージョン・更新期限などを確認する.....	139
端末情報を確認する.....	139
無料地図更新について(ダウンロード更新).....	140
本機のデータを更新する.....	141
データ更新時の留意点.....	141
パソコン(SDカード)でソフトウェアを更新する.....	141
パソコン(SDカード)で地図を更新する.....	142
GracenoteデータベースをSDカードで更新する.....	143

144

外部機器・連携	144
ETC車載器/ETC2.0車載器と接続して使う.....	144
ETCについて.....	144
ETC2.0について.....	144
料金履歴を見る.....	145
ETC管理情報を見る.....	145
カメラと組み合わせる.....	146
カメラ使用時の留意点.....	146
全方位モニター.....	146
セレクトビューバックアイカメラ.....	146
バックアイカメラ.....	146
カメラ映像の画質を調整する.....	146
ナビ連動ドライブレコーダーと組み合わせる.....	147
常時録画(動画).....	147
駐車録画(動画).....	148
監視録画(動画).....	148
後方検知録画(動画).....	149
手動録画・静止画撮影.....	149
ドライブレコーダーの基本操作.....	150
ドライブレコーダーのカメラの映像を見る.....	150
手動で動画を録画する.....	151
手動で静止画を撮影する.....	151
ドライブレコーダーの設定をする.....	152
動画・静止画を再生する.....	154
後席用のモニターで本機の映像を見る.....	156
車両連携.....	157
ヘッドアップディスプレイとの連携.....	157
緊急通報サービスとの連携.....	157

利用に応じた設定に変える	158
地図表示に関する設定	158
ルート探索に関する設定	158
ルート案内に関する設定	159
渋滞情報案内(VICS)に関する設定	160
ETC情報の案内に関する設定	160
本機のシステムに関する設定・確認	161
各種設定をお買い上げ時の状態に戻す	162

困ったとき

故障かな!?と思ったら	163
よくあるお問い合わせ	163
● 電源・共通	164
● ナビゲーション	166
● オーディオ[TV]	167
● オーディオ[FM][AM]	168
● オーディオ[DVD]	168
● オーディオ[MP3/WMA(CD-R/CD-RW)]/[SD]/[USB]	169
● オーディオ[MEMORY MUSIC]	170
● オーディオ[iPod]	170
● BLUETOOTH	171
● Wi-Fi	174
● ドライブレコーダー	175
● ソフトウェア・地図更新	175
● こんなメッセージが出たときは	175

必要なとき

文字入力のしかた	180
ディスクについて	182
DVD言語コード一覧表	185
SDカード・USBメモリーについて	186
データ作成時の留意点	187
無線通信について	192
テレビ・ラジオの受信について	194
ナビゲーションシステムとは	195
VICSについて	198
地図ソフトについて	200
地図上に表示される主なマーク	201
さくいん	202
仕様	208
商標・ライセンスなど	210
ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて	212
保証とアフターサービス	213
ステアリングオーディオスイッチの操作について	214

車両メンテナンスの通知を設定する

GPSからの日付情報と車速信号を使用して車のエンジンオイルや消耗部品の交換時期などを通知します。

1 システム情報・設定メニュー(P.19)から、メンテナンス通知設定を選ぶ

2 通知する項目のONを選ぶ

- 設定項目 [お買い上げ時の設定: OFF]
 - ・車検
 - ・定期点検
 - ・エンジンオイル交換
 - ・エンジンオイルフィルター交換
 - ・エアレメント交換
 - ・エアコンフィルター交換
 - ・発炎筒交換
 - ・パンク修理剤交換
 - ・カスタマイズ1~3
- すでに条件が設定済みの場合は、変更したい項目の▶を選んでください。
- OFF▶はいを選ぶと、設定が解除されます。

■ メンテナンス通知設定画面



3 通知する条件を選ぶ

- 日付で設定: 設定した日付になると通知する
- 距離で設定: 設定した時点以降に設定した距離を走行すると通知する

4 通知する日付または距離を設定して

決定を選ぶ

- 距離の設定範囲:
500 km~20 000 km(500 kmステップ)
- カスタマイズ1~3を設定する場合は、
名称を変更できます。
・全角12文字(半角24文字)まで
・文字入力のしかた→P.180



メンテナンスの通知について

■ 日付で設定した場合

設定した日付の1か月前以降の初回起動時に一度だけ通知されます。

設定した日付以降は、毎日初回起動時に通知されます。

■ 距離で設定した場合

設定した距離まであと500 km以下になると、初回起動時に一度だけ通知されます。

設定した距離以上走行すると、毎日初回起動時に通知されます。

■ メンテナンス通知(例: 車検)



メンテナンス通知を閉じる

お知らせ

- 通知するメンテナンス時期はあくまでも目安です。実際にメンテナンスが必要な時期は車の使用状況によって異なる場合があります。
- メンテナンス通知で計測される走行距離と実際の走行距離は異なる場合があります。
- 毎日初回起動時にメンテナンス通知されるのを止めるには、設定を解除するか、条件の日付または距離を変更してください。

本機の情報を確認する

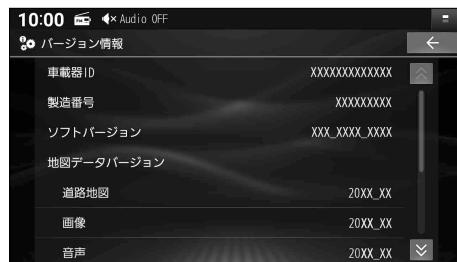
製造番号・バージョン・更新期限などを確認する

本機の車載器ID・製造番号や、各種ソフトウェアのバージョンを確認できます。

1 システム情報・設定メニュー(P. 19)から、バージョン情報を選ぶ

2 各種情報を確認する

- 車載器ID
- 製造番号
- ソフトバージョン
- 地図データバージョン
 - ・道路地図: 道路地図データ
 - ・画像: 案内画像データ
 - ・音声: 音声案内データ
 - ・索引: 索引データ(地点検索)
 - ・市街図: 市街地図データ
- 地図更新期限
- Gracenoteデータベース
- ドライブレコーダーバージョン



端末情報を確認する

本機の端末情報を確認できます。

1 システム情報・設定メニュー(P. 19)から、端末情報を選ぶ

2 端末情報を確認する

- 端末の状態
 - ・IPアドレス
 - ・Wi-Fi MACアドレス
 - ・稼働時間
 - ・位置情報
- 法的情報: 各種ライセンス情報など
- モデル番号: 本機の機種品番
- Androidバージョン
- カーネルバージョン
- ビルド番号



無料地図更新について(ダウンロード更新)

ダウンロード更新を選択した場合は、パソコンを使用してお客様ご自身で地図データをダウンロードする更新を最長5年間ご利用いただけます。詳しくは、別添のチラシおよびWebサイトをご覧ください。 <https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

※インターネットを利用できる環境などが必要です。通信費用はお客様のご負担となります。

- 「SDカードの送付」をご希望の場合は、別添のチラシをご覧ください。
- データ更新の手順については、P. 142、143をご覧ください。
- 年度更新版地図の販売については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

■対応パソコン(OS)

Windows® 11

- Microsoft® .NET Framework 4.8のインストールが必要です。
- SD規格に準拠した16 GB以上のSDカードが必要です。
- 専用のアプリ「地図更新アプリ2」が必要です。Webサイトからダウンロードして、インストールしてください。 <https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

※「地図更新アプリ」は、本製品ではご使用になれません。

■お申し込み方法

専用アプリ経由でナビcafeにユーザー登録をする際に、お申し込みください。

- ユーザー登録および無料地図更新サービスのお申し込みは、パソコンから1回行えば完了します。以降は、登録したアカウント情報を使用してパソコンからナビcafeおよび無料地図更新サービスを利用できます。

■申込受付期限: 本製品の使用開始日から最大5年後まで

- 使用開始日の判定は自動的に行われ、無料地図更新期限が設定されます。
お申し込みが遅くなると、ご利用いただける期間が短くなりますのでご注意ください。

■利用可能期間: 本製品の使用開始日から最大5年間

- お申込み日から5年間ではありません。
使用開始日から5年未満でも、データ提供期限にて終了いたします。
(無料地図更新期限を確認するには→P. 139)
- 更新データの配信予定期について、Webサイトをご覧ください。(配信は延期・中止される場合があります)
 - ・部分地図更新: 期間中 最大30回(年6回)可能
(更新データの配信は、道路* 2か月毎/索引4か月毎) *逆走検知は4か月毎
 - ・全地図更新: 期間中 最大2回可能
(更新データの配信は、年1回)

○ 更新されます × 更新されません

内容	方法	全地図更新	部分地図更新
道路地図(縮尺50 m ~ 250 km、細街路含む)※逆走検知データを含む	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
案内画像(3D交差点・ジャンクションビュー・方面看板など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
音声案内	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
索引(地点検索: 施設情報・電話番号情報など)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	
市街地図	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	

本機のデータを更新する

データ更新時の留意点

- 車のバッテリーがあがるおそれがあるため、必ずエンジンをかけた状態で更新作業を行ってください。また、アイドリングストップ搭載車の場合、作業前にアイドリングストップ機能をOFFにしてください。
- 更新データ書き込み中は、絶対に車のエンジンを止めないでください。故障の原因となります。

パソコン（SDカード）でソフトウェアを更新する

詳しくは、Web サイトをご覧ください。 <https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

1 パソコンでWebサイトから更新データ（zipファイル）をダウンロードする

2 ダウンロードしたデータを解凍し、SDカードに保存する

- 解凍してできたフォルダのまま、SDカードのルートフォルダに保存してください。

3 更新データを保存したSDカードを本機に挿入する（P.110）

- SDカードの書き込み禁止スイッチは、解除したまま挿入してください。
- ステータスバーに  が表示されます。

4 システム情報・設定メニュー（P.19）から、

ソフトウェア・地図 更新 ▶ 更新 ▶ はい ▶ 更新するを選ぶ

- 更新を開始します。更新中は、本機を操作できません。
- 途中で黒い画面が約1分～2分間表示されたり、何度も再起動する場合があります。

5 更新完了のメッセージが表示されたら、**OK**を選ぶ

無料地図更新について(ダウンロード更新)

パソコン(SDカード)で地図を更新する

詳しくは、Webサイトをご覧ください。<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

本機で更新用SDカードを作成する

- SD規格に準拠した16GB以上のSDカードを用意して、パソコンで「SDメモリカードフォーマッター」を用いて初期化してください。(P.186)
- 屋外など見晴らしの良い場所で、GPSを受信している状態で行ってください。GPS信号を受信できない場所では作成できません。

1 使用するSDカードを本機に挿入する(P.110)

- SDカードの書き込み禁止スイッチは、解除したまま挿入してください。

2 システム情報・設定メニュー(P.19)から、

ソフトウェア・地図更新▶更新用SDカード作成を選ぶ

3 表示されるメッセージに従って、[はい]を選ぶ

4 更新用SDカードの作成が完了したら、[OK]を選ぶ

5 更新用SDカードを本機から取り出す(P.110)

パソコンで地図データをダウンロードして更新する

1 作成した更新用SDカードをパソコンに挿入する

2 パソコンで「地図更新アプリ2」を起動し、ログインする

3 「地図更新アプリ2」で更新データをダウンロードし、更新用SDカードに保存する

4 更新用SDカードをパソコンから取り出し、本機に挿入する(P.110)

- SDカードの書き込み禁止スイッチは、解除したまま挿入してください。
- ステータスバーに  が表示されます。

5 システム情報・設定メニュー(P.19)から、

ソフトウェア・地図更新▶更新▶[はい]▶[更新する]を選ぶ

- 更新を開始します。更新中は、本機を操作できません。

- 更新中に再起動する場合があります。

6 更新完了のメッセージが表示されたら、[OK]を選ぶ

Gracenote データベースを SD カードで更新する

音楽CDやMEMORY MUSICのアルバムや曲に付与するタイトルの更新データをWebサイトからダウンロードし、更新します。

詳しくは、Webサイトをご覧ください。 <https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

1 パソコンでWebサイトから更新データ(zipファイル)をダウンロードする

2 ダウンロードしたデータを解凍し、SDカードに保存する

- 解凍してできたフォルダのまま、SDカードのルートフォルダに保存してください。

3 更新データを保存したSDカードを本機に挿入する(P.110)

- SDカードの書き込み禁止スイッチは、解除したまま挿入してください。

4 システム情報・設定メニュー(P.19)から、

Gracenoteデータベース更新 ▶ **はい** ▶ **はい** を選ぶ

- 更新を開始します。更新中は、本機を操作できません。

5 更新が完了したら、**OK**を選ぶ

タイトルに反映させるには、「データベース再探索」を行ってください。(P.108)

ETC車載器/ETC2.0車載器と接続して使う

接続する機器の説明書もよくお読みください。

ETCについて

ETC車載器/ETC2.0車載器を接続すると、車載器からの情報に連動して、本機から料金案内や、料金所で支払った料金の履歴を見ることができます。

- ETCカードまたはETC一体型クレジットカードをご使用ください。それ以外のカードを挿入すると、「ETCカードを確認してください。」と音声案内されます。

お知らせ

- 新しく設置されたETC料金所などでは、ETC拡大図が表示されない場合があります。そのときは、音声案内のみ行います。
- ETCゲートを通過してすぐに右左折するルートを通る場合などは、料金の音声案内を中断し、ルート音声案内を行う場合があります。
- 万一、利用できない場合は、「ETCを利用できません。」と音声案内されます。料金所に進入している場合、停車して料金所の係員の指示に従ってください。
- 表示金額は、割引などにより実際に請求される金額とは異なる場合があります。
- ETCカードの有効期限が近いまたは有効期限切れの場合、音声と画面表示でお知らせします。
- カードの有効期限は必ずカードを直接ご確認ください。
- 有効期限の案内は、ETCカードを挿入する、または挿入した状態で車のエンジンをかける(ACCをONにする)と行われます。

ETC2.0について

ETC2.0車載器を接続すると、VICSの情報提供サービスを受けることができます。

VICS情報提供サービス(ETC2.0)

ITSスポット(道路に設置される路側無線装置)よりETC2.0サービス(電波ビーコン 5.8 GHz)のVICS情報を受信し、ナビゲーションで活用できます。(P.78)

- 高速道路ではドライブ中の注意を促すため、落下物情報、渋滞末尾情報、前方静止画像情報などを案内します。(P. 78)
- 広域な道路交通情報や安全運転支援情報の内容を画像や簡易図形などでわかりやすく表示したり、音声で通知したりします。(P. 78)
- 県境を越える広域の渋滞・規制情報^{*1}を考慮したルート探索ができます。

* 1 走行する道路により情報の提供範囲が異なります。

ETC2.0アップリンク

ETC2.0車載器に関する情報やナビゲーションで収集した情報(走行位置情報など)をITSスポットへ送信することをいいます。送信された情報は、道路交通情報の提供などに活用されます。

- 走行開始/終了地点など、個人情報に関わる情報は収集されません。
- アップリンクについては、ETC2.0車載器の説明書もご覧ください。
- ETC2.0アップリンクする/しないの設定ができます。(P. 160)

料金履歴を見る

- 1 ナビ情報・設定メニュー(P. 19)から
ETC情報を選ぶ

- 2 **ETC履歴**を選ぶ

- ETCの料金履歴が、新しい順に100件まで表示されます。
- 100件を超えると古い順に削除されます。
- 件数が多いと、表示に時間がかかります。

お願い

- 料金所付近では、料金履歴を確認しないでください。**ETC履歴**を選んでETC履歴画面(上記)が表示されるまでは、ETC車載器/ETC2.0車載器は路側アンテナと通信できません。料金所で開閉バーが開かず、事故の原因となります。

ETC履歴 100件		
20XX年11月02日	13時03分	利用料金: 6,690円
神田橋	～ 伊那	
20XX年11月03日	10時31分	利用料金: 6,690円
伊那	～ 神田橋	
20XX年11月13日	11時20分	利用料金: 6,930円
神田橋	～ 二本松	
20XX年11月20日	10時35分	利用料金: 15,600円
宝町	～ 青森中央	
20XX年11月22日	15時31分	利用料金: 15,600円

ETC管理情報を見る

- 1 ナビ情報・設定メニュー(P. 19)から
ETC情報を選ぶ

- 2 **ETC管理情報**を選ぶ

- ETC管理情報が表示されます。

ETC管理情報	
車載器管理番号	***** * / **
型式登録番号	***** * / **

カメラと組み合わせる

車に装着されているカメラによって、映し出せる映像が異なります。
詳しくは、車両のオーナーズマニュアルまたはカメラの説明書をご覧ください。

※ カメラによっては、本書の説明どおりに操作できない場合があります。
ガイド線については、カメラ側の説明書をご覧ください。

カメラ使用時の留意点

- カメラは、運転者の注意義務を軽減するものではありません。運転の補助としてご使用ください。
- カメラには死角（映らない部分）があります。また、カメラの映像は実際の形状とは異なって表示されます。後方・前方および周囲の安全は、必ず目視で確認してください。

全方位モニター

OPT は、カメラ側の説明書にある
「カメラスイッチ」と同じ機能です。

後方の映像に切り替える

1 車のセレクトレバーを 「R(リバース)」に入れる

- カメラの映像が表示されます。

2 画面上の映像切り替えボタンを押す

- 押すごとに、表示が切り替わります。
- 車種によっては OPT を押して切り替える場合もあります。

前方の映像に切り替える

1 車のセレクトレバーが「R(リバース)」 以外のときに、OPT を押す

- カメラの映像が表示されます。

2 画面上の映像切り替えボタンを押す

- 車種によっては OPT を押して切り替える場合もあります。

■ 元の画面に戻すには

AUDIO / MENU / MAP のいずれかを押す

お知らせ

- 「リバース時のオーディオ音量ダウン」が「ON」に設定されている場合、セレクトレバーを R(リバース)に入れると、オーディオの音量が下がります。(P.25)
- 全方位モニターのカメラ映像が表示されるまで時間がかかることがあります。
- （車のセレクトレバーが「R(リバース)」のときに車のACCをOFFにして再びONにした場合など）
- 次のメッセージが表示された場合には、お買い上げの販売店に車両信号とカメラ設定の確認をご依頼ください。「車両信号設定、カメラ設定に誤りがある可能性があります。もしくは車両信号の受信ができません。」

セレクトビューバックアイカメラ

OPT は、カメラ側の説明書にある
「ビュースイッチ」と同じ機能です。

1 車のセレクトレバーを 「R(リバース)」に入れる

- カメラの映像が表示されます。

2 OPT を押す

- 押すごとに、表示が切り替わります。

バックアイカメラ

車のセレクトレバーを 「R(リバース)」に入れる

- カメラの映像が表示されます。

カメラ映像の画質を調整する

1 カメラ映像に切り替える

2 画面調整(画質調整)画面が表示 されるまで MAP を約2秒以上押す

3 画質を調整する (P.127)

※ 全方位モニターは調整の手順が異なる場合があります。
車両のオーナーズマニュアルも併せてご確認ください。

ナビ連動ドライブレコーダーと組み合わせる

接続する機器の説明書もよくお読みください。

ナビ連動ドライブレコーダーを接続すると、ドライブレコーダーで録画したファイルの再生や各種設定などを本機で行うことができます。

詳しくは、接続したドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

- 記録ファイルはドライブレコーダーのmicroSDカードに保存されます。

●本章では、ドライブレコーダーの機種ごとに仕様が異なる場合は、下記のアイコンで区分しています。

3 CH : ナビ連動ドライブレコーダー(前方・後方・車内録画タイプ)

2 CH : ナビ連動ドライブレコーダー(前方・後方録画タイプ)

1 CH : ナビ連動ドライブレコーダー(前方録画タイプ)

事故が起きたときは

記録された録画データが上書きされないように、必ずmicroSDカードを取り出してください。

※取り出すときは、必ず車のエンジンを止めて(ACC OFF)、LEDランプが消灯した状態をご確認ください。

常時録画（動画）

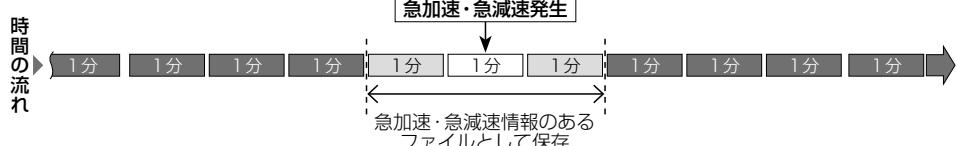
ドライブレコーダーの電源が入ると自動的に録画を開始し、一定時間ごとに記録ファイルをmicroSDカードへ保存します。

- 常時録画ファイルはmicroSDカードの空き容量がなくなると古い順に自動削除され、繰り返し保存し続けます。
- 残しておきたい記録ファイルは、保存フォルダへ移動させてください。(P. 154)

常時録画中に急加速・急減速を検知すると

急加速・急減速の検知の前後に録画された記録ファイルが、急加速・急減速情報のあるファイルとして記録されます。

- 通常は自動削除されませんが、ファイル数が上限に達すると古い順に自動削除されます。ファイル数の上限については、ドライブレコーダーの取扱説明書をご覧ください。



カメラと組み合わせる

駐車録画 (動画)

エンジンを止めて駐車しているときに車両に他の車が当たったり、いたずらなどの振動を検知すると、自動で録画を開始します。

- 「駐車録画」を「ON」に設定してください。(P. 152)
- **2 CH** リヤカメラを接続している場合は、後方の映像も駐車録画に記録されます。
- **3 CH** リヤカメラ、車内カメラを接続している場合は、後方・車内の映像も駐車録画に記録されます。

お知らせ

- 「駐車録画」が「する」(ON)に設定されている場合、ドライブレコーダーは車のエンジンを止めた状態でも微量の電力を消費します。バッテリーの消耗にご注意ください。また、バッテリー保護のため、バッテリー電圧が低い状態では、「駐車録画」の機能を自動的に停止する場合があります。
- 「駐車録画の無効時間」が短い場合、車のエンジンを止めてから降車、荷物の出し入れ、車種によってはグローブボックスの開閉などを行うと、振動を検知して録画が開始される場合があります。そのときは、「駐車録画の無効時間」を長めに設定してください。
(「駐車録画の無効時間」の間は、振動を検知しても録画を開始しません。)

■ 駐車中に駐車録画があったときは

車のエンジンをかけたとき、駐車録画があつたことをお知らせする画面が表示されます。
[駐車録画のお知らせを「する」(ON)に設定した場合](P. 152)

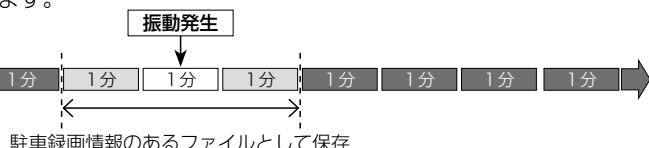
監視録画 (動画) 3 CH

エンジンを止めたあともしばらくの間、録画を継続します。

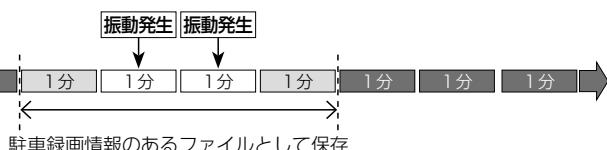
- 「監視録画」を「ON」に設定してください。(P. 153)
- 監視録画をする時間を設定できます。(P. 153)
- エンジンをかけると、設定時間が残っていても監視録画を終了します。
- リヤカメラ、車内カメラを接続している場合は、後方・車内の映像も監視録画に記録されます。

監視録画中に振動を検知すると

監視録画中に車両に他の車が当たったり、いたずらなどの振動を検知すると、駐車録画情報のあるファイルとして記録されます。



■ 振動を連続で検知した場合



お知らせ

- 「監視録画」が「する」(ON)に設定されている場合、ドライブレコーダーは車のエンジンを止めた状態でも微量の電力を消費します。バッテリーの消耗にご注意ください。また、バッテリー保護のため、バッテリー電圧が低い状態では、「監視録画」の機能を自動的に停止する場合があります。

後方検知録画（動画）3CH

走行中に後続車の異常な接近を検知すると、後方検知の前後に録画された記録ファイルが後方検知録画情報のあるファイルとして記録されます。

●「後方検知」を「ON」に設定してください。(P. 153)

●「ドライブレコーダリヤカメラ録画」が「しない」に設定されていると、検知できません。

●開始直前の1ファイルから

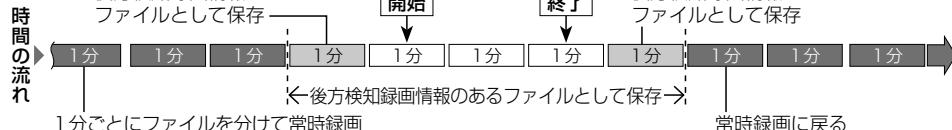
後方検知録画情報のある
ファイルとして保存

開始

終了

●終了後から1ファイルまで

後方検知録画情報のある
ファイルとして保存



お知らせ

●検知が頻発する場合は、「後方検知速度」を速めに、「後方検知距離」を近めに設定すると、検知の頻度を下げることができます。

●検知の対象は自動車のみです。人・自転車・オートバイなどは検知できません。

●次のような場合には、動作しないまたは誤動作する場合があります。

- ・悪天候や逆光により後方の視界が不明瞭
- ・レンズの汚れやガラスへ映り込みにより、後方の映像を鮮明に撮影できない
- ・舗装の劣化や雪や雨などの悪天候により、車線が正しく認識できない

- ・センターラインの無い道路を走行している
- ・後続車の色や周囲の光の加減により、後続車が認識できない
- ・急カーブを走行している
- ・信号待ちや、渋滞の中を走行している

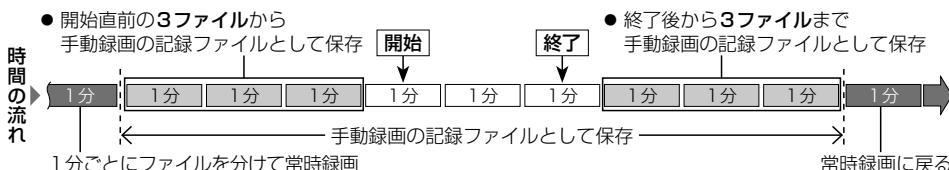
手動録画・静止画撮影

本機のタッチ操作でドライブレコーダーの動画を録画・静止画を撮影できます。(P. 151)

●用途に応じて、「ダイレクトボタン設定」をしてください。(P. 161)

2CH 「ドライブレコーダリヤカメラ録画」が「する」に設定されている場合

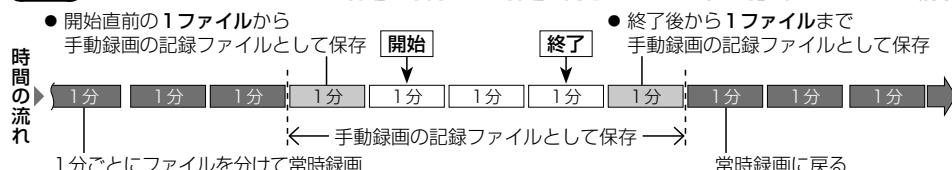
3CH 「ドライブレコーダリヤカメラ録画」、「車内カメラ録画」のいずれか、または両方が「する(ON)」に設定されている場合



1CH

2CH 「ドライブレコーダリヤカメラ録画」が「しない」に設定されている場合

3CH 「ドライブレコーダリヤカメラ録画」、「車内カメラ録画」が両方とも「しない(OFF)」に設定されている場合



ドライブレコーダーの基本操作

トップメニュー(P.18)または全機能一覧(P.20)からドライブレコーダーを選ぶ

- ドライブレコーダー画面が表示されます。



- ① ドライブレコーダー再生リストを表示 (P.154)
- ② ドライブレコーダーのカメラ映像を表示 (下記)
- ③ ドライブレコーダー設定画面を表示 (P.152)

お知らせ

- ドライブレコーダーの設定や記録ファイルの再生を行っているときは、録画を停止します。車を発進させると設定や再生を終了し、常時録画を再開します。

ドライブレコーダーのカメラの映像を見る

1 ドライブレコーダー画面から カメラモニターを選ぶ

- ドライブレコーダーのカメラの映像が表示されます。



2 ドライブレコーダーの映像を確認する

3 CH 2 CH

- 切替：複数のカメラが接続されている場合は、選ぶごとに下記のように切り替わります。



- 映像が正しく表示されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



* 1 3 CH のみ

お知らせ

- 本機に表示されるドライブレコーダーのカメラ映像と記録ファイルは、画質や色味が異なります。
- ドライブレコーダーのカメラ映像は画質を調整できます。(P.127)

手動で動画を録画する

手動で動画を録画すると、常時録画で保存されている記録ファイルが手動録画の記録ファイルに置き替えられます。手動録画の記録ファイルは自動削除されません。

- **3 CH** リヤカメラ、車内カメラを接続している場合は、後方・車内の映像も手動録画に記録されます。
- **2 CH** リヤカメラを接続している場合は、後方の映像も手動録画に記録されます。

準備

- ダイレクトボタン設定を「ドライブレコーダー動画録画」に設定してください。(P. 161)

現在地画面で■をタッチする

- 動画の録画を開始します。
- 2分後に手動録画を終了し、常時録画に切り替わります。



手動で録画を終了させるには

現在地画面で□をタッチする

- 動画の録画を終了します。



手動で静止画を撮影する

- **3 CH** リヤカメラ、車内カメラを接続している場合は、後方・車内の映像も静止画に記録されます。
- **2 CH** リヤカメラを接続している場合は、後方の映像も静止画に記録されます。

準備

- ダイレクトボタン設定を「ドライブレコーダー静止画撮影」に設定してください。(P. 161)

現在地画面で○をタッチする

- タッチした瞬間の静止画が撮影されます。



カメラと組み合わせる

ドライブレコーダーの設定をする

1 システム情報・設定メニュー(P.19)から「ドライブレコーダー設定」を選ぶ

- 録画を停止し、ドライブレコーダー設定画面が表示されます。
- ドライブレコーダー画面から「ドライブレコーダー設定」を選んでも、設定できます。

2 各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
ドライブレコーダー接続設定	<p>※通常はこの操作は必要ありません。取付店が行います。</p> <p>「ON」: ドライブレコーダーとの接続を有効にする 「OFF」: ドライブレコーダーとの接続を無効にする</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ドライブレコーダーを接続している場合は「ON」に設定してください。 ● 本機をお買い上げ時の状態に戻す操作*を行っても設定は変わりません。
画質	<p>「高画質」: 高画質で記録する 「標準」: 標準画質で記録する</p>
音声録音	<p>「ON」: 動画に音声も録音する 「OFF」: 動画に音声を録音しない(映像のみ)</p>
再生一覧表示	<p>「古い順」: ドライブレコーダー再生リストの記録ファイルを古い順に表示する 「新しい順」: ドライブレコーダー再生リストの記録ファイルを新しい順に表示する</p>
イベント情報表示	<p>動画再生画面の動画情報(P.155)に表示させたいイベント(急加速・急減速・駐車録画、事故多発地点、合流地点、急カーブ、監視録画 3CH、後方検知 3CH)のチェックボックスをONにする</p> <ul style="list-style-type: none"> ● お買い上げ時は、すべての項目を表示するよう設定されています。
急加速・急減速の感度	[-/+] で、急加速・急減速の測定感度を調整する [調整範囲: 1(低感度)~3~5(高感度)]
急加速・急減速の感知音	<p>「ON」: 急加速・急減速を感知すると、ブザーを鳴らす 「OFF」: 急加速・急減速を感知しても、ブザーを鳴らさない</p>
起動音	<p>「ON」: ドライブレコーダーの電源が入ると、ブザーを鳴らす 「OFF」: ドライブレコーダーの電源が入っても、ブザーを鳴らさない</p>
センサー調整する	<p>※通常はこの操作は必要ありません。取付店が行います。</p> <p>調整する: ドライブレコーダーの加速度センサーを最適化する</p>
SDカードを初期化する	<p>SDカードを初期化する: ドライブレコーダーで使用しているmicroSDカードを初期化する</p> <ul style="list-style-type: none"> ● microSDカードに記録ファイル以外のファイルが収録されている場合は、初期化するとそのファイルも消去されます。 ● microSDカードの初期化を促すメッセージが表示されたときや、microSDカード内のファイルが再生できないとき、microSDカードを交換したときなどに行ってください。
設定を初期化する	<p>設定を初期化する▶[はい]: ドライブレコーダーの設定をお買い上げ時の状態に戻す(ドライブレコーダー接続設定を除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 録画・撮影された記録ファイルは消去されません。
駐車録画	<p>「ON」: 駐車中に振動を感じると、自動で録画する 「OFF」: 駐車中、録画しない</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 3CH リヤカメラ、車内カメラを接続している場合は、後方・車内の映像も駐車録画に記録されます。 ● 2CH リヤカメラを接続している場合は、後方の映像も駐車録画に記録されます。
駐車録画のお知らせ	<p>「ON」: ACC ON後に駐車録画があったことを、メッセージ表示でお知らせする 「OFF」: メッセージ表示をしない</p>

項目	設定内容
駐車録画の感度	[-/+]で、振動を感じる感度を調整する [調整範囲: 1(低感度)~3~5(高感度)]
駐車録画の時間	駐車録画の記録時間を設定する [調整範囲: 10秒/30秒/1分]
駐車録画の無効時間	駐車録画モードになるまでの時間を設定する [調整範囲: 1分/3分/5分]
警告音量	ドライブレコーダーの音量を設定する [調整範囲: 1~3~5]
ドライブレコーダー リヤカメラ録画 ★ 3 CH 2 CH	<p>※通常はこの操作は必要ありません。取付店が行います。</p> <p>「する」: 後方録画用のカメラがある場合に選択する 「しない」: 後方録画用のカメラが無い場合に選択する</p> <p>●本機をお買い上げ時の状態に戻す操作*を行った場合は接続したドライブレコーダーに応じて設定しなおしてください。</p>
車内カメラ録画 ★ 3 CH	<p>※通常はこの操作は必要ありません。取付店が行います。</p> <p>「ON」: 車内録画用のカメラがある場合に選択する 「OFF」: 車内録画用のカメラが無い場合に選択する</p> <p>●本機をお買い上げ時の状態に戻す操作*を行った場合は接続したドライブレコーダーに応じて設定しなおしてください。</p>
監視録画 3 CH	<p>「ON」: 車のエンジンを止めたあと、一定の時間録画する 「OFF」: 監視録画しない</p> <p>●リヤカメラ、車内カメラを接続している場合は、後方・車内の映像も監視録画に記録されます。</p>
監視録画の時間 3 CH	監視録画する時間を設定する [調整範囲: 30分/60分/90分]
後方検知 3 CH	<p>「ON」: 後方から車両が接近したときに録画する 「OFF」: 後方検知録画をしない</p>
後方検知のお知らせ 3 CH	<p>「ON」: 後方検知時に後方注意の表示をする 「OFF」: 後方検知時に後方注意の表示をしない</p>
後方検知速度 3 CH	後方検知録画が動作する速度を設定する [調整範囲: 40 km/h/60 km/h/80 km/h] ●設定した速度以上の速度で走行すると、車両接近時に後方検知録画されます。
後方検知距離 3 CH	[-/+]で、後方検知録画する車間距離を調整する [調整範囲: 1(近い)~3~5(遠い)]

お知らせ

●本機をお買い上げ時の状態に戻す操作*を行った場合は

接続したドライブレコーダーに応じて「★印」の項目を必ず設定しなおしてください。

3 CH ★ ドライブレコーダーリヤカメラ録画「する」 ★車内カメラ録画「ON」

2 CH ★ ドライブレコーダーリヤカメラ録画「する」

*「設定を初期化する」(P. 152)および「出荷状態に戻す」(P. 162)

動画・静止画を再生する

走行中は再生できません。

安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけてご覧ください。

ドライブレコーダー画面 (P. 150) から再生を選ぶ

- 録画を停止し、ドライブレコーダー再生リストが表示されます。



① リスト表示を切替

- 動画 全表示: すべての動画を表示
- 動画 手動録画: 手動録画の動画のみを表示
- 静止画: すべての静止画を表示

② ファイルリスト

- ③ リスト内のすべてのファイルを消去

- ④ 選んだファイルを保存フォルダへ移動
- ⑤ 選んだファイルを再生する
- ⑥ ファイルの動画情報をマークで表示

④: 後方検知録画 **3 CH**

⑤: 手動録画

⑥: 駐車録画

④: 監視録画 **3 CH**

⑤: 急加速・急減速情報がある

⑥: 事故多発地点情報がある

⑤: 合流地点情報がある

⑥: 急カーブ情報がある

記録ファイルを選んで再生する

ドライブレコーダー再生リストからファイルを選び、再生を選ぶ

- 選んだファイルが再生されます。
- 動画・静止画の再生画面→P. 155

動画ファイルを保存する

常時録画ファイル/監視録画ファイルは古い順に自動削除されますが、保存ファイルとして保存することで、自動削除されなくなります。

ドライブレコーダー再生リストから動画ファイルを選び、

保存▶はい▶OKを選ぶ

- 保存ファイルとして保存されます。

ファイルを消去する

■ ファイルを選んで消去する

消去したいファイルを再生し、
動画/静止画再生画面 (P. 155) から

消去▶はいを選ぶ

- 選んだファイルが消去されます。

■ リスト内のファイルをすべて消去する

ドライブレコーダー再生リストから
消去したいリストを表示させ、

全消去▶はいを選ぶ

- リスト内のすべてのファイルが消去されます。

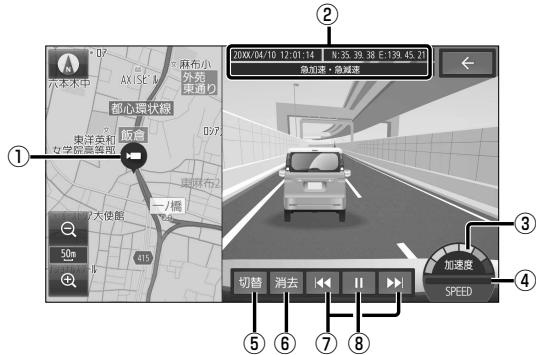
お知らせ

- ファイルを消去すると、動画/静止画は前方・後方 (**3 CH** **2 CH**)・車内 (**3 CH**) すべてが消去されます。個別に消去することはできません。

お知らせ

- 本機で再生される動画/静止画と記録ファイルは、画質や色味が異なります。
- 動画再生画面/静止画再生画面は画質を調整できます。(P.127)
「色合い」「色の濃さ」は、動画/静止画を全画面で表示しているときのみ調整できます。

動画再生画面



① 録画した地点

② 録画日時・位置情報・動画情報

③ 加速・減速メーター(6段階)

④ 速度メーター

⑤ 映像を切替

3 CH 前方/後方/車内

2 CH 前方/後方

⑥ 再生中のファイルを消去

⑦ 前/次のファイルに切替

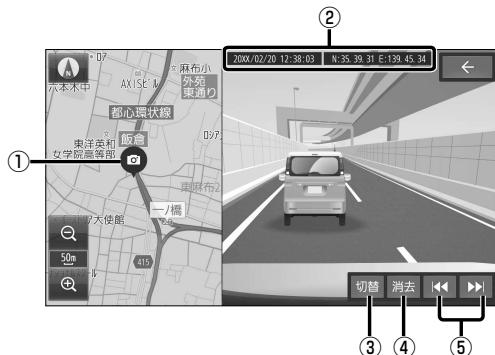
(タッチし続けると早戻し/早送り)

⑧ 再生/一時停止

お知らせ

- 動画画面(右画面)をタッチすると、全画面で動画を表示します。
再度タッチすると、元の画面に戻ります。
- ③・④は、録画地点のおおよその値をグラフ表示したものです。

静止画再生画面



① 撮影した地点

② 撮影日時・位置情報

③ 静止画を切替

3 CH 前方/後方/車内

2 CH 前方/後方

④ 再生中のファイルを消去

⑤ 前/次のファイルに切替

お知らせ

- 静止画画面(右画面)をタッチすると、全画面で静止画を表示します。
再度タッチすると、元の画面に戻ります。

後席用のモニターで本機の映像を見る

接続する機器の説明書もよくお読みください。

本機の映像[TV、DVD、SD(動画)、USB(動画)]を、後席用のモニターに表示できます。

準 備

- 後席用のモニターを、「VTR」(本機が接続されている入力モード)に切り替えてください。

オーディオのソースを切り替える (P.84)

- 本機および後席用のモニターに、選んだ映像が表示されます。
- MAP を押すと、後席用のモニターに映像を出力したまま、本機のディスプレイを現在地画面に切り替えることができます。
- 後席モニターに DVD / SD(動画) / USB(動画) を表示している場合は、ハンズフリー通話時に映像が静止画面となりますが、故障ではありません。

お知らせ

- テレビなど、後席用のモニター以外の機器を接続することはできません。
- ハンズフリー通話時は、映像が一時停止します。
- コピーガードがかかっている番組やDVDは、録画機器を経由してモニターで視聴すると正常に受像できません。コピーガードがかかっている番組やDVDを視聴する場合は、録画機器を経由しないで本機とモニターを直接接続してください。

車両連携

詳しくは、車両のオーナーズマニュアルをご覧ください。

ヘッドアップディスプレイとの連携

本機のルート案内の情報が、ヘッドアップディスプレイに表示されます。



ヘッドアップディスプレイ(表示例)



- 交差点までの距離、曲がる方向が表示されます。
- 表示は車種により異なります。

お知らせ

- 次のメッセージがナビゲーション画面に表示された場合には、お買い上げの販売店に車両信号設定の確認をご依頼ください。
「車両信号設定、カメラ設定に誤りがある可能性があります。もしくは車両信号の受信ができません。」

緊急通報サービスとの連携

緊急通報サービス対応車は、緊急通報が作動すると、オペレーターとの通話を妨げないようにするためにオーディオやナビゲーションの音声など本機から出力されるすべての音声が一時消音されます。

- 車両の緊急通報が作動しているときは、本機の画面に「SOS」と表示されます。
後方のカメラ映像が表示されているときは表示されません。
画面OFFのときは、画面ONになり表示されます。
- 車両の緊急通報が終了すると解除され、現在地画面(自車位置)が表示されます。
音声は消音される前の状態に戻ります。

お知らせ

車両の緊急通報が作動すると

- ナビゲーション画面(現在地)に切り替わります。
- 本機の操作スイッチ(画面上のタッチキー、本体のボタンスイッチ、およびステアリングオーディオスイッチ)の操作が無効となり、「SOS」の表示を操作で消去することはできません。カメラ映像への切り替えはできます。
- 接続されているBLUETOOTHが切断されます。終了すると消音される前の接続状態への復帰を試みますが、自動的に再接続されない場合には接続をやりなおしてください。

利用に応じた設定に変える

地図表示に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー(P. 19)から**ナビ設定**を選ぶ

2 **表示設定**を選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
ランドマーク設定(P. 52)	地図画面に表示するランドマークを選択できます。
走行軌跡を表示(P. 45)	「ON」: 走行軌跡を表示する 「OFF」: 走行軌跡を表示しない
走行軌跡の記録を消去する(P. 45)	走行軌跡の記録を消去する▶[はい]: 走行軌跡の記録を消去する
目的地方向を表示(P. 45)	「ON」: 目的地方向直線を表示する 「OFF」: 目的地方向直線を表示しない
ゾーン30エリアを表示(P. 42)	「ON」: ゾーン30のエリアを表示する 「OFF」: ゾーン30のエリアを表示しない
自車位置修正(P. 26)	自車位置を修正できます。(通常は、この操作は必要ありません)

ルート探索に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー(P. 19)から**ナビ設定**を選ぶ

2 **探索設定**を選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
新旧ルート比較画面を表示(P. 70)	「ON」: VICS自動再探索が行われた場合は、新旧ルート比較画面を表示する 「OFF」: 新旧ルート比較画面を表示しない
新旧ルート自動選択(P. 70)	「新ルート」: 新旧ルート画面で約8秒間操作しないと、新ルートで案内する 「元ルート」: 新旧ルート画面で約8秒間操作しないと、旧ルートのまととする
到着予想時刻の計算方法	「自動」: 自動で到着予想時刻を計算する 「手動」: 手動で設定した車速から到着予想時刻を計算する ●「手動」の場合は、一般道と有料道路それぞれの車速を設定できます。 設定範囲: 一般道: 5 km/h ~ 50 km/h ~ 80 km/h (5 km/h ステップ) 高速道路: 5 km/h ~ 80 km/h ~ 100 km/h (5 km/h ステップ)
ルート学習結果の初期化	ルート学習結果の初期化▶[はい]▶[はい]: 本機のルート学習機能を初期化する

ルート案内に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー(P.19)から**ナビ設定**を選ぶ

2 **案内設定**を選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
案内拡大図の表示 (P.40)	「ON」: 案内拡大図を表示する 「OFF」: 案内拡大図を表示しない
ETCレーンの表示 (P.39)	「ON」: ルート案内中にETCレーン案内を表示する 「OFF」: ETCレーン案内を表示しない
方面看板の表示 (P.42)	「ON」: 方面看板を表示する 「OFF」: 方面看板を表示しない
ハイウェイモードの表示 (P.39)	「ON」: ハイウェイモードを表示する 「OFF」: ハイウェイモードを表示しない
Audio画面中の案内割込み	「ON」: オーディオ画面を表示中に割り込んで現在地画面に切り替えて案内する(ルート案内が完了すると、オーディオ画面に戻ります) 「OFF」: オーディオ画面を表示中に割り込んでルート案内しない
逆走注意アラーム (P.71)	「ON」: 逆走注意アラーム、および逆走検知警告を案内する 「OFF」: 逆走注意アラーム、および逆走検知警告を案内しない
VICS案内 (P.68)	「ON」: VICSの渋滞/規制情報がある区間に近づくと、音声で案内する 「OFF」: VICSの渋滞/規制情報がある区間に近づいても、音声で案内しない

渋滞情報案内 (VICS) に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー (P. 19) から [ナビ設定] を選ぶ

2 [渋滞設定] を選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
FM VICS 周波数	「自動選局」: 自車位置に応じて、FM多重放送を受信する放送局を自動的に切り替える 「手動選局」: FM多重放送を受信する周波数を手動で設定する ●手動選局の場合は、選局した放送局が所在する都道府県のFM-VICS情報を受信します。隣接する都道府県については、県境付近など一部エリアのみ受信します。
	手動選局 <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> : 周波数を設定する ※周波数の選局方法が「手動選局」のときのみ設定できます。
	エリア選局 FM VICS を受信したいエリア (放送局) を選ぶ ※周波数の選局方法が「手動選局」のときのみ設定できます。
ETC2.0 割込み設定	「ON」: ETC2.0サービスからVICS情報を受信すると、受信音を鳴らす 「OFF」: ETC2.0サービスからVICS情報を受信しても、受信音を鳴らさない ※安全運転支援情報、ローカル安全運転支援情報、注意警戒情報、ローカル注意警戒情報、新緊急メッセージを受信したときは、設定にかかわらず受信音を鳴らします。
	「ON」: ETC2.0サービスからVICS情報を受信すると、割込み表示する 「OFF」: ETC2.0サービスからVICS情報を受信しても、割込み表示しない ※安全運転支援情報、ローカル安全運転支援情報、注意警戒情報、ローカル注意警戒情報、新緊急メッセージを受信したときは、設定にかかわらず割込み表示します。
	「ON」: ETC2.0サービスからVICS情報を受信すると、自動的に音声案内する 「OFF」: ETC2.0サービスからVICS情報を受信しても、自動的に音声案内しない
	「ON」: 本機で収集した情報を、ITSスポットに自動的に送信する 「OFF」: 本機で収集した情報を、ITSスポットに送信しない

ETC 情報の案内に関する設定

1 ナビ情報・設定メニュー (P. 19) から [ナビ設定] を選ぶ

2 [ETCの音声案内設定] を選び、各項目を設定する

[太字: お買い上げ時の設定]

項目	設定内容
ETC音声案内	「ON」: 利用料金などを、本機から音声で案内する 「OFF」: ETC音声案内しない(ETCカード有効期限案内は行います)
カード入れ忘れ案内	「ON」: 本機の電源がONになったときにETCカードが挿入されていない場合、本機から音声で案内する ^{*1} 「OFF」: カード入れ忘れ案内しない
カード抜き忘れ案内	「ON」: 本機の電源がOFFになったときにETCカードが取り出されずに車載器に残っている場合、本機から音声で案内する ^{*1} 「OFF」: カード抜き忘れ案内しない

*1 ETC音声案内を「OFF」に設定しても案内します。

本機のシステムに関する設定・確認

システム情報・設定メニュー(P.19)から、各項目を設定・確認する

[太字]：お買い上げ時の設定

項目	設定内容
操作音	「ON」：キー操作音を鳴らす 「OFF」：キー操作音を鳴らさない
時計表示	「ON」：画面に時計を表示する 「OFF」：画面に時計を表示しない
本体音量スイッチ操作で 案内音量調整を優先	「ON」：ナビゲーションの音声案内中に、- + で案内音量を調整できる 「OFF」：ナビゲーションの音声案内中に、- + で案内音量を調整できない
案内音量の車速連動	「ON」：案内音量を車速連動する (走行速度に応じて案内音量が自動的に調整されます。) 「OFF」：案内音量を車速連動しない
案内音声設定	案内出力スピーカー 「左前」：案内音声を左のフロントスピーカーから出力する 「右前」：案内音声を右のフロントスピーカーから出力する
案内時の Audio 音量消音	「ON」：音声案内時にオーディオ音声を消音する 「OFF」：音声案内時にオーディオ音声を消音しない ※「OFF」に設定されている場合も、音声案内時はオーディオの音量が下がります。
音量設定 (P.24)	ナビゲーションの案内音、ハンズフリー着信音などを調整することができます。
画質調整 (P.127)	画面の明るさやコントラストなどを調整することができます。
画面OFF (P.25)	画面を一時的に消すことができます。
トップメニュー カスタマイズ (P.21)	トップメニューを編集することができます。
セキュリティ設定 (P.34)	セキュリティコードや、盗難発生地点表示案内の設定ができます。
メンテナンス通知設定 (P.138)	GPSからの日付情報と車速信号を使用して車のエンジンオイルや消耗部品の交換時期などがきたことを、音声と画面で案内します。
ドライブレコーダー設定 (P.152)	ドライブレコーダーの設定ができます。
オプションスイッチ設定	「消音」：オーディオの音声を消音する (P.25) 「AV ソース切替」：オーディオを切り替える (P.84) 「電話リダイヤル発信」：前回発信した番号に電話をかける (P.133) 「自宅」：自宅までのルートを探索する (P.60) ●セレクトビューバックアイカメラおよび全方位モニターがどちらも接続されていない場合のみ、設定が有効になります。
ダイレクトボタン設定	「ドライブレコーダー動画録画」：動画録画タッチキーを表示する (P.151) 「ドライブレコーダー静止画撮影」：静止画撮影タッチキーを表示する (P.151) 「表示しない」：ダイレクトボタンを表示しない
休憩案内 (P.68)	「ON」：休憩を促す音声案内を行う 「OFF」：休憩案内しない
バージョン情報 (P.139)	車載器ID、製造番号、ソフトウェア・地図・Gracenoteデータベースのバージョンなどを確認できます。
車両信号情報 (P.27)	車両信号情報を確認できます。
拡張ユニット情報 (P.28)	iPod、USB、ETC車載器/ETC2.0車載器、ドライブレコーダーの接続状態を確認できます。
ソフトウェア・地図 更新 (P.142)	本機のソフトウェアや地図データの更新ができます。
Gracenoteデータベース更新 (P.143)	Gracenoteデータベースの更新ができます。
初期化 (P.162)	本機の各種設定をお買い上げ時の状態に戻します。
端末情報 (P.139)	本機の端末情報を確認できます。
取付店ダイアグ	使用しません。(取付店が設定します。)

各種設定をお買い上げ時の状態に戻す

1 システム情報・設定メニュー(P.19)から初期化を選ぶ

2 初期化する項目を選ぶ

項目	設定内容
SDカードの初期化	SDカード ^{*1} を初期化することができます。 ●記録されているすべてのデータが消去されます。 <small>* 1 NTFS ファイルシステムは初期化できません。</small>
TVの初期化	デジタルテレビ初期設定で設定した内容を初期化することができます。(P.86)
キーボード学習結果の初期化	キーボードの学習内容(文字入力する際の漢字変換など)を初期化することができます。
出荷状態に戻す	本機のすべての設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。 ●オーディオがOFFに切り替わります。 ●ドライブレコーダーの設定が、お買い上げ時の状態に戻ります。(ドライブレコーダー接続設定を除く)

3 はいを選ぶ

- 「キーボード学習結果の初期化」を選んだ場合は、この手順で初期化されます。

4 はいを選ぶ

- 選んだ項目が初期化されます。
- 初期化した項目は、元に戻せません。
誤って大切なデータを消去しないように、ご注意ください。
- TVの初期化を行った場合は、車のエンジンを止め(ACC OFF)、ボタン照明が消えて約10秒経過してから、再度車のエンジンをかけてください(ACC ON)。

お願い

- 初期化中は他の操作(オーディオのソースを切り替えるなど)をしないでください。
故障の原因となります。

お知らせ

- 本機を譲渡または廃棄する際は、本機に記録された情報(登録地、走行軌跡などの履歴、自宅や電話番号等の個人情報など)を必ず消去し、出荷時の状態に戻してください。
- 本機を別の車に載せかえた場合や、タイヤを交換またはローテーションした場合は、「センサー学習値初期化」を行ってください。(P.27)
- 本機と車のバッテリーとの接続が断たれると(車から本機を取り外したり、バッテリー交換やヒューズ交換を行った場合など)下記の設定がお買い上げ時の状態に戻ります。
 - ・オーディオ OFF/ON
 - ・AM・FMで受信中の周波数
 - ・ディスク・USB・SDの再生位置
 - ・ディスク・MEMORY MUSIC・USB・SDの再生モード

故障かな!?と思ったら

修理を依頼される前に、まずはP. 163~178の内容をご確認ください。

処置をしても解決/改善されないときや、他の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

よくあるお問い合わせ

自車マークが表示されない

- 地図モード画面になっている。
→ MAP を押してください。(P. 42)

自車位置が正しく表示されない

- GPS信号を妨げる障害物などがある。
- ACC OFFの状態で車を移動した。(フェリーボート、駐車場のターンテーブルなど)
- GPS衛星からの信号の誤差が大きい。/立体駐車場などの、GPS信号を受信できない場所を走行した。
→ しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。(60分以上)
- 距離、回転、3Dの補正が完了していない。
→ 「センサー学習レベル」を確認してください。(P. 27)
距離が「1」の場合は、しばらく見晴らしの良い道路を走行してください。
- 本機を別の車に載せかえた。タイヤを交換またはローテーションした。
→ 「センサー学習値初期化」を行ってください。(P. 27)
- 車速信号が正しく取得できていない。
→ 走行中の操作制限を解除/無効化する機器などを本機に取り付けていないことを確認してください。

地図の向き・縮尺・傾きを切り替えたのに、元に戻っている

- 地図モード画面で切り替えている。
→ 地図モード画面(P. 43)で切り替えた地図の向き・縮尺・傾きは、現在地画面に反映されません。
現在地画面で切り替えてください。(P. 42)

タッチキーが反応しない(表示が薄くなっている)

- 安全のため、走行中は一部の操作ができないようになっています。
→ 安全な場所に停車してパーキングブレーキをかけると、操作できるようになります。

ディスクやSDカードが正しく読めない

- ディスクやSDカードが汚れている。/ディスクやSDカードに問題がある。
→ 汚れを取り除いてください。
→ 別のディスクやSDカードが本機で再生できる場合は、ディスクやSDカードに問題がある可能性があります。
- ディスクを表裏逆に挿入している。
→ 正しい面で挿入しなおしてください。
- 本機以外でフォーマット(初期化)したSDカードは、本機では認識しない場合があります。
→ 本機で初期化して使用してください。(P. 162)
地図更新に使用するSDカードは、パソコンで「SDメモリカードフォーマッター」を用いて初期化してから使用してください。(P. 186)

地図の年度更新の方法について知りたい

- 本製品は無料地図更新サービスを提供しております。(P. 140、別添チラシ)
- 年度更新版地図の販売については、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

電源・共通

症 状	原 因 / 対 处	ページ
電源が入らない/ 起動が遅い	車のエンジンがかかっていない。 ●エンジンをかけて(ACCをONにして)ください。	22
	低温状態になっている。 ●故障ではありません。内部が温まると、自動的に起動します。	—
	ナビゲーションの電源を切った直後にもう一度起動すると、起動に時間がかかる場合があります。	—
	ハイブリッド車などの特定の車種ではナビゲーションの起動に時間がかかる場合があります。	—
車のエンジンをかけた状態 (ACC ON)で、本機の電源 が切れる	バッテリー電圧が低くなっている。 ●バッテリー電圧を確認してください。バッテリー電圧が11V以下の場合、ナビゲーションの電源が落ちる場合があります。	—
	●アイドリングストップ車の場合は、アイドリングストップ中のバッテリー電圧を確認してください。 バッテリー電圧が11V以下の場合、車両メーカーにお問い合わせください。	—
ディスプレイの上下角度 が調整できない	障害物などに当たっていたり、コードを挟み込んでいないかを確認してください。	—
電源を切ってもボタン照明 が消えない	ボタン照明は電源を切ってもすぐには消えません。本機の処理により消灯までに時間がかかることがあります。故障ではありません。	—
タッチパネルの反応が悪い/ 反応しない	フリック/ドラッグ/ピンチ/2点タッチ/ダブルタップ/2点ドラッグ/回転ドラッグの操作をしている。 ●画面によっては、上記の操作ができません。	16
	指の腹でタッチすると、2点タッチなどと誤動作することがあります。 必ず、指の先でタッチしてください。	16
	爪でタッチすると、反応しない場合があります。必ず、指の先でタッチしてください。	16
	指の動きより遅れて反応する場合があります。故障ではありません。	—
	手袋をして操作すると反応しない場合があります。素手でご使用ください。	—
	金属を近づけたり、水滴が付いている場合は反応しないことがあります。	—
	お買い上げの販売店に依頼し、アースコードがしっかりと車体の金属部に接続されていることを確認してください。	—
	長時間連続して使用している。 ●正常に機能している場合は、故障ではありません。	—
表 示		
時計(現在時刻)が表示 されない	ヘッダーがタッチキー表示になっている ●ステータスバー表示に切り替えると表示されます。	46
	時計表示が「OFF」に設定されている。 ●時計表示を「ON」に設定してください。	161
時計(現在時刻)が正しく 表示されない	VICSタイムスタンプに表示される時刻はVICS情報が提供された時 刻です。現在時刻ではありません 本機はGPS信号を受信した時刻を表示しているため、テレビ番組の時 刻表示とは異なる場合があります。	76
		—

電源・共通

症 状	原 因 / 対 处	ページ
映像が暗い/白っぽい/ 色合いが悪い/色が薄い	画質調整が適切でない。 ●各項目を調整してください。	127
	本機が高温になると、画面の明るさを自動調整したり、画面の表示を停止する場合があります。 ●本機の温度が下がるまでお待ちください。	—
	本機が低温になっている場合、画面が白っぽくなる場合があります。 ●車の暖房を使用して室温を上げ、本機の温度が上がるまでお待ちください。	—
画面が曇る	冷暖房を使用した直後などには、結露のため画面が曇ったり、正しく表示されない場合があります。 ●結露が解消するまでお待ちください。	—
画面に赤、青または緑の点が表示される	液晶ディスプレイ特有の現象です。故障ではありません。	—
ディスプレイに何も表示されない	本機が低温になっている場合、映像の表示に時間がかかる場合があります。 ●車の暖房を使用して室温を上げ、本機の温度が上がるまでお待ちください。	—
	一時的に画面を消している(画面OFF) ●AUDIO / MENU / MAP / TILT のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	25
	お買い上げの販売店に依頼し、電源コード/接続ハーネスの接続を確認してください。	—
	アクセサリーコード/電源コネクターのヒューズが切れている。 ●お買い上げの販売店にご相談ください。	—
映像が出ない (音声は出ている)	一時的に画面を消している(画面OFF) ●AUDIO / MENU / MAP / TILT のいずれかを押すか、画面をタッチしてください。	25
	安全のため、走行中は映像(テレビやDVDなどの画面)を見ることができないようになっています。 ●安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてください。	—
	お買い上げの販売店に依頼し、サイドブレーキコードの接続が外れていないか確認してください。	—

音 声

ステレオのとき左右の音が逆になる	お買い上げの販売店に依頼し、スピーカーコードの接続を確認してください。	—
左右前後のいずれかの音が出ない	フェーダー/バランスの設定を確認してください。	125
	お買い上げの販売店に依頼し、各コードの接続を確認してください。	—
音が悪い(音が飛ぶ)	DVD・CDなどの場合は、ディスクの汚れをクリーニングしてください。	184
	iPod・スマートフォン・USBメモリーなどの場合は、延長ケーブルを使用せずに接続してください。	—
雑音が出る	スマートフォンなどを本機から離してください。	—
	お買い上げの販売店に依頼し、アースコードがしっかりと車体の金属部に接続されていることを確認してください。	—
音量が勝手に変わる	「案内音量の車速運動」が「ON」に設定されていると、走行する速度に連動してナビ案内音の音量が自動的に調整されます。 ●「案内音量の車速運動」を「OFF」に設定してください。	161
	車速運動音量の補正やノイズ連動音量の補正が設定されていると、走行する速度に連動してオーディオの音量が自動的に補正されます。 ●補正量の設定を確認してください。	123

ナビゲーション

症 状	原 因 / 対 处	ペ ー ジ
動 作		
登録地が登録されない／設定が変更されない／探索したルートが削除された	操作のあと、すぐに電源を切った。 ●もう一度、地点登録・ルート探索などの操作をしてください。	—
← を選んでも、前の画面に戻らない	画面によっては、← を選んでも前の画面に戻らない場合があります。	—
地図画面上でフリック／ドラッグ以外の操作ができない	フリック／ドラッグ操作でスクロール中は、画面上でそれ以外の操作はできません。 ●約1秒間何も操作せずに、地図モード画面になってから操作してください。	—
表 示		
VICS情報が表示されない(FM VICS)	VICSを放送している放送局を受信しているか確認してください。	160
	FMの電波が弱い。 ●障害物(トンネルやビルの陰など)の無い場所に移動してください。 ●電波の強い周波数の放送局を選局してください。	160
	地図に表示するVICS情報の保持時間が過ぎた。 ●新しい情報を再受信するまでお待ちください。	—
	VICSのサービス外の地図を表示している。 ●VICSのサービスを行っている圏内の地図を表示し確認してください。	—
	お買い上げの販売店に依頼し、ラジオアンテナの接続を確認してください。	—
VICS情報が表示されない(ETC2.0)	ETC2.0車載器の取り付け状態が悪く受信できない。 ●アンテナの上に物を置かないでください。 ●極端にフロントガラスが汚れている場合は、きれいにしてください。 ●お買い上げの販売店に依頼し、取り付け位置や接続を確認してください。	— — —
	表示中の地図全体がVICS情報の対象範囲内となっている。 ・薄い黄色：気象・災害情報 ・薄い赤色：緊急情報（特別警報） ●地図の縮尺を広域にすると、対象範囲全体を確認できます。	76
	案 内	
音声案内されない／オーディオの音声は出力されるのに、ナビゲーションの音声案内が出力されない	音量設定で、「ナビ案内音」の音量が「0」に設定されている。 ●「ナビ案内音」の音量を調整してください。	24
	「本体音量スイッチ操作で案内音量調整を優先」を「OFF」に設定している。 ●設定を「ON」にしてください。	161
	フェーダー／バランスの調整値をセンターから離しすぎると音声案内が小さくなってしまうことがあります。 ●フェーダー／バランスの出力レベル設定を確認してください。	125
	ルートから外れている。 ●現在地画面で自車がルート上にあるかを確認し、ルートに戻ってください。 ●再探索してください。	42, 45 70
	ルートに対して逆走行している。 ●目的地の方向を確認してください。 ●再探索してください。	45 70
	お買い上げの販売店に依頼し、各コードの接続を確認してください。	—
	ルートが有料道路上から始まっている。 ●有料道路上で探索してルートが有料道路上から始まっているときは、料金が表示されない場合があります。	—

ナビゲーション

症 状	原 因 / 対 处	ページ
有料道路以外で有料案内する	地図データで有料道路判定をするため、最近無料化された道路などは、実際と異なり有料案内することがあります。	—
	料金所が入口付近になくても、有料道路の手前で音声案内します。	—
高速道路を走行中に一般道路の案内をする/一般道路を走行中に高速道路の案内をする	高速道路と一般道路が隣接しているときは、誤った道路が案内される場合があります。 ● ランチャーから、 道路切替 を選んでください。	44, 70
一般道優先で探索しているのに、有料道路上にルートを作る	現在地と目的地の場所によっては、一般道優先で探索しても有料道路上にルートを作ることがあります。 ● 通りたい一般道路上に経由地を設定してください。 (故障ではありません。)	62, 64

オーディオ [TV]

症 状	原 因 / 対 处	ページ
映像も、音声も出ない	本機が異常に高温になっている。 ● 車内の温度を下げてから、本機の電源を入れなおしてください。	—
	受信状態が悪い。 ● 車のある場所や方向により、受信状態が変化します。受信状態の良い場所に移動してください。	—
電源を入れても映像がすぐに出ない	ソフトウェアが起動して映像を表示するまでに時間がかかる場合がありますが、故障ではありません。	—
映像や音声が出ない(ときどき出なくなる)/映像が静止する(ときどき静止する)/音声が遅れて聞こえる	車のある場所や方向により受信状態が変化します。 視聴中に、受信状態により黒い画面になることがあります、故障ではありません。	—
	車両の搭載機器(電動ドアミラー、パワーウィンドウ、エアコン、HIDランプなど)によってノイズが発生し、アンテナレベルが低下することがあります。	—
	自動車/バイク/高圧線/ネオンサイン等の近くを車が通過したとき、アンテナレベルが低下することがあります。	—
	地上デジタル放送の受信状態が良くないときに、受信モードが「地上D」になっている。 ● 地上デジタル放送の電波が弱い地域では、受信モードを「ワンセグ」に切り替えてください。(ワンセグに切り替わるときに、映像や音声が一時的にとぎれたり、遅れたりする場合があります。)	89
地上デジタル放送が受信できない/受信状態が悪い	地上デジタル放送の放送エリア外にいる場合、受信できません。 また、受信障害がある環境では放送エリア内でも受信できない場合があります。	—
	長距離移動などで現在のチャンネル設定では受信できない場所にいる。 ● ユーザープリセットのスキャンを行ってください。	89
	お買い上げの販売店に依頼し、地上デジタルアンテナの接続を確認してください。	—

オーディオ [FM][AM]

症 状	原 因 / 対 处	ページ
ラジオが受信できない/ ノイズが多い	放送局の電波が弱い。 ●放送局を変えてください。	94
	ラジオアンテナが十分に伸びているか確認してください。	—
	周波数再編が実施された。(これまで受信できた放送局が受信できなくなった) ●新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。	94
	ワイドFM非対応のラジオアンテナでFM補完放送を受信しようとした。 ●ラジオアンテナがワイドFMに対応していない場合は、FM補完放送を受信できません。	—
	エアコンやワイヤーに連動したノイズが発生している。 ●車両側の電装品を止めてください。電装品が作動するとノイズが入る場合があります。	—
	お買い上げの販売店に依頼し、ラジオアンテナの接続・設定を確認してください。	—
	お買い上げの販売店に依頼し、ラジオアンテナのケーブルを他のコードからできるだけ離してください。(束ねたり・重ねたり・交差させたりしない)	—

オーディオ [DVD]

症 状	原 因 / 対 处	ページ
タッチパネルを操作しても、 動作しない	ディスクによっては、その操作を禁止している場合があります。 (故障ではありません。)	—
設定した字幕言語/ 音声言語/アングルが 切り替わらない	複数の字幕/音声/アングルが記録されていないディスクでは、切り替えられません。 ●DVDのトップメニューなどで切り替えたり、特定の映像のみアングルなどを切り替えられるディスクもあります。ディスクの説明書をご覧ください。	—
設定した字幕言語/音声言語 で再生されない	設定した字幕/音声が記録されていないディスクでは、設定どおりの字幕/音声で再生されません。 ●DVDのトップメニューなどで切り替えられるディスクもあります。ディスクの説明書をご覧ください。	—
メニュー画面のメッセージ が希望の言語にならない	「言語設定」でメニュー言語の設定を確認してください。	99
ディスクを挿入しても 再生できない	ディスクを正しい面で挿入しなおしてください。 再生できるディスクを使用してください。 ディスク挿入後、またはDVDに切り替えたあとに、フォーマットが識別される少しの間、音がとぎれことがあります。	96 96, 182
再生中に小さい音が聞き取りにくい	「ダイナミックレンジ圧縮」の設定を、「ON」に設定してください。	99
DVD再生の音量が小さい	音楽CDとDVDの録音レベルには差があります。 ●DVD再生時には、音楽CD再生時よりも音量を上げてください。	24

オーディオ[MP3/WMA(CD-R/CD-RW)]/[SD]/[USB]

症 状	原 因 / 対 处	ページ
再生するまで時間がかかる	記録されているフォルダ / ファイル階層が多い。 ●本機で再生できないファイルや不要なフォルダなどは、書き込まないようにしてください。	—
	ファイルのサイズが大きすぎる。 ●サイズが大きいファイルは、読み込みに時間がかかります。	—
再生できない	本機に対応したメディアを再生してください。 ●SDカード・USBメモリーによっては、認識しないものもあります。別のSDカード・USBメモリーをお試しください。	182, 186 —
	使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって、正常に再生されない場合があります。	—
	データが本機で再生できる規格かを確認してください。	187
	ファイルが破損している。 ●本機が再生できる形式で、ファイルを作りなおしてください。	187
	ファイルにはファイル形式に合った拡張子を必ず付けてください。	187~191
音質が悪い(音が飛び) 画質が悪い(画像が乱れる)	音質・画質は、使用したエンコーダーソフトやオーサリングソフト、ピットレートなどの設定などにより異なります。詳しくは、エンコーダーソフトの説明書をご覧ください。	187, 190
	低倍速で、再度データを書き込んでください。	—
音声のみ再生される/ 映像のみ再生される	データが本機で再生できる規格かを確認してください。	187, 190
再生経過時間は表示されているが、音が出ない	ミックスモード(第1トラックに音楽以外のデータ、第2トラック以降に音楽データが、1セッションで記録されているフォーマット)のディスクの第1トラックを再生した。 ●ミックスモードで再生しようとした場合、MP3/WMAファイルが無音で再生されることがあります。	—
ファイル名・フォルダ名が 正しく表示されない/曲情 報が正しく表示されない	規格に準拠した文字種・文字数で入力してください。	—
	使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって文字などが正しく表示されない場合があります。	—
再生経過時間の表示が実際 と一致していない	再生中、ACCをOFFにした。 ●他のファイルを選んで再生すると、正常に戻ります。	—
	可変ビットレート(VBR)で記録されたファイルは、再生経過時間が正しく表示されない場合があります。	—

オーディオ [MEMORY MUSIC]

症 状	原 因 / 対 処	ページ
録 音		
録音設定の切り替えができない	録音中の場合は、録音を停止してください。	103
録音できない	<p>ディスクに傷が付いていると、録音ができません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ディスクに傷が無いか確認してください。 <p>「録音モード」が手動録音に設定されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「録音モード」が「手動録音」に設定されていると、自動では録音されません。「自動録音」に設定してください。 	184
	<p>SDカードの空き容量が不足している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●SDカードの使用状況を確認してください。不要なファイルを消去するなどして空き容量を増やすと、新たに録音できます。 	103
	<p>SDカードの書き込み禁止スイッチがロック側(LOCK)になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●書き込み禁止スイッチを解除してください。 	109
		—
動 作		
録音したはずの曲が再生されない	<p>曲のファイルが破損している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●再生されない曲を削除し、再度録音してください。 <p>パソコンなどを使って、本機でSDカードに録音したアルバム・曲のフォルダ名やファイル名を変更した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●本機でSDカードを初期化してから、再度録音してください。 	103, 109
	<p>SDカードが破損している、またはSD規格に準拠したカードではない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●他のSDカードで再生ができるか、確認してください。 	103, 162
		186
表 示		
録音した音楽CDのアルバム名や曲名が表示されない	<p>新譜などのため、Gracenoteデータベースにタイトル情報が無い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●スマートフォンでオンライン検索してください。 	108
音 声		
音質が悪い(音が飛び)	<p>ご使用になるSDカードによっては、再生時の音飛びが発生する場合があります。いったん音楽データを削除してから、再度録音してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●改善されない場合は、本機でSDカードを初期化してから、再度録音してください。なお、初期化するとデータはすべて消去されます。 <p>必要なデータはあらかじめパソコンにバックアップを取ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●それでも改善されない場合は、転送速度の速いSDカードに変更してください。 	103, 109 103, 162 —

オーディオ [iPod]

症 状	原 因 / 対 処	ページ
iPod が正しく動作しない	<p>iPod が正しく認識されていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●接続を確認してください。 ●iPod をリセットしてから再接続してください。 	116 —
	<p>iPod が古い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●適合機種をご確認ください。 ●最新のOSバージョンを確認してください。 	116 —

BLUETOOTH

対応スマートフォンは、Web サイトでご確認ください。

<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

- スマートフォン側の操作はスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。
- 動作確認の対象は、国内3キャリア(docomo, au, SoftBank)の製品です。
- 一部、料金プランによってはスマートフォンの動作が変わるために対象外となる場合があります。
- すべての音楽再生アプリ、通話アプリでの動作を保証するものではありません。ハンズフリーは、通常の音声通話のみ動作を保証しております。

症 状	原 因 / 対 处	ページ
登 錄		
スマートフォンを本機に 機器登録できない	スマートフォンを操作して、BLUETOOTHをONに設定してください。 本機のBLUETOOTH接続がOFFになっている。 ●本機のBLUETOOTH接続をONに設定してください。 A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)に対応したスマート フォンを登録してください。 HFP(Hands-Free Profile)に対応したスマートフォンを登録してください。 スマートフォンのファームウェア(ソフトウェア)を最新にすると、登録 できるようになります。	— 31 — — — —
BLUETOOTH対応機 器の登録機器リストで 本機の機器名称(CAR MULTIMEDIA)を選択し ても、本機を登録できな い	BLUETOOTH対応機器に同じ機器名称で登録されている、別の機器を 選択した。 ●本機からBLUETOOTH対応機器の登録を消去し、BLUETOOTH 対応機器の登録機器リストから本機(CAR MULTIMEDIA)を消去 してから、再度機器登録からやりなおしてください。	30, 31
音 声		
音質が悪い(音がひずむ・ ノイズが発生する)	本機の近くに、他のスマートフォンや2.4 GHz帯を使用する機器がある。 ●混信するため、他の機器を本機から離してください。 ●それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。 スマートフォンの電池残量が少ない場合は、充電してください。	192 — —
接 続		
本機に接続できな い	スマートフォンが本機に機器登録されていない。 ●機器登録してください。 本機に対応したプロファイルでないと、本機と接続できません。 ●プロファイルを確認してください。 スマートフォンを本機に近づけてください。 見通しの良い状態でスマートフォンとの通信を行ってください。障害 物等の影響で通信距離が短くなることがあります。特に金属や人体 (ポケットなどに入れている時など)に近接すると途切れたり通信不能 になる場合があります。 BLUETOOTH対応の周辺機器(ヘッドフォン等)や無線LAN、その他 無線機器などの電波を発する機器が多い環境、その他電波状態の悪い 環境で使用しないでください。接続が頻繁に途切れたり、通信不能に なる場合があります。 自動的にペアリング情報が削除された。 ●本機からスマートフォンの登録を削除し、スマートフォンの登録機器 リストから本機を削除して、機器登録からやりなおしてください。 自動接続が完了していない。 ●スマートフォンが本機と自動接続されるまで、しばらく時間がかかる 場合があります。 本機のBLUETOOTH接続がOFFになっている。 ●本機のBLUETOOTH接続をONに設定してください。	30 192 — — — 30, 31 — — 31

BLUETOOTH

症 状	原 因 / 対 处	ページ
登録したスマートフォンが自動的に本機と再接続されない	本機およびスマートフォンのBLUETOOTH機能をONにしてください。 スマートフォンが省電力モードに設定されている。 ●一定時間経過後に自動的にBLUETOOTH接続が解除される場合があります。スマートフォンの設定を変更してください。	—
	スマートフォンを操作して、本機とのBLUETOOTH接続を解除した。 ●再度本機とBLUETOOTH接続してください。 ●それでもBLUETOOTH接続できない場合は、本機からスマートフォンの登録を削除し、スマートフォンの登録機器リストから本機を削除して、機器登録からやりなおしてください。	30 30,31
	スマートフォンが操作待ちになっている。(機種によっては、本機からのBLUETOOTH接続に対し、確認操作が必要なものがあります。) ●スマートフォンを操作してBLUETOOTH接続を許可してください。	—
	本機の近くに、他のスマートフォンや2.4 GHz帯を使用する機器がある。 ●混信するため、他の機器を本機から離してください。 ●それでも混信する場合は、他の機器の電源を切ってください。	192 —
	スマートフォンが金属物に触れている場合は、離してください。	—
	スマートフォンと本機の間に障害物がある場合は、取り除いてください。	—
	スマートフォンを本機に近づけてください。	—
	BLUETOOTHによる自動接続に失敗した。 ●いったんスマートフォンの電源を切り、再度電源を入れてください。 ●それでもBLUETOOTH接続できない場合は、本機からスマートフォンの登録を削除し、スマートフォンの登録機器リストから本機を削除して、機器登録からやりなおしてください。	— 30,31
	スマートフォンがBLUETOOTH接続待機状態になっていない。 ●スマートフォンがBLUETOOTH接続待機状態でないと、本機とBLUETOOTH接続されません。スマートフォンを接続待機状態に設定してください。	—
	スマートフォンが自動接続に対応していない。 ●本機から手動で接続してください。	30
	スマートフォンがハンズフリー接続待機状態になっていない。 ●スマートフォンがハンズフリー接続待機状態でないと、本機とハンズフリー接続されません。スマートフォンを接続待機状態に設定してください。	—
スマートフォン連携		
iPhoneでスマートフォン連携を利用できない	iPhone または iPod をケーブルで接続した状態で iPhone でスマートフォン連携を利用しようとした。 ●iPhone または iPod をケーブルで接続すると、ケーブルでの接続が優先されるため、iPhone でスマートフォン連携機能(NaviCon, CarAV remote S)を利用できません。iPhone または iPod をケーブルから取り外してください。	—
「NaviCon」のデータを本機で取得できない	スマートフォンが本機に正常に接続されていない。 ●BLUETOOTH接続状態を確認してください。 ●スマートフォンをハンズフリー接続してください。 ●BLUETOOTH接続をいったん解除してから、再接続してください。	— 30,31 30,31
スマートフォンアプリを終了してもBLUETOOTH接続が解除されない	手動でBLUETOOTH接続を解除してください。	31
スマホ連携の接続が完了しない	接続をいったん中止し、再接続してください。	30,31
スマホ連携の切断が完了しない	スマートフォンを操作して切断してください。	—

BLUETOOTH

症 状	原 因 / 対 处	ページ
ハンズフリー通話		
電話帳や発着信履歴が表示されない	機器や電波の状況によっては、ハンズフリー接続後の電話帳と発着信履歴の転送に時間がかかる場合があります。 ●本機のBLUETOOTH機能をOFFにして、再度ONにしてください。 ●それでも表示されない場合は、スマートフォンとハンズフリー接続したままの状態で車のエンジンを止め(ACC OFF)、ボタン照明が消えて約10秒経過してから再度エンジンをかけてください。	31 —
本機に機器登録されたスマートフォンでハンズフリー通話できない	通話がスマートフォンに切り替わっている。 ●ハンズフリー切替を選択し、ハンズフリー通話に切り替えてください。 スマートフォンのサービス圏外で使用している。 ●サービス圏内で使用してください。 BLUETOOTHによる接続がされていない。 ●再接続してください。	131 — 30,31
	スマートフォンがマナーモードになっている。 ●機種によっては、マナーモードに設定していると本機から着信音が出力されない場合があります。マナーモードを解除してください。	—
	スマートフォンのアプリによっては、着信中に電話に出ようすると、操作が受け付けられず切れることができます。故障ではありません。	—
ハンズフリー通話中、エコー やハウリングが起こる	ハンズフリー受話音を下げてください。	24
通話中、相手の音声が聞き取りにくい	自分と相手が同時に発声した。 ●交互に話してください。 ハンズフリー受話音を上げてください。 通話がスマートフォンに切り替わっている。 ●ハンズフリー切替を選択し、ハンズフリー通話に切り替えてください。	— 24 131
着信履歴から発信できない	番号非通知の相手にかけようとした。 ●番号非通知の相手には発信できません。 国際電話の着信履歴から発信しようとした。 ●スマートフォンの契約によっては、国際電話への発信ができない場合があります。 スマートフォンの機種によっては、相手先の電話番号を本機に通知しないものがあります。 ●スマートフォンの着信履歴から直接発信してください。	— — —
通話音量が大きすぎる・小さすぎる/通話しにくい	マイクと話者の距離が近いまたは離れている。 ●適切な距離でお話しください。 エアコンの送風音をマイクが拾っている。 ●エアコンの送風を弱くするか、止めてください。	15 —
スマートフォンの通話中に、自動的にハンズフリー通話に切り替わる/本機と接続中、スマートフォンで通話できない	機種によっては、BLUETOOTHにより接続されると自動的にハンズフリー通話しかできなくなる場合があります。 ●スマートフォンで通話するときは、スマートフォンを操作して本機とのBLUETOOTH接続を解除してください。	—
走行中にハンズフリー通話していたら、回線切断のメッセージが表示された	スマートフォンの電波が弱い。 ●電波の状態が良い場所でご使用ください。	—

BLUETOOTH

症 状	原 因 / 対 处	ページ
着信していないのに突然通話中画面が表示され、しばらくすると通話終了する	スマートフォンのアプリによっては、通話していない場合でも、本機が通話中と認識し通話中画面を表示することがあります。	—
電話に出ていないのに通話中になった	故障ではありません。 通常の音声通話(電話回線を使用した通話)以外の場合、正常に動作しない場合があります。	171
通話相手の電話番号が正しく表示されない	スマートフォンがPBAP(Phone Book Access Profile)に対応していないと、電話帳転送できません。	—
BLUETOOTH Audio		
BLUETOOTH Audio画面から操作できない (再生はできる)	スマートフォンがAVRCP(Audio/Visual Remote Control Profile)に対応していない。 ● AVRCPに対応していないと、本機から操作できません。スマートフォンで操作してください。(機種によっては、AVRCPに対応していても一部の操作ができない場合があります。)	—
再生できない	接続機器や音楽再生アプリによっては、本機での操作を受け付けない場合があります。 ● 本機画面の▶をタッチしても再生できない場合は、接続機器側の再生ボタンを押すことで、再生できる場合があります。	—
音量が小さい	スマートフォンの音量を調整してください。	—
音質が悪い(音がひすむ、音が途切れる、ノイズが発生する)	スマートフォンを本機に近づけてください。 スマートフォンで不要なアプリが起動している場合は、終了してください。 スマートフォンのBLUETOOTHアンテナを本機に向けてください。	—
その他		
P.171~174の処置をしても問題が解決しない/ その他の問題がある	いったん車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。 いったんスマートフォンの電源を切り、再度電源を入れてください。 機器登録を削除し、再登録してください。 それでも解決しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。	— — 30, 31 —

Wi-Fi

症 状	原 因 / 対 处	ページ
Wi-Fi機器を本機に機器登録できない	本機のWi-Fi機能がOFFになっている(Wi-Fi設定のON/OFF)。 ● 本機のWi-Fi機能をONに設定してください。	33
	スマートフォンのテザリングモードがOFFになっている。 ● スマートフォンを操作してWi-Fiテザリング(APモード)を設定してください。	—
	スマートフォンがテザリングに対応していない。 ● 本機でWi-Fi機能はご使用になれません。	—
	モバイルWi-FiルーターのWi-Fi機能が無効になっている。 ● モバイルWi-Fiルーターを操作して、Wi-Fi機能を有効にしてください。	—
登録したス Wi-Fi機器が自動的に本機と再接続されない	本機およびWi-Fi機器のWi-Fi機能を有効にしてください。	33
	スマートフォンの場合は、Wi-Fiテザリング(APモード)を設定してください。	—
本機に接続できない	Wi-Fi機器が本機に機器登録されていない。 ● 機器登録してください。 ● ステータスバーのWi-Fiの接続状態を確認してください。	32 46

ドライブレコーダー

症 状	原 因 / 対 处	ページ
ドライブレコーダーで 録画できない	ドライブレコーダー接続設定が「OFF」に設定されている。 ●「ON」に設定してください。	152
後方の映像を録画できない 3CH 2CH	ドライブレコーダーリヤカメラ録画が「しない」に設定されている。 ●本機をお買い上げ時の状態に戻す操作*を行うと、ドライブレコーダーリヤカメラ録画の設定が「しない」になります。「する」に設定しなおしてください。	153
車内の映像を録画できない 3CH	車内カメラ録画が「OFF」に設定されている。 ●本機をお買い上げ時の状態に戻す操作*を行うと、車内カメラ録画の設定が「OFF」になります。「ON」に設定しなおしてください。	153

*「設定を初期化する」(P. 152)および「出荷状態に戻す」(P. 162)

ソフトウェア・地図更新

症 状	原 因 / 対 处	ページ
地図を更新できない	本機がGPS衛星からの信号を受信していない。 ●GPS信号を受信していることを確認してください。 ●本機がGPS信号を受信している状態で更新を実施してください。	23 —

こんなメッセージが出たときは

文章で画面に表示される、主な確認／エラーメッセージの例です。
エラーメッセージが表示された場合は、処置の説明に従ってください。

メッセージ	内 容
か	
このファイルは再生できません。	再生できない形式の音楽データまたは動画データを再生した。 ●ファイルを確認してください。
このSDカードは書き込み禁止です。	SDカードの書き込み禁止スイッチがロック側(LOCK)になっている。 ●書き込み禁止スイッチを解除してください。
さ	
再生可能なファイルがありません。	異常のある動画を再生した。 ●ファイルを確認してください。
車速信号が検出できません。 車速信号コードの接続をご確認ください。	お買い上げの販売店に依頼し、車速信号コードまたは車速信号中継コードの接続を確認してください。
車両信号設定、カメラ設定に誤りがある 可能性があります。もしくは車両信号の 受信ができません。	お買い上げの販売店に依頼し、車両信号とカメラの設定を確認してください。
受信できません(0020)	地上デジタル放送／ワンセグの受信レベルが低い。
受信できません(E202)	地上デジタル放送／ワンセグの電波を受信できていない。
受信できません(E203)	地上デジタル放送／ワンセグの受信レベルが非常に低い。 放送休止のチャンネルを見ている。
情報を受信していません。	VICS情報が無い。 ●FM VICSチューナーの周波数設定を確認してください。

こんなメッセージが出たときは

メッセージ	内 容
走行中はスクロールできません。	<p>市街地図を表示した状態で、走行中に地図をスクロールした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●安全な場所に停車して、パーキングブレーキをかけてご覧ください。 <p>パーキングブレーキをかけているにもかかわらず、メッセージが表示される場合は、サイドブレーキコードが正しく接続されていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●お買い上げの販売店に依頼し、サイドブレーキコードの接続を確認してください。
挿入されたディスクの再生ができません。	<p>ディスクが汚れている、裏返しになっている。</p> <p>ディスクが音楽用でない、録音されていない。</p> <p>ディスクに傷が付いている。</p> <p>再生できないディスクを使用している。(P. 183)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ディスクを確認してください。
た	
地図／ソフトウェアの更新ができませんでした。 再度更新処理を行ってください。	<p>パソコンを利用したソフトウェア・地図の更新に失敗した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●再度、更新用SDカードの作成からやりなおしてください。(P. 142)
電源を入れ直してください。 ※このメッセージが繰り返し表示される場合はお買い上げの販売店またはお近くのサービス窓口にご相談ください。	<p>アンプに異常が発生した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●いったん車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。 <p>※このメッセージが繰り返し表示される場合はお買い上げの販売店にご相談ください。</p>
電話帳データの件数が多すぎます。 最大2000件の電話帳データを読み込むことができます。	<p>アドレス帳を、最大保存可能件数まで保存した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●これ以上保存できません。不要なアドレス帳を削除してください。
は	
配線の不良または機器の故障の可能性があります。 お買い上げの販売店またはお近くのサービス窓口にご相談ください。	<p>正しく配線されていない。または本機が故障している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●配線やスピーカーに異常が無いか、お買い上げの販売店にご相談ください。 ●配線やスピーカーに異常が無い場合は、本機が故障している可能性があります。お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
本機に接続しているUSBケーブルに異常がありました。 ケーブルを取り外して、電源を入れ直してください。	<p>ケーブルが金属物に触れている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●金属物から離してください。 <p>接続している機器やiPod / USB接続用中継ケーブルに異常が無いことを確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●それでも正常に戻らない場合は、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
ら	
ルート探索ができません。	<p>極端に長い道のりのルートを探索しようとした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●目的地、経由地を近くに設定して、もう一度ルートを探索してください。
録音可能な容量を超えました。 これ以上録音できません。	<p>SDカードに十分な空き容量が無い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●不要な音楽データを削除してください。
録音できませんでした。 SDカードを確認し、再度録音してください。	<p>SDカードが本機に挿入されていない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●SDカードを本機に挿入してください。
アルファベット	
SDカードの書き込みができませんでした。 SDカードを確認してください。	<p>SDカードの書き込み禁止スイッチがロック側(LOCK)になっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●書き込み禁止スイッチを解除してください。
記 号	
◎	ディスクまたは本機で禁止されている操作です。

こんなメッセージが出たときは

ドライブレコーダー ナビ連動用(別売品)

メッセージ	内 容
あ	
映像の一覧が読み込めませんでした。	ドライブレコーダーで使用しているmicroSDカードのデータを読み込めなかった。 ●再度、同じ操作をしても問題が解消されない場合は、本機を操作してmicroSDカードを初期化してください。(P.152)
映像を削除できませんでした。	ドライブレコーダーで使用しているmicroSDカードのデータを削除できなかった。 ●再度、同じ操作をしても問題が解消されない場合は、本機を操作してmicroSDカードを初期化してください。(P.152)
か	
このファイルはドライブレコーダーで録画されたファイルではないため再生できません。	本機では再生できないファイルを再生しようとした。 ●再生可能な次のファイルへスキップします。
た	
調整できませんでした。 平らな場所に停車し、やり直してください。	ドライブレコーダーのセンサー調整が必要です。 ●ドライブレコーダー本体を正しく取り付けたとあと、水平で平らな振動の少ない場所に停車している状態でセンサー調整を実施してください。(P.152)
ドライブレコーダーが高温のため動作できません。 温度が下がると動作を再開します。	ドライブレコーダーの内部温度が正常に戻るまでお待ちください。 ●問題が解消されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ドライブレコーダーが動作できません。	車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけると、改善される場合があります。 ●エンジンを再始動しても改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ドライブレコーダーで記録可能な領域が少ないためこれ以上、手動での録画ができません。 ドライブレコーダーのSDカードの内容を確認し手動録画や保存フォルダ内の不要な映像を削除したり大切な映像はパソコンに移動してください。	microSDカードの空き容量が少ないため、録画できない。 ●手動録画した映像ファイルを削除してください。 削除したくない大切な映像は、パソコンなどに移動してください。
ドライブレコーダーとの接続を確認してください。	車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけると、改善される場合があります。 ●エンジンを再始動しても改善されない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
ドライブレコーダーにSDカードが挿入されていません。 SDカードを挿入してください。	ドライブレコーダー本体にmicroSDカードが正しく挿入されていない、または未挿入です。 ●microSDカードが正しく挿入されていることを確認してください。
ドライブレコーダーのSDカードの交換時期になりました。 新しいSDカードへの交換をお勧めします。	microSDカードには寿命があります。 ●新しいmicroSDカード(ドライブレコーダー用として別売設定されているmicroSDカード)に交換してください。
ドライブレコーダーのSDカードのパフォーマンスが低下しています。 大切な映像をパソコンに移動したあと、SDカードの初期化をしてください。	microSDカードのデータをパソコンなどに移動してから、本機を操作してmicroSDカードを初期化してください。(P.152)

こんなメッセージが出たときは

メッセージ	内 容
ドライブレコーダーの録画ができません。 ドライブレコーダーのSDカードを確認してください。	microSDカードを確認してください。 付属または使用可能なmicroSDカード(ドライブレコーダー用として別売設定されているmicroSDカード)を使用してください。
保存フォルダへ移動できません。 ドライブレコーダーのSDカードの内容を確認し保存フォルダ内の不要な映像を削除したり大切な映像はパソコンに移動してください。	記録できるファイル数の上限に達した。 ●保存フォルダ内の映像ファイルを削除してください。 削除したくない大切な映像は、パソコンなどに移動してください。
ら	
リアカメラに切り替えることができません。 ドライブレコーダーの設定を確認してください。 3 CH 2 CH	ドライブレコーダーリヤカメラ録画の設定が「しない」に設定されている。 ●本機を工場出荷状態に戻すと、ドライブレコーダーリヤカメラ録画の設定が「しない」になります。「する」に設定しなおしてください。(P. 153)
アルファベット	
SDカードの初期化ができませんでした。 ドライブレコーダーのSDカードを確認してください。	再度、microSDカード初期化の実施が必要です。 ●本機を操作してmicroSDカードの初期化してください。(P. 152)

本体リセット機能について

画面が正しく表示されない、操作しても反応しないなど正常に動作しないときは、いったん車のエンジンを止めて、再度エンジンをかけてください。

それでも正常に戻らない場合は下記の操作で本体リセットを行い、再起動させてください。

AUDIO を約15秒以上押す

- バッテリー交換時と同様に一部の設定が初期化されます。(P.162)
- セキュリティコードを設定している場合、本体リセットを行うと再起動時にセキュリティコード認証画面が表示されます。(P.35)

結露について

冷暖房を入れた直後など、車内の急激な温度変化のために、本機内部のピックアップレンズやディスクに露(水滴)が生じことがあります。正常な動作をしない場合には、ディスクを取り出して、1時間ほど放置してください。もし、何時間経過しても正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

ピックアップレンズについて

長期間使用すると、空気中やディスクに積もった細かいほこりまたはゴミが付着し、汚れてしまいます。

- ディスクの読み込みがよくない場合には、まず、ディスクの汚れを確認してください。
- それでも改善されない場合は、レンズの交換修理が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。保証期間後の修理は、有償です。

汚れを防ぐために

ディスクを使用する前など、ときどきディスクの表面のほこりやゴミ、指紋などを取り除いてください。

- ディスクを使用しないときは、必ずケースに入れて保管してください。

お願い

- レンズクリーナーディスクはレンズに損傷を与え、故障の原因となりますので、使用しないでください。

文字入力のしかた

● 入力できる文字の種類は、機能によって異なります。

例：名称検索（P.58）で入力できるのは「ひらがな」のみ、など

かな・漢字を入力する



- ① キー配列をスマート風に切替
- ② 記号・顔文字入力に切替
- ③ 濁音・半濁音・促音・拗音に切替
- ④ 文字を切替(かな・英数・テンキー)
- ⑤ カーソルを左右に移動
- ⑥ 1文字削除
- ⑦ スペースを入力
- ⑧ 長音記号を入力
(タッチし続けると、記号入力)
- ⑨ 入力した内容に決定

変換のしかた

1 文字(ひらがな)を入力する

2 候補から、文字を選ぶ

● □：すべての候補の一覧を表示



英数字を入力する



- ① キー配列を切替
(QWERTY/アルファベット順/スマート風)
- ② 記号・顔文字入力に切替
- ③ 大文字/小文字を切替
- ④ 文字を切替(かな・英数・テンキー)
- ⑤ カーソルを左右に移動
- ⑥ 1文字削除
- ⑦ スペースを入力
- ⑧ @ (タッチし続けると、記号入力)
- ⑨ 入力した内容に決定

テンキー(10キー)で数字を入力する



- ① 記号・顔文字入力に切替
- ② 文字を切替(かな・英数・テンキー)
- ③ カーソルを左右に移動
- ④ 1文字削除
- ⑤ スペースを入力
- ⑥ 入力した内容に決定

記号を入力する



① 記号のリストを切替

- ①: 入力履歴
- !?: 一般
- []: 括弧
- ↖: 矢印
- ◆: マーク
- ①: 数字
- \$: 通貨

② 元のキーボードに戻る

- ③ 記号/顔文字に切替
- ④ 1文字削除

顔文字を入力する



① 顔文字のリストを切替

- ①: 入力履歴
- ☺: ハッピー
- 悲しい
- びっくり
- 困る
- 怒る
- あいさつ
- ラブ・友情
- 動物・キャラクター

② 元のキーボードに戻る

- ③ 記号/顔文字に切替
- ④ 1文字削除

スマホ風のキー配列に切り替えて入力する

■ かな入力画面(例)



① キー配列を切替

(切り替わりかたは文字の種類によって異なります。)

② 記号・顔文字入力に切替

③ 文字を切替(かな・英数・テンキー)

④ カーソルを左右に移動

⑤ 1文字削除

⑥ スペースを入力

⑦ 入力した内容に決定

スマートフォンのタッチ入力・フリック入力と同じ感覚で入力できます。

● 同じタッチキーを繰り返しタッチすると、段(あ→い→う→え→お)が切り替わります。

● 「あ」の段の文字を続けて入力する場合(例:「ささやま」など)、1文字入力したあとに➡を選んで、カーソルを移動させてから2文字目を入力してください。

ディスクについて

本機で再生できるディスク

本機では、下記のディスク・フォーマットを再生できます。

ディスク	フォーマット	DVD-Video	DVD-VR	CD-DA	MP3 ^{*3}	WMA ^{*3}
DVD		○	—	—	—	—
DVD-R/RW ^{*1}		○	○	—	—	—
CD		—	—	○	—	—
CD-R/RW ^{*2}		—	—	○	○	○

* 1 本機でご使用になる前に、記録した機器でファイナライズしてください。

* 2 本機でご使用になる前に、記録した機器でクローズセッションしてください。

* 3 MP3 PRO、MP3i、WMA Professional、WMA Lossless、WMA Voiceには対応していません。

お知らせ

- ディスク側の制約により、本書の操作説明どおりに動作しない場合があります。
詳しくは、ディスクの説明書をご覧ください。
- 記録状態、記録方法、記録機器やファイルの作りかたによって、再生できない場合や操作方法が異なる場合があります。
- 市販のディスクでも、品質状態によって正常に再生できない場合があります。

DVD-R/RW・CD-R/RWについて

- 使用したライティングソフトやドライブ、またその組み合わせによって、正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
- レコーダーで記録したディスクは、その特性・汚れ・指紋・傷などにより、再生できない場合があります。
- 通常のDVD、音楽CDに比べ高温多湿環境に弱いため、長時間の車内環境において劣化し、再生できない場合があります。
- マルチセッションで書き込まれたディスクや、形式の異なるデータが混在しているディスク(CD-Extra、CD-DAとMP3/WMAが混在したディスクなど)は、正常に再生できない場合があります。また、パケットライト方式で書き込まれたディスクは正常に再生できないことがあります。書き込みには、ディスクアットワنسをおすすめします。
- ディスクの特性により読み取れない場合があります。
- DVD-RW、CD-RWは、挿入してから再生が始まるまで、通常のディスクと比べて時間がかかる場合があります。
- MP3/WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。
- 片面2層のDVD-R、また録画/編集に使用したレコーダーやディスクによっては、正常に再生できない場合があります。

CDについて

- コピーコントロールCD(パソコンなどによるコピー防止が施された音楽CD)は、本機での再生や録音は保証できません。通常のCD再生には支障がなく、コピーコントロールCDの再生のみに支障がある場合は、そのCDの発売元にお問い合わせください。

ディスクに記載されているマークについて

■ リージョン番号

- 発売地域ごとにディスクとプレーヤーに割り当てられた番号。
ディスクとプレーヤーのリージョン番号が一致しないと再生できません。
- 製作者の意図により特定の地域・国で再生不可と認定されているディスクは、再生できない場合があります。
 - 本機のDVDのリージョン番号は、「2」です。
「2」(2を含むもの)または「ALL」が表示されているディスクが再生できます。



■ 字幕言語数



■ 音声言語数



■ アングル数



■ 画面サイズ(横: 縦の比)¹

4:3:4:3の標準サイズ

LB:4:3のレターボックス

16:9 LB:16:9のワイドサイズ

- 画面サイズが標準(4:3)のときは、レターボックスで再生されます。

16:9 PS:16:9のワイドサイズ

- 画面サイズが標準(4:3)のときは、パン&スキャンで再生されます。

* 1 映し出される映像のサイズは、画面比率の設定とディスク側の画面サイズによって異なります。

再生できないディスク

- 8 cmディスク¹
- NTSC以外の方式(PAL、SECAM方式など)で記録されたDVD
- ファイナライズされていないDVD-R/RW
- クローズセッションされていないCD-R/RW
- Blu-ray DiscTM
- BD-R
- BD-RE
- Ultra HD Blu-rayTM
- Blu-ray 3DTM
- BDXLTM
- BD-ROM
- DVD-ROM
- DVD+R
- DVD+RW
- DVDオーディオ
- DVD-RAM
- CD-ROM
- フォトCD
- CD-G
- ビデオCD
- AVCHD形式、AVCREC形式のDVD-R/RW
- カートリッジ付きBD-RE(Ver. 1.0)
- CDV
- SVCD
- SACD
- CD-EXTRA²
- VSD
- CVD
- DTS-CD
- DualDisc³
- HD DVD-Video
- HD DVD-R
- HD DVD-RW
- HD DVD-ROM
- HD DVD-RAM
- MQA-CD

など

* 1 シングルレーベルアダプターも使用できません。無理に挿入しないでください。故障の原因となります。

* 2 ファーストセッションが音楽データ(CD-DA)の場合は、再生できます。

* 3 ディスクに傷が付いたり、ディスクが詰まって本機から取り出せなくなることがあります。

ディスクの取り扱い

■持ちかた

記録面に触れないよう握る



■ディスクが汚れたら

水を含ませた柔らかい布で拭いたあと、乾いた布で拭く



記録面
内側から外側へ拭く

- 回転する方向に拭かないでください。
- ベンジンやシンナー、レコードクリーナー、静電防止剤を使用しないでください。

■長時間使用しないときは

- 必ず本機から取り出してください。
- ゴミなどの汚れや傷・そりなどを避けるため、必ずケースに入れて保管してください。

■次のような場所に置かないでください

- 長時間直射日光の当たるところ(車のシート、ダッシュボードの上など)
- 暖房器具の熱が直接当たるところ
- 湿気やゴミ・ほこりの多いところ
- 腐食性のある外気に触れるところ
- 強い静電気・電気的ノイズの発生しやすいところ

下記のようなディスクは使用しないでください

本機の内部で引っ掛かるなどして、ディスクの破損や本機の故障の原因となります。

ラベルなどを貼り付けたディスク



シールやテープ、のりが付着している



プロテクトフィルム、保護シート



プリンターで作成したラベル



ディスクアクセサリー
(スタビライザーなど)

透明なディスク



全体が透明



一部が透明

円形以外の特殊な形状のディスク



ハート形



三角形



カード型



バリがある

破損・変形したディスク



そっている



ひびや傷がある・欠けている

DVD言語コード一覧表

下記の言語コードは、本機でのみ有効です。

コード	言語名称
1027	アファル語
1028	アブハジア語
1032	アフリカーンス語
1039	アムハラ語
1044	アラビア語
1045	アッサム語
1051	アイマラ語
1052	アゼルバイジャン語
1053	バシキール語
1057	ベラルーシ語
1059	ブルガリア語
1060	ビハーリー語
1061	ビスマラ語
1066	ベンガル、バングラ語
1067	チベット語
1070	ブルトン語
1079	カタロニア語
1093	コルシカ語
1097	チェコ語
1103	ウェールズ語
1105	デンマーク語
1109	ドイツ語
1130	ブータン語
1142	ギリシャ語
1144	英語
1145	エスペラント語
1149	スペイン語
1150	エストニア語
1151	バスク語
1157	ペルシャ語
1165	フィンランド語
1166	フィジー語
1171	フェロー語
1174	フランス語
1181	フリジア語
1183	アイルランド語
1186	スコットランドゲール語
1194	ガルシア語
1196	グラニ語
1203	グジャラート語
1209	ハウサ語
1217	ヒンディー語
1226	クロアチア語
1229	ハンガリー語
1233	アルメニア語
1235	国際語
1239	国際語
1245	Inupiak 語
1248	インドネシア語

コード	言語名称
1253	アイスランド語
1254	イタリア語
1257	ヘブライ語
1261	日本語
1269	イディッシュ語
1283	ジャワ語
1287	グルジア語
1297	カザフ語
1298	グリーンランド語
1299	カンボジア語
1300	カンナダ語
1301	韓国語
1305	カシミール語
1307	クルド語
1311	キルギス語
1313	ラテン語
1326	リンガラ語
1327	ラオス語
1332	リトニア語
1334	ラトビア、レット語
1345	マダガスカル語
1347	マオリ語
1349	マケドニア語
1350	マラヤーラム語
1352	モンゴル語
1353	モルダビア語
1356	マラータ語
1357	マレー語
1358	マルタ語
1363	ミャンマ語
1365	ナウル語
1369	ネパール語
1376	オランダ語
1379	ノルウェー語
1393	プロバンス語
1403	(アフアン)オロモ語
1408	オリヤー語
1417	パンジャブ語
1428	ポーランド語
1435	パシュトー語
1436	ポルトガル語
1463	ケチュア語
1481	ラエティ=ロマン語
1482	キルンディ語
1483	ルーマニア語
1489	ロシア語
1491	キニヤルワンダ語
1495	サンスクリット語
1498	シンド語

コード	言語名称
1501	サンゴ語
1502	セルビアクロアチア語
1503	シンハラ語
1505	スロバキア語
1506	スロベニア語
1507	サモア語
1508	ショナ語
1509	ソマリ語
1511	アルバニア語
1512	セルビア語
1513	シスワティ語
1514	セストゥ語
1515	スンダ語
1516	スウェーデン語
1517	スワヒリ語
1521	タミル語
1525	テルグ語
1527	タジク語
1528	タイ語
1529	ティグリニヤ語
1531	トルクメン語
1532	タガログ語
1534	セツワナ語
1535	トンガ語
1538	トルコ語
1539	ツォンガ語
1540	タタール語
1543	トゥイ語
1557	ウクライナ語
1564	ウルドゥー語
1572	ウズベク語
1581	ベトナム語
1587	ボラビュク語
1613	ウォロフ語
1632	コーサ語
1665	ヨルバ語
1684	中国語
1697	ズール語

SDカード・USBメモリーについて

本機で使用できるSDカード

- SDXCカード(2TB以下)^{*1}
- SDHCカード(32GB以下)^{*1}
- SDカード(2GB以下)
- microSDXCカード(2TB以下)^{*1*2}
- microSDHCカード(32GB以下)^{*1*2}
- microSDカード(2GB以下)^{*2}
- miniSDカード(2GB以下)^{*2}

お願い

- 使用する前に本機で初期化してください。(P.162)
- 地図更新に使用するSDカードは、パソコンで「SDメモリカードフォーマッター」^{*3}を用いて初期化してから使用してください。

お知らせ

- 規格に準拠したSDカードでも、本機では使用できない場合があります。
- 無線LAN内蔵のSDカードは使用できません。
- 正常に動作しないときは、不良品もしくは劣化が進んでいる場合があります。
- 本機はUHS規格の転送速度には対応しておりません。

*1 SD規格準拠カードのみ使用できます。

*2 カードをSDカード挿入口へ挿入するときは、必ず市販のSDカード変換アダプターを装着してください。
取り出すときも、必ずアダプターごと取り出してください。

*3 SDアソシエーションが提供しているフォーマットソフトウェアです。下記サイトをご覧ください。
<https://www.sdcard.org/ja/downloads-2/formatter-2/>

本機で使用できるUSBメモリー

- USBマストレージ規格準拠
- 容量: 32GB以下
- ファイルシステム: FAT16、FAT32、exFAT
- USBコミュニケーションフォーマット: USB2.0

- パソコンと接続時、リムーバブルディスクとして認識されるもの
- USBメモリ一本体にセキュリティがかかっていないもの

お知らせ

- 規格に準拠したUSBメモリーでも、本機では使用できない場合があります。
- 正常に動作しないときは、不良品もしくは劣化が進んでいる場合があります。

SDカード・USBメモリーの取り扱いについて

- 読み書きしているときに下記のことはしないでください。
SDカードを取り出す/USBメモリーを取り外す/電源を切る
- SDカード・USBメモリーの端子部を手や金属で触れたり、汚したりしないでください。
- 強い衝撃を与える、曲げる、落とす、水に濡らすなどしないでください。
- 長時間使用すると、SDカード・USBメモリーが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- SDカード・USBメモリーには寿命があり、長期間使用すると書き込みや削除などができるなくなる場合があります。
- SDカードに書き込むときは、書き込み禁止スイッチを解除してください。
- SDカードに貼られているラベルをはがさないでください。
- SDカードにシールやテープ、作成したラベルを貼り付けないでください。
- SDカードは、本機から取り出したら、必ずケースに収納してください。
- メディアの破損やデータの変化・消失による損害に関して、当社は一切の責任を負いかねます。

データ作成時の留意点

本機で再生できる音楽データについて

本機は、CD-R/RW、SDカードまたはUSBメモリーに保存した音楽データを再生できます。以下の規格から外れたファイルは、再生できなかったり、再生できても音飛びするなど、正常に再生できない可能性があります。

■ MP3

項目	内容
規格	MPEG-1 Audio Layer3、MPEG-2 Audio Layer3
拡張子	mp3
ビットレート	<ul style="list-style-type: none">● MPEG-1 Audio Layer3 32 kbps / 40 kbps / 48 kbps / 56 kbps / 64 kbps / 80 kbps / 96 kbps / 112 kbps / 128 kbps / 160 kbps / 192 kbps / 224 kbps / 256 kbps / 320 kbps / VBR● MPEG-2 Audio Layer3 8 kbps / 16 kbps / 24 kbps / 32 kbps / 40 kbps / 48 kbps / 56 kbps / 64 kbps / 80 kbps / 96 kbps / 112 kbps / 128 kbps / 144 kbps / 160 kbps / VBR ※ free format bitstream / forbiddenは非対応
サンプリング周波数	<ul style="list-style-type: none">● MPEG-1 Audio Layer3 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz● MPEG-2 Audio Layer3 8 kHz / 11.025 kHz / 12 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz
チャンネル数	2 CH、1 CH (Stereo / Joint Stereo / Dual Channel / Single Channel)
タグ情報	ID3タグVer.1 (Ver.1.0 / Ver.1.1)、ID3タグVer.2 (Ver.2.2 / Ver.2.3 / Ver.2.4) : タイトル、アーティスト名、アルバム名 ※アルバム名はSD、USBのみ

● プレイリストフォーマット (SD、USBのみ)

項目	内容
フォーマット	M3U
拡張子	m3u、m3u8
記述方式	絶対パス、相対パス

■ WMA

項目	内容
規格	Microsoft Windows Media® Audio Decoder Ver.8 / Ver.9 std / Ver.9 Lossless / Ver.10 pro 2 CH準拠
拡張子	wma
ビットレート	CBR: 5 kbps ~ 320 kbps VBR: Peak 384 kbps
サンプリング周波数	8 kHz / 11.025 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz
チャンネル数	2 CH、1 CH (Stereo / Mono)
タグ情報	WMAタグ: タイトル、アーティスト名、アルバム名 ※アルバム名はSD、USBのみ

■ AAC (SD、USBのみ)

項目	内容
規格	MPEG-4 / AAC LC (Low Complexity)、MPEG-2 / AAC LC (Low Complexity)、HE-AAC Ver.1、HE-AAC Ver.2、Enhanced Low Delay AAC
拡張子	aac、m4a ※ iTunes 以外で作成されたファイルは動作保証外 ※ DRM認証つきファイルは対象外
ビットレート	8 kbps ~ 320 kbps / VBR
サンプリング周波数	8 kHz / 11.025 kHz / 12 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz
チャンネル数	2 CH、1 CH (Stereo / Mono)
タグ情報	AACタグ、ID3タグVer.1 (Ver.1.0 / Ver.1.1)、ID3タグVer.2 (Ver.2.2 / Ver.2.3 / Ver.2.4) : タイトル、アーティスト名、アルバム名

本機で再生できる音楽データについて（続き）

■ FLAC (SD、USBのみ)

項目	内 容
規格	FLAC (Free Lossless Audio Codec)
拡張子	flac
量子化ビット	16 bit / 24 bit
ビットレート	最大 9 216 kbps
サンプリング周波数	16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz / 176.4 kHz / 192 kHz
チャンネル数	2 CH, 1 CH (Stereo / Mono)
タグ情報	タイトル、アーティスト名、アルバム名

■ WAV (SD、USBのみ)

項目	内 容
規格	RIFF waveform Audio Format
拡張子	wav
量子化ビット	16 bit / 24 bit
サンプリング周波数	8 kHz / 11.025 kHz / 16 kHz / 22.05 kHz / 24 kHz / 32 kHz / 44.1 kHz / 48 kHz / 88.2 kHz / 96 kHz / 176.4 kHz / 192 kHz

- MP3iフォーマット/MP3PROフォーマット/ディエンファシスには対応していません。
- ID3タグVer.1、Ver.2が混在するMP3ファイルの場合、Ver.2のタグを優先します。
- WMA Voiceには対応していません。
- FLACファイルは1 024から4 608のブロックサイズに対応しています。
- WAVファイルはLPCM(整数型)に対応しています。AIFFフォーマット/WAVE64フォーマット/RF64フォーマット/ADPCMフォーマット等には対応していません。
- フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。
- 2 CHを超えるチャンネルを持つ音楽データは再生できません。
- クローズセッションしていないディスクは再生できません。
- 32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3/WMA/AACファイルを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64 kbps以下のビットレートで作成されたMP3/WMA/AACファイルを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 一般的にビットレートが高くなるほど音質は良くなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps以上、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。
- ファイル作成の詳細はエンコーダーソフトや使用するオーディオ機器の説明書をご覧ください。
- ファイル作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるデータが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができる場合があります。
- エンコーダーの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
- 不正なファイル(例えばMP3以外のファイルに“mp3”の拡張子を付けたファイル)は、誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。音楽データ以外のファイルに音楽データの拡張子を付けないでください。MP3/WMA/AAC/FLAC/WAV以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音は出ません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMA/AAC/FLAC/WAVファイル以外のファイルや必要の無いフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 極端にファイルサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- 再生できないファイルがある場合、そのファイルはスキップします。(再生しません。)
- 音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけてあるものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。
- DRM(デジタル著作権管理)には対応しておりません。
- 著作権保護された音楽ファイル(SD-Audio規格など)は再生できません。
- ハイレゾ品質で音楽を聴くにはプレーヤーからスピーカーまですべてハイレゾ対応製品でカーオーディオシステムを構成することをお勧めします。

項目	CD-R/RW	SDカード、USBメモリー
最大ファイル数	512	65 535(プレイリスト、楽曲、映像すべての合計)
最大フォルダ数	255	700(楽曲、映像すべての合計)
1フォルダ内の最大ファイル数	255(フォルダ+ファイル合計)	65 535
階層	8	8
使用可能文字	A~Z(全角/半角) 0~9(全角/半角) _ (アンダースコア) 漢字 (JIS第一水準) ひらがな カタカナ (全角/半角)	

■ アルバムアートワーク(ジャケット写真)

項目	内 容		
容量	3 MB以下		
ファイル形式	JPEG	PNG	BMP
拡張子	.jpg	.png	.bmp

- 音楽ファイルに付けられている画像データのサイズや解像度が大きい場合、正常に再生や表示ができなかつたり、音飛びの原因となる場合があります。
- 解像度が縦130×横130未満の画像は、表示エリアに収まるサイズに拡大されます。
- 1つのファイルに複数の画像が登録されている場合、正常に表示できない場合があります。

データ作成時の留意点

本機で再生できる動画データについて

本機は、SDカードまたはUSBメモリーに保存した動画データを再生できます。以下の規格から外れたファイルは、映像が表示されなかったり、音飛びしたりするなど、正常に再生できない可能性があります。

■ コンテナフォーマット

● MP4

項目	内容
拡張子	mp4、m4v
映像コーデック	MPEG-4 (ISO / IEC 14496 Part.2)、H.264 / MPEG-4 AVC
音声コーデック	MP3、AAC (規格の詳細は音楽データと同じ→P. 187)

● AVI

項目	内容
拡張子	avi
映像コーデック	MPEG-4 (ISO / IEC 14496 Part.2)、H.264 / MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	MP3、AAC、WMA (規格の詳細は音楽データと同じ→P. 187)

● MKV

項目	内容
拡張子	mkv
映像コーデック	MPEG-4 (ISO / IEC 14496 Part.2)、H.264 / MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	MP3、AAC (規格の詳細は音楽データと同じ→P. 187)

● ASF・WMV

項目	内容
拡張子	asf、wmv
映像コーデック	H.264 / MPEG-4 AVC、VC-1
音声コーデック	WMA (規格の詳細は音楽データと同じ→P. 187)

■ 映像コーデック詳細

● H.264/MPEG-4 AVC

項目	内容	
プロファイル/レベル	BaselineProfile / 3、MainProfile / 3.1	
最大解像度	720 × 480	1 280 × 720
最大ビットレート	10 Mbps	14 Mbps
最大フレームレート	30 fps	30 fps

● MPEG-4 (ISO/IEC 14496 Part.2)

項目	内容	
プロファイル/レベル	SimpleProfile / 5	
最大解像度	720 × 480	720 × 576
最大ビットレート	8 Mbps	8 Mbps
最大フレームレート	30 fps	25 fps

● VC-1

項目	内容		
プロファイル/レベル	AdvancedProfile / 2	MainProfile / Medium	SimpleProfile / Medium
最大解像度	1 280 × 720	720 × 480	352 × 288
最大ビットレート	20 Mbps	10 Mbps	384 kbps
最大フレームレート	30 fps	30 fps	15 fps

- ビットレートが低いと、十分な画質・音質を得られない場合があります。
- 可変ビットレート (VBR) で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなることがあります。そのような部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる場合があります。
- 動画ファイルの作成方法・エンコーダーソフトなどによっては再生できなかったり、音声・映像が乱れる場合があります。
- 映像が含まれない動画ファイルは再生できません。
- 著作権保護された動画ファイル (SD-Video 規格など) は再生できません。

項目	SDカード、USBメモリー
最大ファイル数	65 535 (プレイリスト、楽曲、映像すべての合計)
最大フォルダ数	700 (楽曲、映像すべての合計)
1フォルダ内の最大ファイル数	65 535
階層	8
使用可能文字	A～Z(全角/半角) 0～9(全角/半角) _ (アンダースコア) 漢字 (JIS第一水準) ひらがな カタカナ (全角/半角)

無線通信について

BLUETOOTHについて

- 本機の無線機能の使用周波数帯は2.4 GHz帯です。変調方式としてFH-SS変調方式を採用しています。想定与干渉距離は10 m以下です。本機は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。
- 同じ周波数を使用している他の無線機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します。)が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すみやかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
- 何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。
以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・本機の分解や改造をする
 - ・本機に貼り付けてある製品銘板をはがす
- 本機はすべてのBLUETOOTH対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。

- 接続する機器はBluetooth SIG, Incの定める規格に適合し、認証を取得している必要があります。規格に適合していても、接続する機器の特性や仕様によっては接続できない、表示や動作が異なる、などの場合があります。
- 使用する環境(車内および車両周辺の環境)によっては、通信の状態(接続や音声など)が不安定になることがあります。
- 本機との間に障害物があると、通信の状態が不安定になったり接続できない場合があります。
 - ・本機から隠れる場所にある(シートの後ろや下、グローブボックスやコンソールボックスの中など)
 - ・金属製のものに接触している／覆われている、身体に触れている(ポケットの中に入っている)
- スピード違反取り締まり用レーダーの逆探知機(レーダー探知機)を搭載していると、スピーカーから雑音が出ることがあります。
- 電波の状態によっては、音が途切れたり雑音が入ったりする場合があります。
- Wi-Fiと同時に使用すると、それぞれの通信の状態(接続や音声など)が不安定になることがあります。
- ワイヤレス通信時は使用環境などによりセキュリティが十分でない場合がありますので、ご注意ください。(BLUETOOTH標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しています。)
- ワイヤレス通信時に発生したデータや情報の漏洩について、当社は一切の責任を負いかねます。

■ BLUETOOTHの規格とプロファイルについて

対応規格

Bluetooth Ver. 5.2

対応プロファイル	本機の機能
HFP (Hands-Free Profile)	Ver. 1.7 ハンズフリー通話
PBAP (Phone Book Access Profile)	Ver. 1.2 電話帳・発着信履歴の転送および自動転送
A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)* ¹	Ver. 1.3 BLUETOOTH Audio
AVRCP (Audio / Video Remote Control Profile)	Ver. 1.6
SPP (Serial Port Profile)	Ver. 1.2 NaviCon, CarAV remote S

* 1 SBC、AACのオーディオコーデックに対応しています。

Wi-Fiについて

- 本機の無線機能の使用周波数帯は2.4 GHz帯です。変調方式としてDS-SS変調方式、OFDM変調方式を採用しています。想定与干渉距離は40 m以下です。本機は全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。
- 同じ周波数を使用している他の無線機器との電波干渉を防ぐため、下記事項に注意してください。

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどの移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します。)が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すみやかに使用場所を変更して電波干渉を回避してください。
- 何かお困りのことが起きたときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けています。
以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・本機の分解や改造をする
 - ・本機に貼り付けてある製品銘板をはがす
- 本機は、電気通信事業者(移動通信会社、固定通信会社、インターネットプロバイダーなど)の通信回線(公衆無線LANを含む)に直接接続することはできません。本機をインターネットに接続するときは、必ず電気通信事業法の認定を受けた端末設備(ルーター、回線端末装置など)を経由して接続してください。

■ Wi-Fiの規格とセキュリティ方式について

対応規格
IEEE 802.11b/g/n (2.4 GHzのみ)
対応セキュリティ方式
OPEN
WPA 2 TM - Personal
WPA 3 TM - Personal

テレビ・ラジオの受信について

車で移動して受信するため、家庭用のチューナーに比べて受信エリアが狭くなります。また、受信環境や電波状況（電波の強さの変化、障害物、他の電波などの影響）により、最良な受信状態を維持できない場合があります。

- 放送方式（フルセグ／ワンセグなど）や放送局により、受信状態やエリアが変化します。
- 下記のような場所または状況では受信状態が悪くなる場合があります。
 - ・放送局から遠い
 - ・電波が遮られやすい場所（トンネルの中、山の陰やビルの谷間など）
 - ・電車の架線、高圧線、テレビやラジオ放送の送信所、ネオンなどが近くにある
 - ・無線用の送信アンテナが近くにある
 - ・車の電装品（衝突被害軽減ブレーキ、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンのファンなど）が作動している場合
 - ・本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器（ドライブレコーダーなど）や無線利用機器など（パソコンや携帯電話など）を車内で使用したり、本機やアンテナおよびアンテナのコードに近づけた場合
- 受信状態が悪くなったときは次のような現象が起こることがあります。故障ではありません。
 - ・映像や音声が乱れる（ノイズが発生したり、途切れる）
 - ・静止画面や黒い画面となり音声が出なくなる

お知らせ

- 本機はARIB（電波産業会）規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 本製品は、B-CASカードを使用せずに地上デジタル放送を視聴できるコンテンツ権利保護専用方式を採用しているため、B-CASカードを付属しておりません。

ナビゲーションシステムとは

ナビゲーションシステムとは、地図上に目的地や目的地までのルートを登録することにより目的地までの道案内をするシステムのことです。本書では「ナビゲーション」または「カーナビゲーション」と表記しています。

自車位置測位の仕組み

本機では、GPS衛星に加え「みちびき」の電波を受信して、自車の位置を測位します。

※ 本書では特にことわりの無い限り、下記の衛星を「GPS」と表記し、衛星を利用する機能や受信する電波を「GPS情報」「GPS信号」などと総称して表記しています。

■ GPS(Global Positioning System)

アメリカ国防総省によって運用されている衛星測位システムです。

■ 準天頂衛星システム「みちびき」

内閣府により整備が進められている、日本の衛星測位システムです。GPSを補い、安定した測位を行います。

■ GPS信号を受信しにくい場所

次のような場所では受信できないことがあります。

- トンネルの中
- 高層ビルなどの間
- 高架道路の下
- 樹木の間

■ 現在地を測位するまでの時間

通常は、本機を起動してから数分でGPS電波を受信します。ただし、初めてご使用になるときや車のバッテリーなど交換後、また長時間ご使用にならなかったときは、現在地を表示するまでに15分～20分程度かかることがあります(GPS衛星から送られる衛星の軌道データの受信周期により、データの取り込みに時間がかかるため)。走行すると受信や現在地測位に時間がかかるため、受信できるまで走行せずに待ちください。

■ マップマッチング

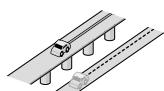
GPSやジャイロなどによる測位には誤差があるため、現在地が道路以外の場所になる場合があります。マップマッチングは、誤差を補正して地図データ上の道路上に自車マークを表示させる機能です。



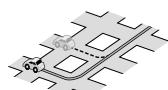
自車位置精度について

■ 走行環境やGPS衛星の状態により、自車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

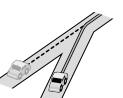
- 高速道路と一般道路が近くにある
- 角度の小さなY字路を走行している



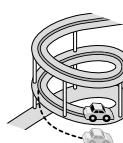
- 畫盤目状の道路を走行している



- らせん状の道路などを走行している



- らせん状の道路などを走行している



そのまましばらく走行すると、マップマッチングやGPS衛星からの情報を利用して自車マーク位置は自動的に補正されます。

■ 下記の場合も、自車マーク位置が正しく表示されない場合があります。

- 車のエンジンスイッチON(電源ON)後、GPS信号を受信できるまで
- 本機を取り付けて初めて走行するとき
- タイヤを交換したとき、特に応急用タイヤを使用時
- フェリー、車両運搬車などで移動したあと
- 勾配の急な山岳などを走行しているとき
- 直線路を長い間走行したあとに、右左折したとき
- 道幅の広い道路で蛇行運転したとき
- 駐車するときや渋滞区間を走行中など、低速(数km/h)での走行状態が続くとき(車種によっては車速信号を検出できないことがあるため)
- 雪道・砂利道などの滑りやすい道路を走行しているとき、またはタイヤチェーン等を装着して走行しているとき
- 地下駐車場や立体駐車場で、らせん状の道路を走行したあと一般道に出たとき
- 車のエンジンスイッチOFF(電源OFF)状態で、ターンテーブルなどで旋回したとき

ナビゲーションシステムとは

自車位置精度について（続き）

■衛星側の技術的トラブルや運営機関の事情により、精度が落ちたり電波を利用できなくなることがあります。このようなときは、自車マークがずれる場合があります。

■3Dセンサーによる高架判定について

自車が都市高速に入ったときなど車の上下移動を3Dセンサーで感知して、自車位置を測位します。(高架判定)

- 3Dセンサーによる高架判定は、センサーの補正が完了後に動作可能です。車両信号情報画面で「3D」の学習レベルの状態を確認してください。
- 高速道路など一定速度で走行が続くような場合、補正完了まで50km程度の走行を要する場合があります。

- 道路状況や走行状況により正しく高架判定できない場合があります。(道路の傾斜がゆるやか、発進・停車の繰り返し、急ハンドルによる車の横揺れなど)
- 下記の場合には、必ず車両信号情報画面でセンサー学習初期化を選んでください。(P.27)
 - ・別の車に載せかえた
 - ・取付位置を変更した
- 3Dセンサーの高架判定は、地図データと3Dセンサーからの情報で行います。(一部地域のみ)

逆走検知警告について

■下記のような場合などでは、逆走していても逆走検知警告が案内されないことがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 形状が複雑なIC付近を走行しているとき
- スマートICのあるSA・PA、その他特定のSA・PA内を走行しているとき
- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
- GPS信号を妨げる障害物があり、GPS信号が正常に受信できていないとき

- トンネル、高架橋、高層ビルなどの遮蔽物により、GPS信号が正常に受信できていないとき
- 本機の地図画面上の自車マークの位置と、実際の自車位置が異なるとき
- 直前に自車位置、または方位の補正が行われたとき
- 急なリターンをしたとき
- 対面通行など、順走/逆走の判別が困難な道路
- 以前、逆走検知警告が案内された地点で
【ここでは案内しない】をタッチしていた場合

■下記のような場合などでは、逆走していないても逆走検知警告が案内されることがあります。

- 本機の地図に収録されていない道路、または形状が変わった道路を走行しているとき
- 本機の地図画面上の自車マークの位置と、実際の自車位置が異なるとき

- 本機が故障している、または車両信号情報が正常でないとき
- 駐車スペースがある料金所、または手前でリターン可能な料金所でリターンをしたとき
- 警察や道路管理会社の誘導によりリターンをしたとき

ルート探索・ルート案内について

探索されたルートは参考ルートであり、お客様の意図したものとは異なる場合があります。

■次のような場合は、故障ではありません。

- 通行不可能な歩道、階段などを含めたルートを作成することができます。
- 新道の開通などにより通行できない場合があります。
- 点線で表示されている道路は、地図データ作成時点での建設予定道路のためルート探索できません。
- 実際に通行できない道を表示する場合があります。
- 再探索してもルートが変わらない場合があります。
- ルートが渋滞している場合があります。
- 目的地まで道路がなかつたり、細い道しかない場合は、目的地から離れた所までしかルート表示しない場合があります。
- 高架下の一般道路の案内を行う場合があります。逆の場合もあります。
- Uターンするルートを表示する場合があります。

- 交差点で曲がるのに、案内されない場合があります。
- 交差点名称が案内されない場合があります。
- 右左折案内が実際の道路形状と異なる案内をすることがあります。
- 案内ルートを外れて手前の交差点等で曲がったときなどに音声案内される場合があります。
- 方面案内が表示/案内されない高速道路・有料道路があります。
- 交差点拡大図が実際の道路形状と合わないことがあります。
- 案内距離が多少ずれることがあります。
- フェリー航路はルートに考慮されない場合があります。フェリー航路は補助手段であり、すべてのフェリー航路が収録されているわけではありません。

名称・ジャンル・周辺施設検索・電話番号検索の精度について

検索される場所によっては、丁目・番地・号の情報(ピンポイント情報)が無いため、正確に検索できないことがあります。検索された場所と実際の場所が離れている場合があります。

マップコードとは

株式会社デンソーが、カーナビゲーションでかんたんに目的地を設定できるように開発した、日本全国のあらゆる場所を最大12桁の数字と*（アスタリスク）を用いてあらわしたものです。各種情報機器や各種情報メディアでかんたんに位置情報を伝達したり、住所や電話番号であらわせない場所を特定することができます。詳しくは、マップコード公式サイトをご参照ください。

<https://www.denso-solution.com/mapcode/>

FM 多重放送について

下記のような場所では受信できない場合があります。

- トンネルの中
- 高層ビルなどの間
- 高架道路の下
- サービス圏外

お知らせ

- 一定周期で情報が更新されるので表示するデータが揃うのに時間がかかる場合があります。(約3分)
- 車のエンジンをかけた(またはACCをONにしたあと、しばらくは情報が表示されません。

電波ビーコン 5.8 GHzについて

受信するには、ETC 2.0車載器が必要です。

下記のような状況では、受信できない場合や、誤って受信してしまう場合があります。

- 大型車と並走
- 雪などの悪天候
- フロントガラスの汚れ
- 高速高架道路の下(高速高架下の一般道を走行している場合に、高速道路の電波ビーコン 5.8 GHzを受信してしまう場合があります。)

VICSについて

- VICS車載機の動作、その他に関するもの
- VICSサービスの提供エリアに関するもの
- その他、上記に類するもの

これらの内容は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

VICSの概念、計画、または表示された情報内容に関することは、VICSセンターへお問い合わせください。
(ただし、地図表示型の表示内容は除く)

VICSセンター

受付時間 9:30～17:45
(土曜・日曜・祝日・年末年始休暇を除く)

電話番号 0570-00-8831

- 全国どこからでも市内通話料金でご利用になります。

- PHS、IP電話等からはご利用いただけません。

FAX番号 03-3562-1719(24時間受付)

VICS削除リンクに関する告知

VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)を地図上に表示するためあらかじめ本機に情報提供用の単位(以下、VICSリンクと称します)を設定しています。道路形状や交通施設の変化にともない、より正確な情報提供をするため、必要に応じ、毎年、VICSリンクの追加・変更が行われます。過去からのVICSリンクの情報を永続的に提供することは容量などの理由で不可能です。追加・変更が行われた場合、該当のVICSリンクについて3年間は情報提供が行われますが、それ以降は、情報提供が打ち切られることになっております。

このため、VICSによる道路交通情報(渋滞や混雑の矢印など)の表示は「本製品」発売後、3年程度で一部の道路において情報が表示されなくなることがあります。

VICS情報有料放送サービス契約約款

第1章 総則

(約款の適用)

第1条 一般財団法人道路交通情報通信システムセンター(以下「当センター」といいます。)は、放送法(昭和25年法律第132号)第147条の規定に基づき、このVICS情報有料放送サービス契約約款(以下「この約款」といいます。)を定め、これによりVICS情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)

第2条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後のVICS情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)

第3条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

(1)VICSサービス

当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス

(2)VICSサービス契約

当センターからVICSサービスの提供を受けるための契約

(3)加入者

当センターとVICSサービス契約を締結した者

(4)VICSデスクランプラー

FM多重放送局からのスクランブル化(攪乱)された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第2章 サービスの種類等

(VICSサービスの種類)

第4条 VICSサービスには、次の種類があります。

(1)文字表示型サービス

文字により道路交通情報を表示する形態のサービス

(2)簡易图形表示型サービス

簡易图形により道路交通情報を表示する形態のサービス

(3)地図重畠型サービス

車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畠表示する形態のサービス

(VICSサービスの提供時間)

第5条 当センターは、原則として一週間に概ね120時間以上のVICSサービスを提供します。

第3章 契約

(契約の単位)

第6条 当センターは、VICSデスクランプラー1台毎に1のVICSサービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)

第7条 VICSサービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域(全都道府県の区域で概ねNHK-FM放送を受信することができる範囲内)とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況によりVICSサービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)

第8条 VICSサービスは、VICS対応FM受信機（VICSデスクランプラーが組み込まれたFM受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICSサービスの種類の変更)

第9条 加入者は、VICSサービスの種類に対応したVICS対応FM受信機を購入することにより、第4条に示すVICSサービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)

第10条 加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)

第11条 当センターは、次の場合には加入者がVICSサービス契約を解除したものとみなします。

(1)加入者がVICSデスクランプラーの使用を将来にわたって停止したとき

(2)加入者の所有するVICSデスクランプラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)

第12条 当センターは、加入者が第16条の規定に反する行為を行った場合には、VICSサービス契約を解除することがあります。また、第17条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICSサービス契約は、解除されたものと見なされます。

2 第11条又は第12条の規定により、VICSサービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICSサービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第4章 料金

(料金の支払い義務)

第13条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第5章 保守

(当センターの保守管理責任)

第14条 当センターは、当センターが提供するVICSサービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)

第15条 当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICSサービスの利用を中止することがあります。

2 当センターは、前項の規定によりVICSサービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第6章 雜則

(利用に係る加入者の義務)

第16条 加入者は、当センターが提供するVICSサービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)

第17条 当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由によりVICSサービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICSサービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。

但し、当センターは、当該変更においても、変更後3年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICSサービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2 VICSサービスは、FM放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機によるVICSサービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3年以上の期間を持って、VICSサービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]

視聴料金 330円(税込み)

ただし、車載機購入価格に含まれております。

令和2年12月1日改訂

地図ソフトについて

重要!!

本使用規定（「本規定」）は、お客様と株式会社ゼンリン（「(株)ゼンリン」）間の「本機」（「機器」）に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ（「本ソフト」）の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

使用規定

1. (株)ゼンリンは、お客様に対し、機器の取扱説明書（「取説」）の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されている機器1台に限り使用する権利を許諾します。
2. (株)ゼンリンは、本ソフトの媒体や取説にキズ・汚れまたは破損があったときは、お客様から本ソフト購入後90日以内にご通知いただいた場合に限り、(株)ゼンリンが定める時期、方法によりこれらがないものと交換するものとします。但し、本ソフトがメーカー等の第三者（「メーカー」）の製品・媒体に格納されている場合は、メーカーが別途定める保証条件によるものとします。
3. お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
 - (1) 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
 - (2) 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
4. お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
 - (1) 本ソフトの著作権は、(株)ゼンリンまたは(株)ゼンリンに著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
 - (2) 本ソフトは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、本ソフトの内容・正確性について、(株)ゼンリンは何ら保証しないこと。(本ソフトにおける情報の収録は、(株)ゼンリンの基準に準拠しております。また、道路等の現況は日々変化することから本ソフトの収録情報が実際と異なる場合があります。)
 - (3) 本規定に違反したことにより(株)ゼンリンに損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
5. お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
 - (1) 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
 - (2) 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト（形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。）の全部または一部を使用させること。
 - (3) 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
 - (4) 本ソフトに無断複製を禁止する技術的保護手段（コピープロテクション）が講じられている場合、これを除去・改変その他方法の如何を問わず回避すること。
 - (5) その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

地図データの詳細情報やジャンル一覧につきましては、Webサイトをご覧ください。
<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

地図上に表示される主なマーク

	都道府県庁舎・北海道支庁庁舎		サービスエリア		動物園
	市役所・特別区庁舎		パーキングエリア		植物園
	町村役場・ 政令指定都市区役所庁舎		インターチェンジ		水族館
	官公署・市町村役場支所(出張所)		スマートIC(本線直結型)* ¹		美術館・博物館
	消防署		ジャンクション		スタジアム・ サッカースタジアム
	自衛隊		料金所		運動施設・グラウンド
	学校		ランプ(出入口)		ゴルフ場
	病院		ランプ(出口専用)		スキー場
	警察署・交番・駐在所		一方通行		キャンプ場
	図書館		交差点		海水浴場・(湖水、池)水泳場
	工場		冬季通行止め		マリーナ
	神社		盗難多発地点 (赤色、橙色、黄色)		山頂
	寺院(仏閣、地蔵)		郵便局		史跡・旧跡、観光名所
	教会		温泉		城跡
	墓地		デパート・スーパー・ ショッピング施設		ホテル・旅館・宿泊施設
	バス停		遊園地・テーマパーク		公園
	飛行場・空港		テーマパークゲート		ワインズ
	港		タワー展望施設		その他目標施設
	フェリーターミナル				

* 1 SA・PA接続型のスマートICは、表示されません。

お知らせ

- 地図データの整備上、すべての施設等を表示していません。
- 改善のため予告なく変更することがあります。

さくいん

あ行

頭出し	97, 100, 102, 105, 111, 112, 114, 118
アラーム	74
アングル	98
安心運転サポート情報	47
案内音声設定	161
案内音量の車速連動	161
案内拡大図の表示	159
案内時のAudio音量消音	161
案内出力スピーカー	161
案内図切替タッチキー	42
案内スタート	57, 62
案内設定	159
案内ポイントマーク	45
案内ルート	45
イコライザー設定	124
イコライザーブリセット	124
位置	74
一時停止	97, 100, 102, 105, 111, 112, 114, 118
一般情報	78
イベント情報表示	152
イルミネーション信号	27
エフェクトモード	120
エリア選局	160
エリアブリセット	90
エリアモード	94
エンター	98
オーディオ	84
オーディオ情報・設定メニュー	19
オーディオソース一覧	84
オーディオチューン	120
オート放送局サーチ	89
音の匠	121
オプションスイッチ	161
音楽CD	100
音楽データ	187

音質・音場モード	120
音声	97
音声案内	68
音声録音	152
オンライン検索	101, 108
音量	24
音量設定	24, 161

か行

カーソル	43, 98
カーソルパネル	91
カード入れ忘れ案内	160
カード抜き忘れ案内	160
カーブ案内	47, 54
ガイド	54
回転ドラッグ	17
拡張ユニット情報	28, 161
画質	152
画質調整	127
傾き	50
画面OFF	25, 161
監視録画	148, 153
監視録画の時間	153
キーパッド	131
キーボード学習結果の初期化	162
機器選択	133
季節規制考慮	54
起動音	152
逆走注意アラーム	71, 159, 196
急加速・急減速の感知音	152
急加速・急減速の感度	152
休憩案内	161
曲管理	107
緊急警報放送	87
緊急情報	80
警告音量	153
携帯電話切替	131

携帯電話データの自動同期	133	車速連動音量	123
経由地	62, 64	車内カメラ録画	153
経由地マーク	45	車両信号情報	161
言語コード	185	ジャンクション案内	41
言語設定	99	ジャンル	60
現在地画面	42	住所	59
現在地方向直線	43	渋滞回避	54
広域地図	38	渋滞情報	77
高音質モード	120	渋滞設定	160
交差点拡大図	40	周波数再編	87
高速入口拡大図	41	周波数の選局方法	160
高速分岐拡大図	41	周辺検索	61
交通情報	95	周辺施設	61
後方検知	153	縮尺	49
後方検知距離	153	縮尺表示	42
後方検知速度	153	受信モード	89
後方検知のお知らせ	153	出荷状態に戻す	162
後方検知録画	149	手動選局	160
合流案内	47, 54	手動録画	149
ここに行く	57, 62	準天頂衛星システム	195

さ行

サーチ	98
細街区探索	66
再生一覧表示	152
再生時間	98
再探索	70
市街地図	38
事故多発地点案内	47, 54
自車位置修正	26, 158
自車マーク	42, 55
システム情報・設定メニュー	19
自宅	29, 60
視聴制限レベル	99
自動再探索	69
字幕	97
車速パルス	27

車速連動音量	123
車内カメラ録画	153
車両信号情報	161
ジャンクション案内	41
ジャンル	60
住所	59
渋滞回避	54
渋滞情報	77
渋滞設定	160
周波数再編	87
周波数の選局方法	160
周辺検索	61
周辺施設	61
縮尺	49
縮尺表示	42
受信モード	89
出荷状態に戻す	162
手動選局	160
手動録画	149
準天頂衛星システム	195
常時録画	147
情報・設定メニュー	19
ショートカット	18, 21
初期化	161, 162
初期パスワード	34
新旧ルート自動選択	158
新旧ルート比較	70
新旧ルート比較画面を表示	158
信号切替	93
数字パネル	91
スクロール	48
ステータスバー表示	46
スピーカー出力レベル	126
スピーカー設定	125
スピーカーディレイ	126
スマートインター考慮	54
スマートフォン	30
スマートフォン接続設定メニュー	19

さくいん

スロー再生	97
静止画撮影	149
セキュリティ	34
セキュリティコード	34
セキュリティ設定	161
設定を初期化する	152
セレクトビューバックアイカメラ	146
全機能一覧	56
選局パネル	88
選曲モード	119
センサー学習値初期化	27
センサー学習レベル	27
センサー調整する	152
全地図更新	140
全方位モニター	146
専用レーン案内	47, 54
全ルート図	57, 63
騒音適応モード	120
走行軌跡	45
走行軌跡の記録	158
走行軌跡を表示	158
操作音	161
ゾーン30	42
ゾーン30案内	47, 54
ゾーン30速度超過警告	47, 54
側道拡大図	40
ソフトウェア・地図更新	141, 142, 161
ソフト情報表示	93

た行

タイトル表示	101
タイトルメニュー	97
タイトルリスト	97
ダイナミックレンジ圧縮	99
ダイヤル	132
ダイレクトボタン設定	161
ダウンロード更新	140
立寄る	62
タッチ	16
タッチキー表示	46
ダブルタップ	17
探索条件	65, 66
端末情報	139, 161
地上D選局対象	89
地上D/ワンセグ切替設定	89
地図更新アプリ2	140
地図モード画面	43
地点登録	72
地点編集	73
地点名称	43
地点メニュー	44
チャプター	97
チャンネル設定画面	90
駐車場マーク	77
駐車録画	148, 152
駐車録画のお知らせ	152
駐車録画の感度	153
駐車録画の時間	153
駐車録画の無効時間	153
昼夜切替	55
通過ポイントマーク	45
停止	97
ディスク	96, 182
データベース再検索	108
データ放送	87
デジタルテレビ初期設定	86

デバイスID表示	93
デモ走行	63
テレビ	86
テレビメニュー	88
電波ビーコン5.8 GHz	197
電話帳	132
電話に出る	130
電話番号	59, 74
電話を切る	131
動画	112
動画データ	190
到着時刻/残距離表示	42
盗難多発地点案内	35
道路切替	70
登録地	72
トーン信号	131
特別警報	80
トップメニュー	18
トップメニュー[カスタマイズ]	21, 161
トップメニュー(ディスク)	97
トップメニュー(ナビ)	56
ドライブレコーダー接続設定	152
ドライブレコーダー設定	152, 161
ドライブレコーダーリヤカメラ録画	153
ドラッグ	16
取付店ダイアグ	161

な行

ナビ情報・設定メニュー	19
ナビ設定	72
ナビチューン	54
ナビ連動ドライブレコーダー	147
ノイズ連動音量	123
ノースアップ	50

は行

パーキングブレーキ信号	27
バージョン情報	139, 161
ハイウェイモード	39
ハイウェイモードの表示	159
パスワード変更	99
バックアイカメラ	146
発着信履歴	133
早送り	97, 100, 102, 105, 111, 112, 114, 118
早戻し	97, 100, 102, 105, 111, 112, 114, 118
番組内容	92
番組表	92
番組表表示形式	89
ハンズフリー	130
ハンズフリー切替	131
ビット・周波数拡張	122
標高地図	38
標識拡大表示	54
表示設定	158
昼の地図色	55
ピンチ	17
フェーダー/バランス	125
部分地図更新	140
踏切案内	47, 54
プリセットメモリー	94
フリック	16
プレイリスト	97
分岐案内	41
分岐案内頻度	54
分岐交差点情報表示	42
ヘッダー	46
ヘッドアップディスプレイ	157
ヘディングアップ	50
方位マーク	42
方面看板	42, 159
本体音量スイッチ操作で案内音量調整を優先	161

ま行

マーク	74, 201
マップ	55
マップコード	43, 60, 197
右画面表示	51, 128
道幅優先	54
みちびき	195
ミュート	25, 131
無料地図更新	140
名称	58, 74
メンテナンス通知設定	138, 161
目的地	62, 64
目的地方向直線	45
目的地方向を表示	158
目的地マーク	45
文字サイズ	55
文字入力	180
戻る	43
モニター設定	99

や行

ユーザー情報設定	93
ユーザープリセット	90
ユーザープリセット設定	89
ユーザーモード	94
優先情報	78
有料道路優先	54
曜日時間規制探索	67, 69
夜の地図色	55

ら行

ラジオ	94
ランダム	100, 102, 105, 111, 112, 114, 118
ランチャー	44
ランドマーク	52
ランドマーク設定	158
リアル3D拡大図	40
リジューム	98
リバース時のオーディオ音量ダウン	25
リバース信号	27
リパック	87
リピート	100, 102, 105, 111, 112, 114, 118
料金履歴	145
履歴	59
ルート	54, 57, 63
ルート学習	54, 66
ルート学習結果の初期化	158
ルート編集	64
録音	103
録音音質	103
録音モード	103

記号・数字・アルファベット

+B電圧	27	NaviCon	134
2点タッチ	16	SA・PA	51
2点ドラッグ	17	SA・PA入口案内	41
10キー	98	SA/PAマーク	77
All Apps(全機能一覧)	20	SDカード	103, 110, 186
AM	94	SDカード情報	109
BLUETOOTH	30, 192	SDカードの初期化	162
BLUETOOTH Audio	114	SDカードを初期化する	152
CarAV remote S	135	TVの初期化	162
CD	100	USBメモリー	110, 186
DSP	122	VICS	55, 75, 198
DVD	97	VICS案内	159
ETC	144	VICS一般道情報表示	55
ETC2.0	144	VICS規制マーク表示	55
ETC2.0アップリンク	144, 160	VICS考慮	54, 67
ETC2.0サービス	78	VICS自動再探索	69
ETC2.0自動音声再生	160	VICS渋滞・混雑情報表示	55
ETC2.0車載器	144	VICS渋滞なし情報表示	55
ETC2.0受信音	160	VICS情報提供サービス	144
ETC2.0割込み	160	VICS情報マーク	77, 79
ETC2.0割込み設定	160	VICS情報(レベル1)	75
ETC音声案内	160	VICS情報(レベル2)	75
ETC管理情報	145	VICS情報(レベル3)	76
ETCの音声案内設定	160	VICSタイムスタンプ	42, 76
ETCレーン案内	39	VICS駐車場情報表示	55
ETCレーンの表示	159	VICS統計情報表示	55
EWS	87	VICS範囲表示	55, 76
FM	94	VICS有料道情報表示	55
FM VICS周波数	160	Wi-Fi	32, 193
FM多重放送	197	WMA	102
GPS	195		
GPS情報	23		
Gracenoteデータベース更新	143, 161		
iPod	116		
MEMORY MUSIC	105		
MP3	102		

仕様

	CN-HZ8A5	CN-HZ7A5W
電源		
電源電圧	DC 12 V (試験電圧 14.4 V) マイナスアース	
消費電流	3.5 A以下 (オーディオ OFF 時)	
液晶ディスプレイ		
画面サイズ	8V型ワイド	7V型ワイド
画面寸法 (幅×高さ×対角)	177 mm × 99 mm × 203 mm	156 mm × 80 mm × 176 mm
映像入力	RGB (ナビゲーション画面)	
画素数	2 764 800画素 (縦720 × 横1 280 × 3)	
有効画素率	99.99 %	
表示方式	透過型カラーフィルター方式	
駆動方式	TFT (薄膜トランジスタ) アクティブラーマトリックス方式	
使用光源	内部光 (LED)	
タッチパネル	抵抗感圧式アナログタイプ (フィルム+ガラス)	
アンプ		
定格出力	18 W × 4	
最大出力	50 W × 4	
適合スピーカーインピーダンス	4 Ω (4 Ω ~ 8 Ω 使用可能)	
接続端子		
カメラ入力レベル	映像: NTSC 1.0 Vp-p (75 Ω)	
ビデオ出力レベル	映像: NTSC 1.0 Vp-p (75 Ω RCAピンジャック)	
ナビゲーションユニット		
外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	201 mm × 124 mm × 186 mm (取付奥行き寸法 166 mm)	205 mm × 104 mm × 177 mm (取付奥行き寸法 162 mm)
質量	約 2.7 kg	約 2.5 kg
動作温度	−10 °C ~ +60 °C	
DVDプレーヤー		
信号方式	Y=1.0 Vp-p Cb=Cr=0.7 Vp-p (内部)、NTSC方式 1.0 Vp-p (出力)	
周波数特性	DVD 5 Hz ~ 22 kHz CD 5 Hz ~ 20 kHz	
信号対雑音比 (SN比)	90 dB (IHF, A)	
ワウ・フランジャー	測定限界以下	
FMチューナー		
受信周波数	76.0 MHz ~ 95.0 MHz	
実用感度 (SN比、30 dB)	15 dBμV以下	
SN比 (入力 54 dBμV)	50 dB以上	
ステレオ分離度 (入力 60 dBμV)	35 dB	
AMチューナー		
受信周波数	522 kHz ~ 1 629 kHz	
実用感度 (SN比、20 dB)	37 dBμV以下	
地上デジタルTVチューナー		
受信可能放送	地上デジタル放送 (ワンセグ対応)	
受信周波数	470 MHz ~ 710 MHz (13 CH ~ 52 CH)	
入力信号レベル	−75 dBm ~ −20 dBm	
入力インピーダンス	50 Ω	

	CN-HZ8A5	CN-HZ7A5W
iPod/USB接続用中継ケーブル接続端子		
通信方式	USB	
出力電圧	5 V	
出力電流	2 400 mA	
BLUETOOTH		
対応規格	Bluetooth Ver.5.2	
パワークラス	Class2	
対応プロファイル	HFP / A2DP / AVRCP / PBAP / SPP	
対応コーデック	SBC, AAC	
Wi-Fi		
対応規格	IEEE 802.11 b / g / n (2.4 GHzのみ)	
対応チャンネル	1 CH ~ 13 CH	
出力	最大 +14 dBm	
対応セキュリティ方式	OPEN / WPA2-Personal / WPA3-Personal	

- 画面サイズのV型(8V型等)は、有効画素の対角寸法を基準とした大きさの目安です。
- 寸法・質量はおおよその数値です。

商標・ライセンスなど

- Microsoft, Windows and Windows Media are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.
- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.
- 「VICS」および「VICS WIDE」は一般財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
- 「ETC」および「ETC 2.0」は、一般財団法人ITSサービス高度化機構の登録商標です。
- ITSスポットは、国土交通省道路局の登録商標です。
- "ゼンリン"および"ZENRIN"は株式会社ゼンリンの登録商標です。
- 音楽認識技術と関連情報は Gracenote社によって提供されています。Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote社のWebサイト www.gracenote.comをご覧ください。Gracenote, Inc. 提供のCDおよび音楽関連データ: copyright © 2000 to present Gracenote, Gracenote Software, copyright © 2000 to present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する1つまたは複数の特許が適用されます。適用可能な一部のGracenote 特許の一覧については、GracenoteのWebサイトをご覧ください。Gracenote, Gracenoteロゴとロゴタイプ、"Powered by Gracenote"ロゴは、米国およびその他の国における Gracenote, Inc. の登録商標または商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、Dolby AudioおよびダブルD記号はドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの商標です。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License、AVC Patent Portfolio License及びVC-1 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・画像情報をMPEG-4 Visual、AVC、VC-1規格に準拠して(以下、MPEG-4/AVC/VC-1ビデオ)を記録すること。
 - ・個人的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4/AVC/VC-1ビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手したMPEG-4/AVC/VC-1ビデオを再生すること。詳細についてはMPEG LA, L.L.C. (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- Wi-Fi®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。WPA2™、WPA3™はWi-Fi Alliance®の商標です。
- BLUETOOTH®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。
- NaviConは、株式会社ミックウェアの登録商標です。
- 「マップコード」および「MAPCODE」は株式会社デンソーの登録商標です。
- USB Type-C® and USB-C® are registered trademarks of USB Implementers Forum.

- Androidは Google LLC の商標です。
- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple products identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- Apple, iPhone, iPod, iTunes, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
- IOS is a trademark or registered trademark of Cisco in the U.S. and other countries and is used under license.
- 「docomo」は、NTT株式会社の商標または登録商標です。
- 「au」は、KDDI株式会社の商標または登録商標です。
- 「SoftBank」は、ソフトバンクグループ株式会社の商標または登録商標です。
- 本製品の説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記の無い場合でも、これを十分尊重いたします。



ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて

本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。

- (1) パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社（「パナソニック」）により、またはパナソニックのために開発されたソフトウェア
- (2) パナソニックにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2（「GPL」）に基づいてライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1（「LGPL」）に基づいてライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL, LGPL以外に基づいてライセンスされたオープンソースソフトウェア

■上記(3)、(4)に分類されるソフトウェアについては、それぞれ、以下のGPLおよびLGPL所定の条件をご参照ください。

GPL : <https://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html>

LGPL: <https://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html>

また、上記(3)、(4)に分類されるソフトウェアについては、多数の人が著作権を保有しています。

これらの著作権者の著作権表示については、以下をご参照ください。

<https://car.panasonic.jp/oss/107nfz10/>

GPL/LGPLに基づきライセンスされるソフトウェア（「GPL/LGPLソフト」）は、有用であることを願って頒布されますが、全くの無保証です。

商業可能性があることや特定の目的に適合していることについては、默示的保証も含め、一切保証されません。

パナソニックは、製品発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいたすべての方に対してソースコードの提供に必要な物理的コストを上回らない程度の料金と引き換えに、GPL/LGPLソフトに対応した完全かつ機械で読み取り可能なソースコードを提供します。

ソースコードの内容等についてのご質問はお答えできませんので、あらかじめご了承ください。

またインターネット接続環境はお客様ご自身でご用意していただく必要があります。

Webサイトの閲覧中およびダウンロード中のインターネット接続、回線使用料等はお客様ご負担となります。

【問い合わせ窓口】

〒224-8520 神奈川県横浜市都筑区池辺町4261番地

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社

インフォメーションシステム事業部 技術管理部門 責任者 宛

また、上記のGPL/LGPLソフトに対応したソースコードは、以下のWebサイトで、誰でも自由に入手することができます。

<https://car.panasonic.jp/oss/107nfz10/>

■上記(5)に分類されるソフトウェアには、以下のWebサイトに掲載のライセンス条件が適用されるソフトウェアを含むさまざまなオープンソースソフトウェアのプログラム(OSS)が含まれています。

<https://car.panasonic.jp/oss/107nfz10/>

これらのOSSについてのライセンス条件その他の事項に関しては、以下のURLをご参照ください。

<https://panasonic.jp/car/navi/genuine/>

なお、上記(1)から(5)を含めた本製品に搭載されるすべてのソフトウェアは、本製品に搭載され、本製品上で動作させることのみを想定しております。以下の①から④に定められる各行為について、その態様が直接的であるか間接的であるかを問わず、別途の書面による合意に基づく特別の許可がない限り、または各オープンソースソフトウェアのライセンス条件に基づき許可される範囲を越えて、行うことを固く禁じます。

- ①ソフトウェアの一部または全部を複製すること（ただし、許可された範囲内でのバックアップの取得を除く）
- ②法律上認められる範囲を超えて、ソフトウェアの一部または全部を、本製品から抽出し、もしくは分離させ、またはデコンパイルもしくはディスアセンブル等のリバースエンジニアリングをすること
- ③法律上認められる範囲を超えて、ソフトウェアの一部または全部を、改変、翻案、翻訳等し、またはこれらを売買、貸与、輸出入、頒布等すること
- ④ソフトウェアに付される著作権表示、権利表示、商標、レーベル等を除去しましたは削除すること

保証とアフターサービス

(よくお読みください)

修理のご依頼や、お取り扱い・お手入れ、その他ご不明の点などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

修理を依頼されるときは

まず、「困ったとき」(P. 163~178)をご覧ください。処置をしてもなおならないときは、ご使用を中止して、右の内容と故障の状況ができるだけ具体的にお買い上げの販売店へご連絡ください。

ご連絡いただきたい内容
● 製品名: AV一体型ナビゲーション
● 品番: 「純正品番」をご確認ください。 「パナソニック品番」はナビゲーションユニット (本体の正面左上) でご確認ください。
● お取り付け車両名

■ 保証期間中は、保証書の記載内容に従って修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。製品を車両に取り付けた状態でお持ちいただき、保証書をご提示のうえ、修理をお申し付けください。

■ 保証期間終了後は、診断して修理できる場合はご要望により有償にて修理させていただきます。

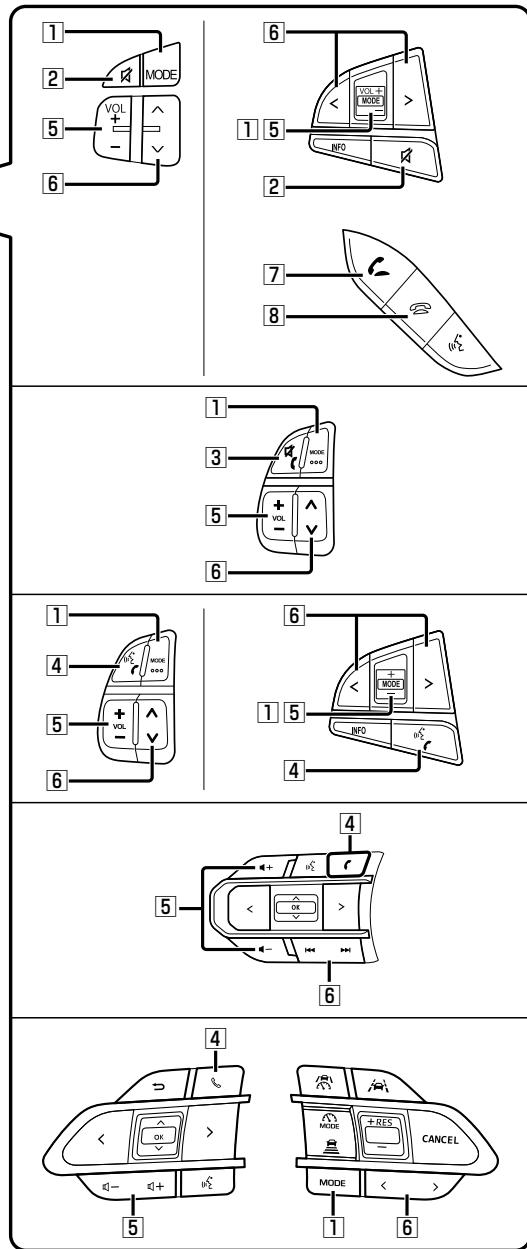
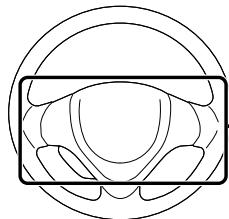
● 補修用性能部品の保有期間 **6年**

当社は、本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年保有しています。

ステアリングオーディオスイッチの操作について

車にステアリングオーディオスイッチが装備されている場合には、P.215の操作ができます。

● イラストは機能説明用です。スイッチの配置や形状は、車種により異なります。



①	モード MODE	●オーディオを切り替える(オーディオの切り替えについて→P.84) ・オーディオ OFF 時は MEMORY MUSIC に切り替わります。 ・交通情報時は、TV に切り替わります。 ※ ステアリングオーディオスイッチで交通情報に切り替えることはできません。																														
②	🔇	●オーディオの音声を一時的に消音する ^{*1}																														
③	📞	●オーディオの音声を一時的に消音する ^{*1} ●電話に出る(着信中) ●電話を切る(通話中)(約0.5秒以上押す)																														
④	📞 📞 📞	●電話に出る(着信中) ●電話を切る(通話中)(約0.5秒以上押す)																														
⑤	+ - 🔇+ 🔇- 🔇+ 🔇-	●オーディオ／ハンズフリーの音量調整																														
⑥	△ ▽ または <> または ◀◀▶▶ ⑦ ⑧	<table border="1"> <tr> <td>DVD</td> <td>CD</td> <td>MEMORY MUSIC</td> <td>USB</td> <td>SD</td> <td>●チャプター・曲・ファイルの頭出し BLUETOOTH Audio</td> </tr> <tr> <td>DVD</td> <td>CD</td> <td>BLUETOOTH Audio</td> <td>USB</td> <td>SD</td> <td>●早送り・早戻し(押し続ける)</td> </tr> <tr> <td colspan="5">MEMORY MUSIC</td> <td>●アルバム・フォルダの切り替え (約0.5秒以上押す)</td> </tr> <tr> <td colspan="5">FM AM</td> <td>●選局する ●シーク選局(約0.5秒以上押す)</td> </tr> <tr> <td colspan="5">TV</td> <td>●選局する</td> </tr> </table>	DVD	CD	MEMORY MUSIC	USB	SD	●チャプター・曲・ファイルの頭出し BLUETOOTH Audio	DVD	CD	BLUETOOTH Audio	USB	SD	●早送り・早戻し(押し続ける)	MEMORY MUSIC					●アルバム・フォルダの切り替え (約0.5秒以上押す)	FM AM					●選局する ●シーク選局(約0.5秒以上押す)	TV					●選局する
DVD	CD	MEMORY MUSIC	USB	SD	●チャプター・曲・ファイルの頭出し BLUETOOTH Audio																											
DVD	CD	BLUETOOTH Audio	USB	SD	●早送り・早戻し(押し続ける)																											
MEMORY MUSIC					●アルバム・フォルダの切り替え (約0.5秒以上押す)																											
FM AM					●選局する ●シーク選局(約0.5秒以上押す)																											
TV					●選局する																											
⑦	📞	●電話に出る(着信中)																														
⑧	📞	●電話を切る(通話中)																														

*1 ナビゲーションの音声案内、ハンズフリーの音声は、ミュートされません。

使いかた・お手入れなどご相談窓口

お客様ご相談室

電話  **0120-50-8729**

■上記番号がご利用いただけない場合
045-929-0511 (有料)
受付時間 9:00~17:00
年中無休 (当社指定休日を除く)

FAX (有料) **045-938-1573**

受付時間 9:00~17:00
(土・日・祝日・当社指定休日を除く)

ご相談窓口におけるお客様の個人情報の お取り扱いについて

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社
およびグループ関係会社は、お客様の個人情報を
ご相談対応や修理対応などに利用させていただき、
ご相談内容は録音させていただきます。また、折り
返し電話をさせていただくときのために発信番号
を通知いただいております。なお、個人情報を適切
に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由
がある場合を除き第三者に開示・提供いたしま
せん。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談い
ただきました窓口にご連絡ください。

個人情報保護方針の詳細についてはWebサイトを
ご覧ください。

<https://automotive.panasonic.com/privacy-policy>

- 回線が混雑しているときは、呼び出し中に切れる場合があります。
- 本書の「保証とアフターサービス」もご覧ください。
- 上記の内容は、予告なく変更する場合があります。

おぼえのため、記入されると便利です。

製造番号 (Serial No.)	万一の故障や盗難時に必要です。「バージョン情報」(P.139)、もしくはナビゲー ションユニットの製品銘板(本体の天面)で、9桁の番号をご確認ください。 ()
固有番号 (車載器ID)	製造番号が不明な場合(盗難時など)の確認用として、必要な場合があります。 「バージョン情報」(P.139)で、番号をご確認ください。 ()

製造元

パナソニック オートモーティブシステムズ株式会社

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地